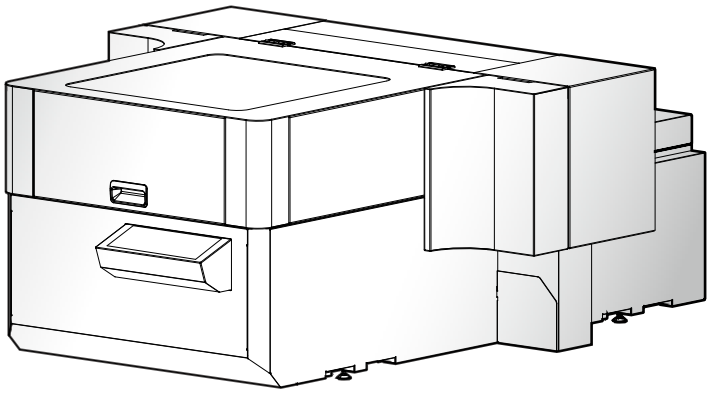
MUTOH

XPJ-661UF-P

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



XPJ661UFPJ-A-01

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- 本製品の使用方向を変えてみる
- 受信機と本製品の距離を変えてみる
- 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

本システム（きょう体と安全装置含む）は、クラス 1 レーザ機器です。

【注意】

本書に規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被ばくをもたらします。
IEC 60825-1 Edition 3.0

【本システムのレーザ仕様】（きょう体を含む）

最大出力：2.13 mw 以下、パルス持続時間：1.376 μs、波長：658 nm

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
VerteLith は武藤工業株式会社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。
記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- PDF の目次や参照のリンク先に移動した後、元の場所には「Alt+←」キーを押すと戻ることができます。

目次

安全にお使いいただくために 9

安全上のご注意 10
安全表示について 10
異常事態が発生したときは 11
電源コードについて 12
設置・移動について 14
製品の取り扱いについて 16
インクと廃液について 18
警告ラベル 20
操作ラベル 24

ご使用の前に 25

各部の名称・はたらき 26
正面 26
背面 28
プリンターコントロールパネル 29
プリンターコントロールパネルの使い方 29
プリンターコントロールパネルの各部について 29
ダイレクトキー操作 31
コントロールパネルのインジケーター表示 32
接続するコンピューターについて 33
システム構成 34
MSM の起動 / 表示 / 終了の方法 35
MSM の起動方法 35
MSM の表示方法 35
リモートパネルの表示方法 35
MSM の終了方法 35
VerteLith のインストール 36
使用できるメディアの条件 37
メディアサイズ 37
メディアの取り扱い上のご注意 38

メディアセット時のご注意 38
テーブル寸法図 39
ご使用上のお願い 40
電源をオフにしないでください 40
定期的に使用してください 40
定期メンテナンスを実施してください 40
意図しないインクの硬化に注意してください 41
インクの取り扱いに注意してください 41
定期的に交換が必要な部品があります 41
カバーの開閉について 42
基本的な使い方 44
電源の操作 45
電源をオンにする 45
電源をオフにする 46
スリープモード 49
スリープモードを開始する 49
スリープモードを終了する 49
長期間スリープモードに入る場合 50
印刷する 51
印刷エリア 51
メディアのセット方法 52
Step1. メディアをテーブルに置く 52
Step2. メディアを確認する 54
ノズルチェックとクリーニング 58
ノズルチェックをする 58
ヘッドクリーニングをする 61
印刷を開始する 62
画像を印刷する 62
ジョブの停止 / 再開 / キャンセル 66
プリンターコントロールパネルからの各種操作 67
印刷の一時停止／再開 67
印刷のキャンセル 68
印刷中にプリンターコントロールパネルでできること 69
印刷範囲を確認する 70
1. 印刷開始動作を設定する 71

2. 印刷範囲の確認方法 72
任意のタイミングで UV 光を照射する 74
テーブルのキャリブレーションを実施する 76
レイヤー印刷をする 78
インクをかくはんする 79
インクカートリッジをお使いの場合 80
大容量パックアダプターをお使いの場合 82
次回のインクかくはんまでの残り時間を確認する 85
インクの確認と交換 86
インク残量を確認する 86
インクの交換が近づいたら 87
インクの交換 88
インクカートリッジをお使いの場合 89
大容量パックアダプターをお使いの場合 91
大容量パックアダプターのプラグ交換 95

各種設定 96

パネル設定メニュー 97
メニューの操作方法 97
メニュー 1: メディア設定 99
レイヤー調整印刷 102
ホワイト調整手順 103
レイヤー調整手順 105
調整印刷 107
メニュー 2: メンテナンス 110
CR メンテナンス 113
メニュー 3: テスト印刷 114
メディア送り補正 115
送り補正 116
メニュー 4: ユーティリティ 118
インクかくはん 119
インクのかくはんを実行する 120
次回のインクかくはんまでの残り時間を確認する 121

メニュー 5: 設定 122
メニュー 6: オプション 125
メニュー 7: プリンタ情報 126

メンテナンス 128

メンテナンスの種類と実施目安 129
メンテナンスの準備 131
メンテナンスに必要なもの 131
メンテナンス治具について 132
保護具をつける 134
付属の手袋の装着方法 134
1 日の作業終了後のメンテナンス 135
Step1. メンテナンスの準備をする 136
Step2. スリープモードにする 136
Step3. デイリーメンテナンスを実施する 138
1. UV-LED ユニットの清掃 138
2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる 140
3. プリントヘッド周りの清掃 143
4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃 145
Step4. デイリーメンテナンスを終了する 146
定期メンテナンス 148
テーブル表面の清掃 148
テーブルのメンテナンス 150
1. 準備 151
2. グリスを塗布する 152
3. グリス塗布後の手順 154
廃液タンクを空にする 155
ご使用に合わせたメンテナンス 159
ノズルの目詰まりがあったとき 159
ヘッドクリーニング 159
ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき 160
各部の清掃 160
ノズルの目詰まりが重度のとき 162
微量充てん 162

漬け置きクリーニング 163
消耗品の交換 166
フラッシングボックス用吸収材の交換 166
1. 確認方法 166
2. 交換方法 167
クリーニングワイパーの交換 169
UV-LED ユニットのガラスの交換 172
UV-LED ユニットのフィルターの交換 174
移動・輸送 176
移動の方法 176
移動準備 177
移動後の手順 177
輸送の方法 178
Step1. インクを排出する 178
Step2. テーブルの移動 180
Step3. 再梱包 181
再設置 186
長期間使用しない場合（長期保存） 187
Step1. デイリーメンテナンスを実施する 187
Step2. インクを排出する 189
Step3. デイリーメンテナンスをスキップして電源をオフにする 191
インク排出後の初期充てん 192
インクカートリッジをお使いの場合 193
大容量パックアダプターをお使いの場合 194
インクをセットした後の手順 197
困ったときは 198
メッセージとエラーメッセージ 199
動作状態表示 199
メッセージ型エラー表示と対処方法 201
スマートチップリカバリー 204
再起動が必要なエラー 205
トラブルシューティング 206
設置・導入時のトラブル 206

電源投入後まったく動かない 206
初期充てんしてもインクが出ない 206
初期充てん後にノズルの目詰まりが発生する 206
MSM や RIP からプリンターに接続できない 207
メディアに関するトラブル 208
メディアをセットしても動かない 208
メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない 208
印刷中にプリントヘッドとメディアがこすれる 209
テーブルに関するトラブル 210
テーブルの昇降中に異音が発生する・異音が発生したまま動かない 210
メディアセット時にテーブルから異音が発生する 210
印刷中にプリントヘッドとメディアや治具がぶつかる 210
印刷に関するトラブル 211
データを送っても印刷されない 211
印刷中、キャリッジが右端または左端で一時的に停止する 211
メディアや印刷に汚れが発生する 212
印刷の位置がずれていたり、印刷しないところがある 212
線がつながらない・二重になる、印刷がかすれてる・にじんでいる 213
印刷の色がおかしい 214
クリーニングを実施しても、ノズルの目詰まりが解消しない 215

付録 216

本製品の仕様 217
改訂履歴 219
お問い合わせ先 220

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。
各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。

■ 指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
⚠ 注意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ その他のマーク表示

Important!	とくに注意し、お守りいただきたい内容を示しています。
Note	補足説明や参考情報を示しています。
➔	関連した内容の参照先を示しています。

Note

安全表示中の本体の各部名称については以下をご参照ください。

➔「各部の名称・はたらき」P.26

異常事態が発生したときは

警告

	万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。 お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。
	異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、すぐに電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。異常がないのを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。 お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。
	インクやメンテナンス液、廃液が皮膚に付着した場合は、直ちに布などで拭き取ってください。そのあとせっけんと多量の水で洗浄してください。 皮膚に刺激があったり、炎症したりする場合は、医師の診断を受けてください。
	インクやメンテナンス液、廃液が目に入った場合は、直ちに多量の流水で 15 分間洗浄してください。 目に刺激や痛みを感じた場合は、速やかに医師の診断を受けください。 そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。
	インクやメンテナンス液、廃液を飲み込んだ場合は、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。 無理に吐かせようとすると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。

電源コードについて

⚠ 警告

電源コードや電源プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。

電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。

電源コードの破損や芯線の露出、断線などがみられる場合は使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

アース線はコンセントには差し込まず、壁のアース端子（接地端子）に接続してください。

火災や感電の原因になります。

電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。

火災や感電の原因になります。

電源コンセントから直接電源を取ってください。

タコ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。

アース線は、以下の場所に接続しないでください。

- ガス管：引火や爆発するおそれがあります。
- 電話線用アース線および避雷針：落雷時に多量の電流が流れる可能性があります。
- 水道管および蛇口：T 配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

必ず指定の電源コードを使用してください。

指定外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。指定品はカスタマーサポート、または販売店までお問い合わせください。

1. 電源コードは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
2. 電源コードは使用する国の安全規格、電源、電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。

指定された電源仕様で使用してください。

電源プラグは必ず製品の近くにあるコンセントに差し込んでください。

緊急時にすばやく電源プラグを抜けるよう、コンセントのそばに機器を設置してください。

電源コードはコードクランプにはさんで固定してください。

電源プラグの刃を根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全の場合、火災や感電の原因になります。

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張るとコードが破損して、火災や感電の原因になります。

電源プラグを定期的に乾いた布で清掃してください。

溜まったホコリに水分や湿気が付着して、ショートする原因になります。また火災や感電の原因になります。

	**長時間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。** 電源プラグにホコリが溜まり、火災や感電の原因になります。
	**電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。** アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
	**アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。** • コンセントのアース端子 • 銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線 • D 種接地工事が施された接地端子

設置・移動について

警告

以下の条件を満たす場所にプリンターを設置してください。

1. 水平な場所
2. 他の機器の振動が伝わらない場所
3. 湿気やホコリの少ない場所
4. 温度・湿度の変化が小さい場所
5. 直射日光が当たらない場所
6. 水などがかからない場所
7. 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
8. 電磁波などのノイズが少ない場所

換気ができる場所に設置して、作業場を十分換気してください。

インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。頭痛やだるさ、めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所で休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。

換気の目安として 1 時間に5～ 10 回の空気の入れ替えを行うか、局所換気装置を用いることを推奨します。

製品を梱包箱から取り出すときは、必ずビニールを外してください。

ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて製品を破損する原因になります。

本製品は子供がいる可能性がある場所には設置しないでください。

注意

本製品を開梱または移動する場合は、必ず4人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。

短い距離の移動でも廃液タンクを空にしてください。

廃液が身体に付着するおそれがあります。また、製品の故障の原因になります。

本製品を移動するときは安全靴の着用を推奨します。

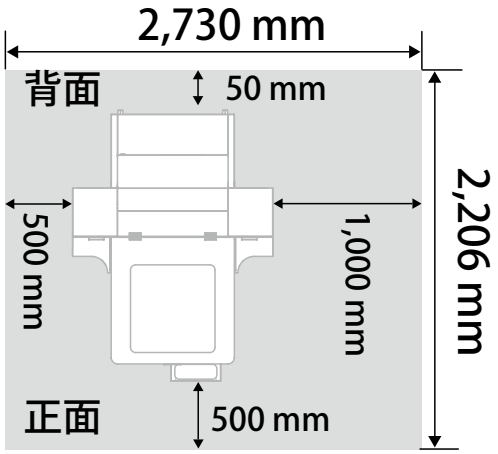
本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

Important!

本製品を設置するときは、以下のスペースを確保してください。

本体サイズ

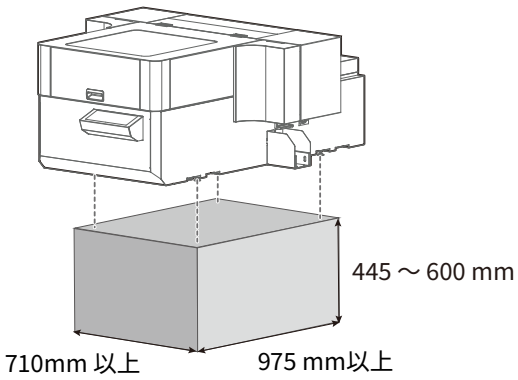
- 幅 x 奥行 : 1,230 mm x 1,656 mm
- 高さ : 1,406 mm *1
  - *1 フロントカバー全開時（オプションのスタンドを含む場合は 1,881 mm）。ただし設置スペースの高さは 2,000 mm 以上確保すること。



Note

スタンド（オプション）を使用しない場合の設置台要件は以下のとおりです。

- 4 か所のアジャスターを確実に支持できること。
  設置台広さ目安 : 幅 710 mm x 奥行 975 mm 以上
- テーブル高さが 850 ～ 1,000 mm 程度になるような高さの設置台を使用することをおすすめします。
  設置台高さ目安 : 445~600 mm 程度。
- 本製品の総重量は 181 kg（オプション品のロータリーユニットを含む場合は 187kg）になります。必ず本製品の重量に耐えられる設置台に設置してください。



製品の取り扱いについて

警告

	雷が鳴り出したら、製品に触れないでください。 感電の原因になります。
	通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 火災や感電の原因になります。
	毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと製品内部に熱がこもって、火災の原因になります。
	可動部に触れないでください。 負傷や製品の故障の原因になります。
	製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。 転倒や転落により、けがをする原因になります。
	製品を傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。 転倒による事故や、製品内部のインクが漏れる原因になります。また、移動後の正常動作が保証できません。
	製品を改造したり、ネジで固定してあるカバー類を絶対に開けないでください。 感電や製品が故障する原因になります。また製品を改造したり、分解したりすると保証の対象外になります。
	本製品内部に水気が入らないように注意してください。 電気回路がショートするおそれがあります。
	この装置は UV-LED ユニットから紫外線や有害なおそれのある光を放射します。 • **プリンター動作中は必ず UV カットグラス、保護マスク、手袋、保護衣を着用してください。** • **動作中の UV-LED ユニットを直視しないでください。** 目に害を及ぼす可能性があります。 • **UV 光を皮膚に当てないでください。** 炎症を起こす可能性があります。
	印刷直後は UV-LED ユニット表面が高温になっています。 印刷終了後 10 分経過してからメンテナンス作業を実施してください。

⚠ 注意

フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取り扱いは以下を守ってください。

- **カバーの開閉は、不安定な体勢で行わないでください。**
  開閉時に、手などを挟んだりして、ケガをするおそれがあります。
- **カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。**
  突然閉まるおそれがあります。
- **カバーを開けるときは、周囲の安全を十分に確認してください。**
  周囲の物や人にぶつかるおそれがあります。
- **待機時は、必ずフロントカバーを閉めてください。**
- **カバーを取り外さないでください。本製品を改造しないでください。**
  本製品を改造・分解すると、保証の対象外になります。

Important!

本製品は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。
印刷中やクリーニング中など、本製品が動作中にカバーを開けると動作が中断されます。

インクと廃液について

警告

インクや洗浄液、廃液などを取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート（SDS）に詳しく記載されています。これらの液体を取り扱う際は、必ず SDS をよくお読みください。

最新の SDS は、弊社ホームページ（https://www.mutoh.co.jp/）からダウンロードしてください。

本製品から排出される廃液は、産業廃棄物に該当します。

- 廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- 使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
- 本製品から出る廃液が、生活排水や自然水系へ流出しないようにしてください。

作業場に火気を持ち込まないでください。

インクや廃液に引火するおそれがあります。

インクや洗浄液、廃液は、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。

廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。

廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。

他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするとき（例：プリントヘッドやキャップ、ワイパーの清掃など）は、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

- **2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。**
- **手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。**
- **UV インクが硬化しているか確認するときは、必ず保護手袋を着用してください。**

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。

万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

インクカートリッジ（インクパック）を分解しないでください。

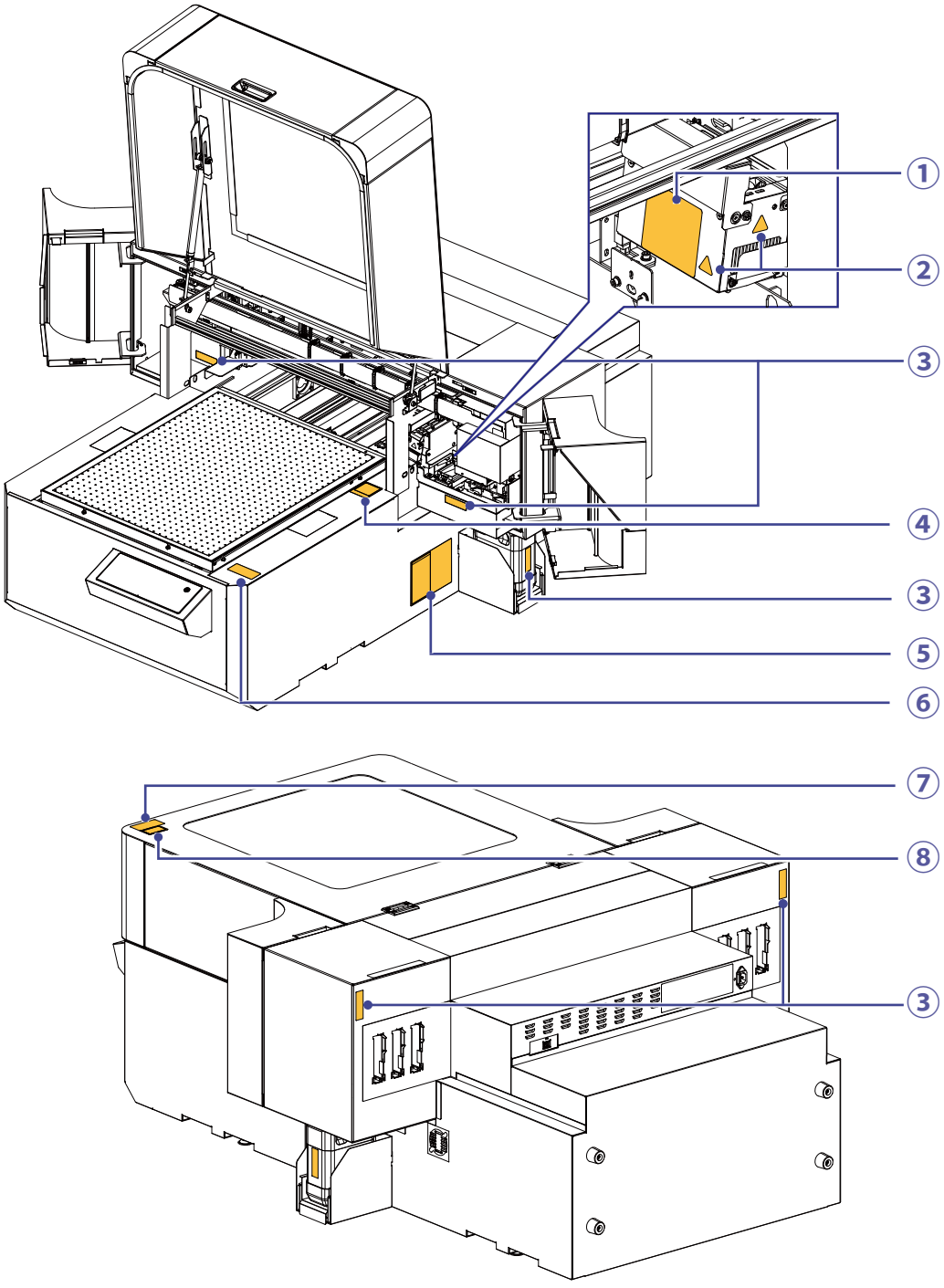
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。

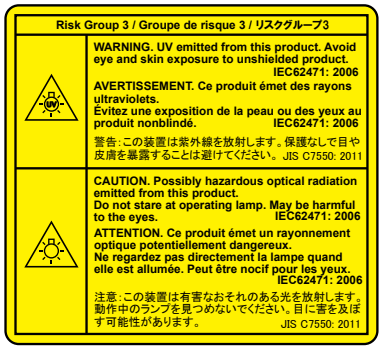
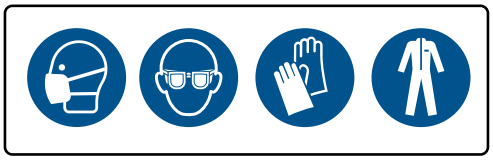


インクカートリッジ（インクパック）を落としたり、強く叩いたりしないでください。
インクが漏れる場合があります。

警告ラベル

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。
ラベルがはがれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。



ラベル種類	名称 / 意味
① 	**UV 警告ラベル** 紫外線に注意 : 直視したり、皮膚にあてたりしないでください。
② 	**高温注意ラベル** この部分に触れるとやけどをするおそれがあります。 印刷終了後、10 分以上経過するまで触れないでください。
③  	**保護具着用ラベル** インクを取り扱うときは保護具を着用してください。
④ 	**レーザ警告ラベル** レーザ放射に注意 : ビームを見つめないでください。

⑤

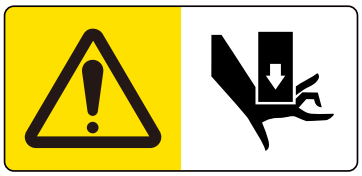


廃液注意ラベル

廃インクは人体に影響があります。

取り扱い中は保護マスク、ゴーグル、保護手袋、保護衣を着用してください。

⑥



手ばさみ注意ラベル

この付近に手を置かないでください。

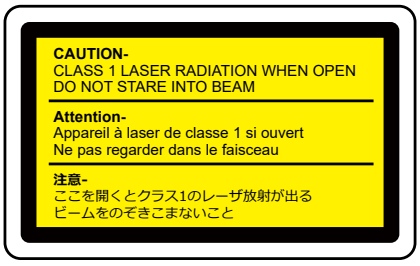
⑦



UV 警告ラベル

紫外線に注意：直視したり、皮膚にあてたりしないでください。

⑧



アクセスパネルラベル

レーザ放射に注意：ビームを見つめないでください。

Note

以下のマークは中国の安全規格に対応したものです。



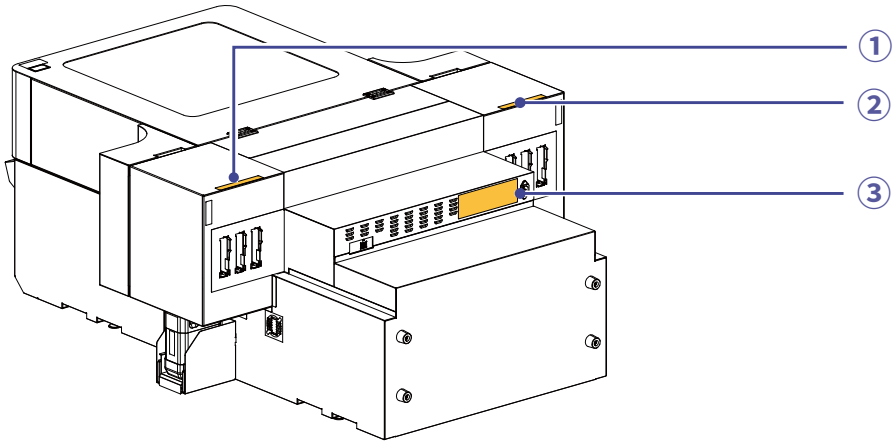
汉文	仅适用于海拔2000m以下地区安全使用。
藏文	《2000m ཡར་ ལག་ལེན་གྱི་ ས་ཁུལ་ གྱི་ ཉིན་ཚེ་ ཡིན་ ཏེ་ སྐབས་ འདིར་ ཉེ་ ལ་ འཁོར་ཡུག་ ། ། 》
蒙古文	“ᠵᠤᠭ᠎ᠠᠨ᠎ᠳᠡᠷᠡ᠎ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠭᠡᠳᠡᠢ᠎ᠪᠠᠢᠭᠠᠯᠢ᠎ᠨᠢ᠎2000ᠮᠧᠲᠷ᠎ᠦᠨ᠎ᠳᠤᠤᠷ᠎ᠬᠡᠪ᠎ᠠᠮᠠᠷ᠎ᠪᠠᠢᠳᠠᠯ᠎ᠳᠤ᠎ᠲᠣᠭᠲᠠᠭᠠᠭᠰᠠᠨ᠎ᠪᠠᠢᠨ᠎ᠠ᠋ᠵᠢᠯᠯᠠᠭᠠ᠎ᠪᠤᠶᠤ᠃”
壮文	Dan hab yungh youq gij digih haijbaz 2000m doxroengz haenx ancienz sawjyungh.
维文	دېڭىز يۈزىدىن 2000 مېتر تۆۋەن رايونلاردىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

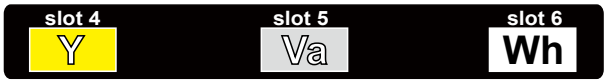
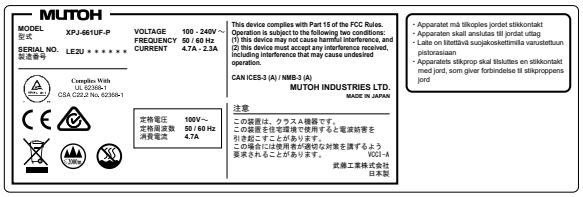


汉文	“仅适用于非热带气候条件下安全使用。”
藏文	《ཉིན་ཚེ་ ཚད་ཀྱི་ ཐ་ ཚིག་ སྐྱེས་ ས་གནས་ བ་ ཉིད་ཀྱི་ ཡར་ལེན་ ལག་ལེན་ གྱི་ ཡོ་ ལ་ འཁོར་ཡུག་ ། ། 》
蒙古文	“ᠬᠠᠯᠤᠳᠠᠰ᠎ᠤᠨ᠎ᠭᠠᠵᠠᠷ᠎ᠤᠨ᠎ᠭᠠᠯᠤᠮᠵᠢᠭᠠᠨ᠎ᠲᠠᠢ᠎ᠰᠢᠯᠬᠢᠨ᠎ᠡᠴᠡ᠎ᠪᠤᠰᠤᠳ᠎ᠤᠨ᠎ᠭᠠᠵᠠᠷ᠎ᠲᠤ᠎ᠲᠣᠭᠲᠠᠭᠠᠭᠰᠠᠨ᠎ᠪᠠᠢᠨ᠎ᠠ᠋ᠵᠢᠯᠯᠠᠭᠠ᠎ᠪᠤᠶᠤ᠃”
壮文	Dan hab yungh youq gij dienheiq diuzgen mbouj dwg diegndat haenx ancienz sawjyungh.
维文	غەيرى ئىسسىق بەلباغ ھاۋا كىلىماتى شارائىتىدىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

操作ラベル

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。
ラベルの内容は次のとおりです。



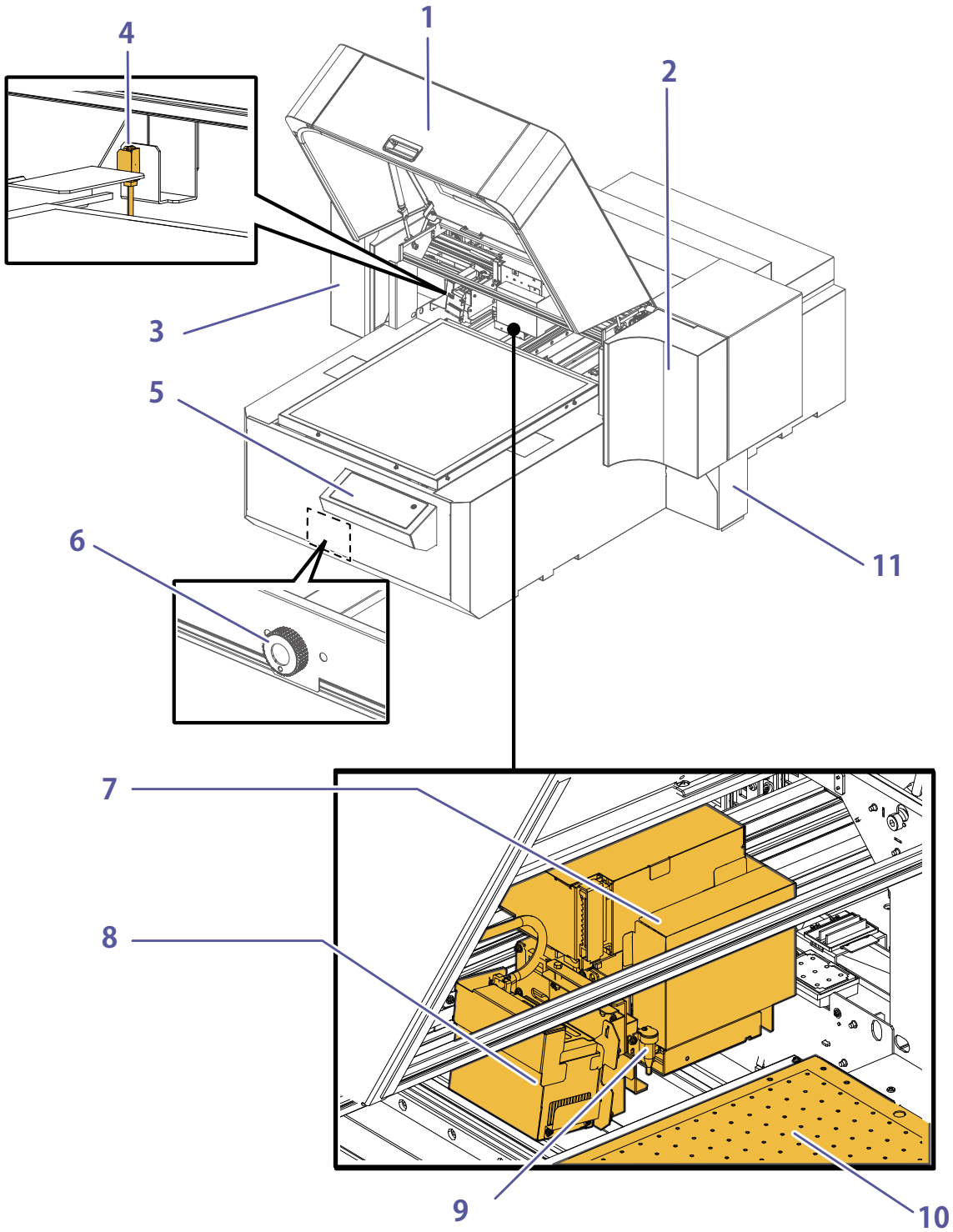
	ラベル種類	名称 / 意味
①		**インク色表示ラベル R**
②		**インク色表示ラベル L**
③		**定格銘板** 型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。

1 ご使用の前に

各部の名称・はたらき 26
接続するコンピューターについて 33
システム構成 34
MSM の起動 / 表示 / 終了の方法 35
VerteLith のインストール 36
使用できるメディアの条件 37
ご使用上のお願い 40

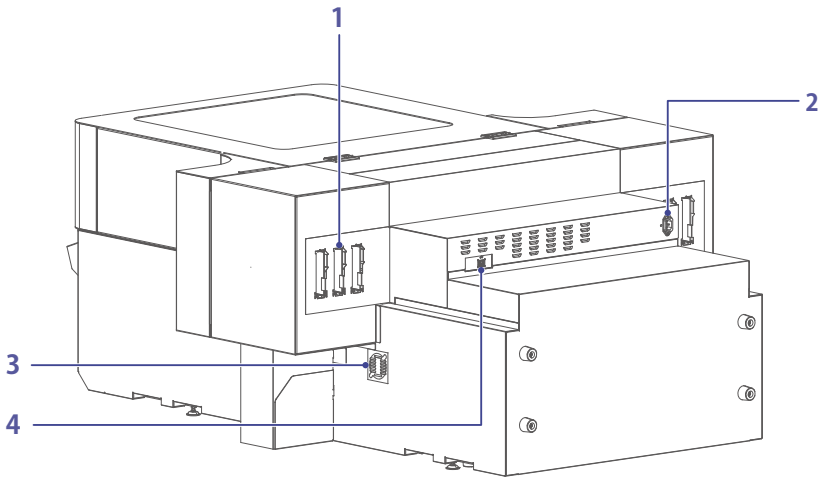
各部の名称・はたらき

正面

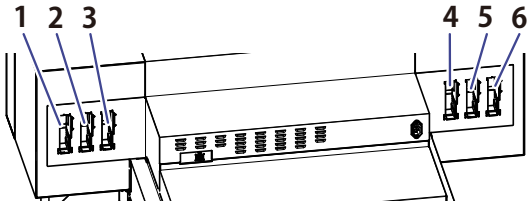


1	**フロントカバー**	メディアセット時や紙詰まり時に開閉します。 メディアセット時に開閉します。 通常は閉じておきます。
2	**メンテナンスカバー R**	清掃時や消耗品の交換時に開閉します。 通常は閉じておきます。
3	**メンテナンスカバー L**	
4	**障害物センサー**	メディアがプリントヘッドに接触しないように確認するセンサーです。
5	**プリンターコントロールパネル**	➔「プリンターコントロールパネル」P.29
6	**ハンドル**	サービスマンによるメンテナンス専用のハンドルです。本書に記載されている以外の操作をしないでください。
7	**キャリッジ**	プリントヘッドと LED ポインターおよび UV-LED ユニットを内蔵しています。 印刷中は左右に動きます。
8	**UV-LED ユニット**	インクを硬化する UV 光（紫外線光）を照射するユニットです。
9	**LED ポインター**	原点を設定するときや、印刷範囲を確認するときに使用します。
10	**テーブル**	本部位の上でメディアが印刷されます。 内部に吸着ファンがあります。
11	**廃液タンク**	廃インクや使用後の洗浄液をためるタンクです。 満タンになる前に、廃液を排出してください。

背面



1	**カートリッジスロット**	インクや洗浄カートリッジをセットします。インク配列は下記のとおりです。
2	**AC インレット**	電源コードを接続します。
3	**排気ファン**	製品内部の排気を逃がします。
4	**ネットワークコネクター**	イーサネットケーブルを接続し、プリンターとコンピューターとの接続に使用します。



Rear side

Slot	
1	K（ブラック）
2	M（マゼンタ）
3	C（シアン）
4	Y（イエロー）
5	VA（バーニッシュまたはクリア）
6	WH（ホワイト）

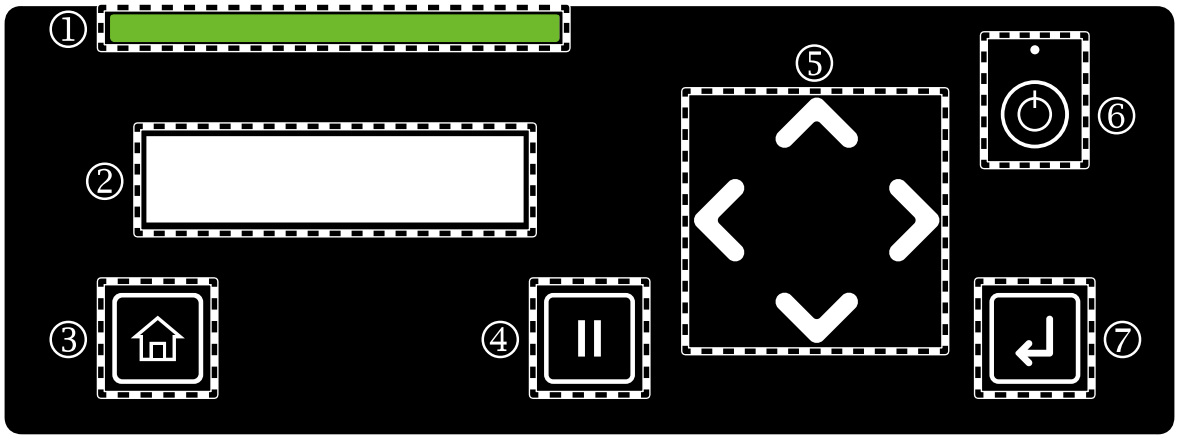
プリンターコントロールパネル

プリンターコントロールパネルの使い方

プリンターコントロールパネルはタッチパネルです。操作が有効なキーが発光して、操作をサポートします。

- タップ : キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ : キーを長押しします。

プリンターコントロールパネルの各部について

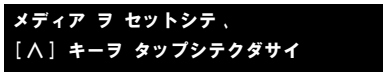


1	**ステータスバー**	本製品の状態、エラーなどを表示します。 通常時 : 緑色に点灯 エラー発生時 : 赤色に点灯
2	**ディスプレイ**	本製品の状態、設定メニュー、エラーなどを表示します。
3		**[Home] キー :** 設定メニューに入るとき／出るときに使用します。
4		**[Cancel] キー :** 印刷を一時停止します。印刷停止状態で、再度タップすると印刷を再開します。
5		**方向キー :** 設定メニュー表示中は、メニューの選択や、値の入力に使用します。 • **[∧]** キー : メニューを上に移動します。 • **[<]** キー : 変更を適用せず、前のメニューに戻ります。 • **[>]** キー : 次の階層のメニューに入ります。 • **[∨]** キー : メニューを下に移動します。 プリンターが待機中の方向キー操作については以下をご参照ください。 ➔「ダイレクトキー操作」P.31

6		**電源ボタン：** • 電源がオフの状態で2秒以上押すと、電源がオンになります。上部の LED が白色に点灯します。 • 電源がオンの状態で2秒以上押すと、スリープモードに切り替えるための動作を開始します。上部の LED は 5 秒おきに点滅します。詳細は**「スリープモード」P.49** をご参照ください。 • 電源をオフにする場合、通常時はパネル設定メニューから操作します。電源がオフになると上部の LED は消灯します。 **Note** ⏻マークはスタンバイを意味します。本製品は電源ボタン上部の白色 LED が消灯していても、電源コードを接続していると微量の電力を消費します。本書ではこの状態を「電源オフ」と表記しています。電源ボタン上部の LED は、電源オンでなくとも電源ケーブルをコンセント接続すると点灯します。
7		**[Enter] キー：** メニューや、値の決定に使用します。

ダイレクトキー操作

[インサツデキマス] または **[メディア ヲ セットシテ、[∧] キーヲ タップシテクダサイ]** が表示されているときにタップすると、特定のメニューへショートカットしたり、プリンターを印刷可能状態やメディア交換可能状態に切り替えたりすることができます。





Note

操作が有効なキーが発光します。

[<] キー

ノズルチェックメニューにアクセスします。

➔「ノズルチェックをする」P.58

[>] キー

以下のメンテナンスメニューにアクセスします。

➔「ヘッドクリーニングをする」P.61
➔「CR メンテナンス」P.113
➔「各部の清掃」P.160
➔「微量充てん」P.162
➔「漬け置きクリーニング」P.163

[Enter] キー

次回のインクかくはんまでの残り時間が表示されます。

➔「次回のインクかくはんまでの残り時間を確認する」P.121

[∧] / [∨] キー

- **[∧]** キー : メディアをセットした後にタップすると、印刷可能な状態になります。
- **[∨]** キー : 印刷後にタップすると、メディアが交換可能な状態になります。

[Cancel] キー

以下のメディア設定メニューにアクセスします。

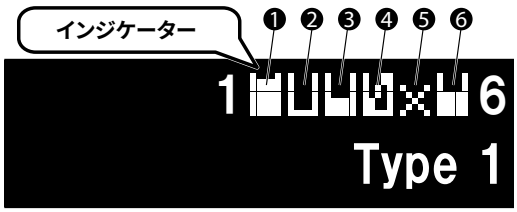
➔「セットカクニン」P.118
➔「タカサ」P.99

コントロールパネルのインジケーター表示

次の場合に、ディスプレイにインクやカートリッジの状態を示すインジケーターを表示します。

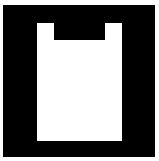
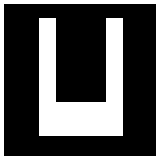
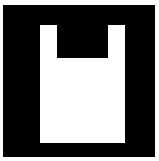
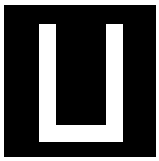
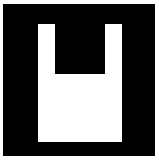
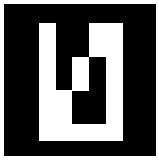
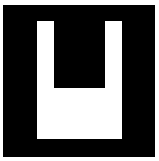
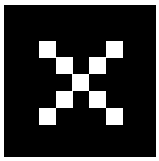
- メニューを表示していないとき
- インクやカートリッジのエラーのとき

対応スロット番号



インジケーターは、Slot1 ～ Slot6 のカートリッジスロットに対応しています。左端が Slot1 の状態を表しています。両端の **[1]** と **[6]** は Slot 番号を示しています。

インジケーターの意味は下表のとおりです。

	インク残量 80%以上 100%以下		インク残量 20%未満 • インジケーターが点滅している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。 ➔「スマートチップリカバリー」P.204
	インク残量 60%以上 80%未満		インク少ない
	インク残量 40%以上 60%未満		インクなし
	インク残量 20%以上 40%以下		カートリッジなし

接続するコンピューターについて

Important!

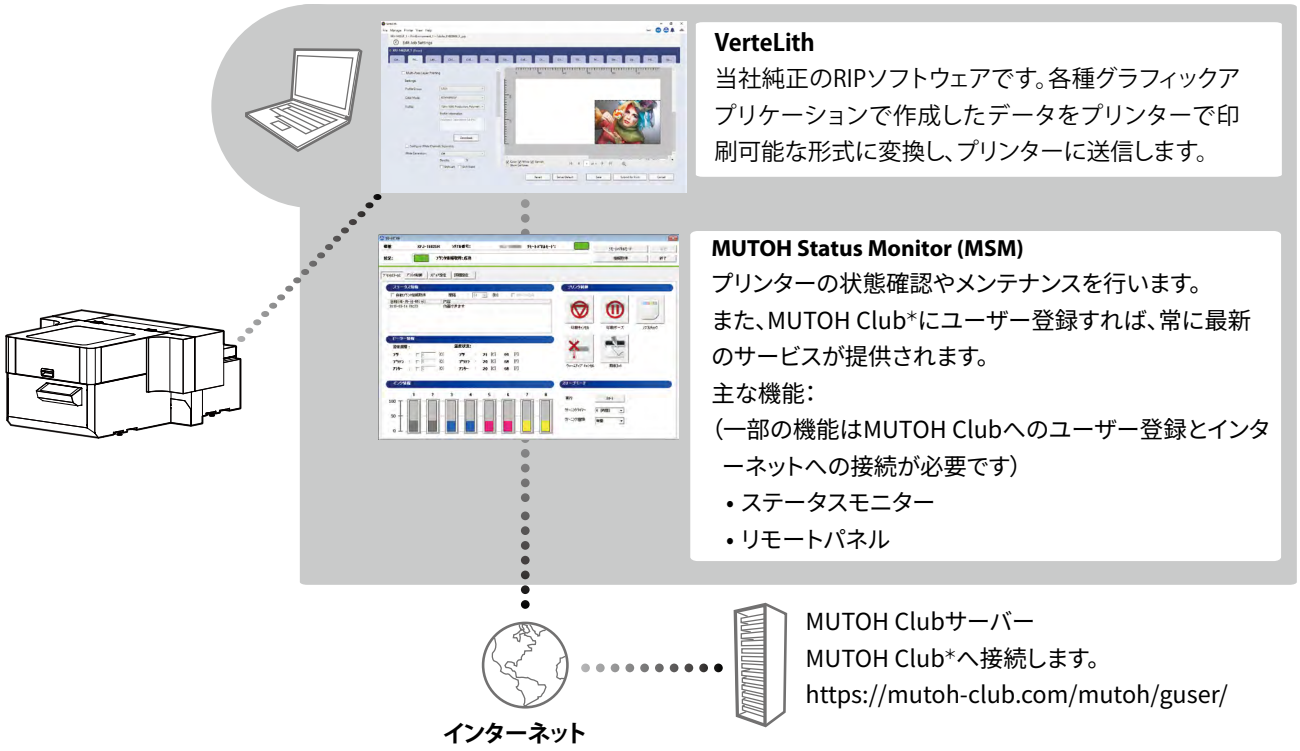
コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS: Windows 11
- CPU: Intel (R) Core (TM) i5 以上
- メモリ : 16GB 以上
- ネットワーク : ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

システム構成



＊MUTOH Club

ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供する Web サービスです。ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。

主な機能 :

- 最新アプリ、マニュアルのダウンロード
- メディアプロファイルのダウンロード
- プリンター状態の確認（MSM のプリンター情報提供サービス使用時

他社製 RIP ソフトから印刷する場合は、MSM の Mutoh Print Server（以降、MPS）*2 機能をご利用ください。

最新の MSM は、MUTOH Club からダウンロードできます。

MPS 機能を有効にし、RIP の出力先を MPS 機能に切り替えることで印刷できます。

Note

＊2 MPS は、前処理ソフトウェアとして機能し、イーサネット接続環境下でプリンター機能をサポートします。使用する際のネットワーク推奨環境や設定方法などの詳細は、「MUTOH Satus Monitor 取扱説明書」をご参照ください。

MSMの起動/表示/終了の方法

MSM の起動方法



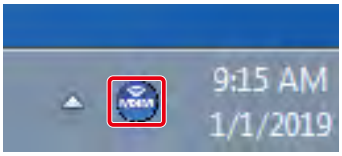
デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックする。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

[スタート] メニューから **[すべてのプログラム]**（または **[すべてのアプリ]**）- **[MUTOH]** - **[MUTOH Status Monitor]** の順にクリックします。

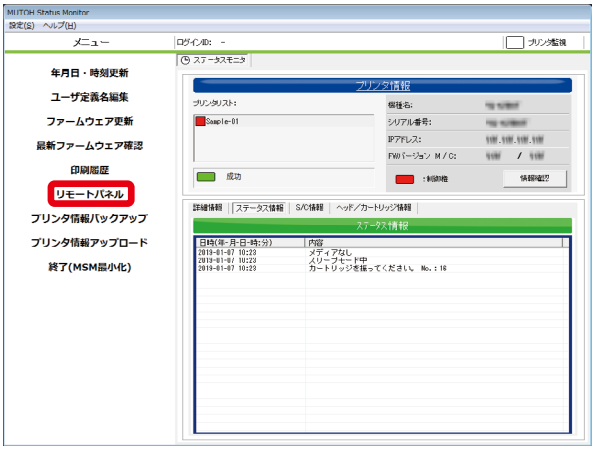
MSM の表示方法



タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックする。

リモートパネルの表示方法

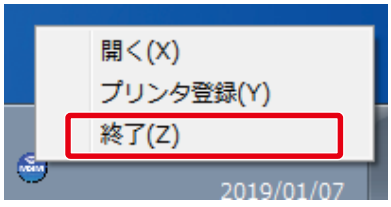
リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。



リモートパネルをクリックする。

- リモートパネルが開きます。

MSM の終了方法



タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、**[終了]** をクリックする。

Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの **[設定]** - **[閉じる]** の順にクリックします。

VerteLith のインストール

ライセンスをご購入後、同梱の「インストールガイド」を見ながら、ユーザー登録とインストールを行います。
インストール後は、VerteLith のユーザーマニュアルに従って、初期設定とプリンター登録をしてください。

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用できます。

メディアサイズ

最大幅	493 mm
最大長さ	620 mm
最大厚さ	153 mm
表面高低差	-0.5 mm 以下（目安）
重量	8.0 kg 以下（治具を含む）

Important!

本製品のメディア設定 Type で設定可能な最小メディア幅と最小メディア長さは、30 mm × 30 mm です。それ以下のサイズのメディアに印刷する場合は、テーブルがインクで汚れないようご注意ください。

Note

推奨メディアにつきましては、お買い求めの MUTOH 製品取扱店へご確認ください。

メディアの取り扱い上のご注意

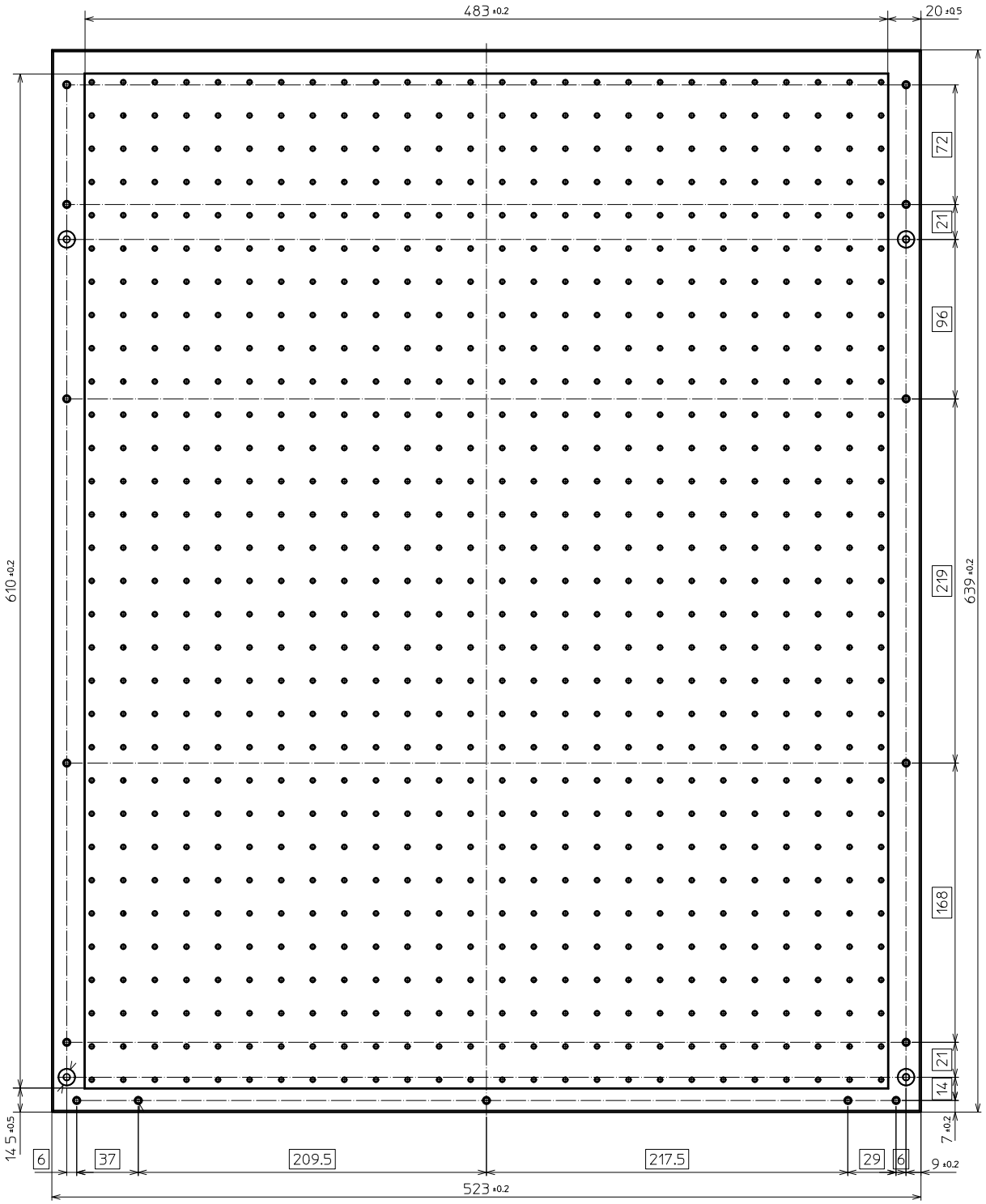
メディアを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。以下の注意に従っていただけない場合、本製品の故障につながるおそれがあります。

- シワや折れ、反りなどがないメディアを使用してください。
- 端が折れているなど、平らにならないメディアを使用する場合、薄手のテープでメディアをテーブルに固定して、浮いている部分がないようにしてください。
- 印刷中に変形するメディアは、薄手のテープでテーブルに固定して、メディアがプリントヘッドに接触しないようにしてください。
- 熱に弱いメディアは使用しないでください。
  UV 光の発する熱でメディアが変形します。
- 転がりやすい立体物（ゴルフボールやボールペンなど）に印刷する場合は、治具などを使用して転がらないようにしてください。
- サイズが小さく、重量があるメディアや治具をセットする場合、できるだけテーブルの中央部にセットしてください。
- 高低差（凹凸）のあるメディアは、インクミストの発生による製品の動作不良や故障の原因となります。
  高低差（凹凸）のあるメディアに印刷する場合、低い側の印刷面とプリントヘッドの距離が大きいと十分な印刷結果が得られないことがあります。
- UV 光を反射しやすいメディアは、プリントヘッド表面のインクを硬化させるため、製品の動作不良や故障の原因となります。
  印刷する場合は、印刷範囲外に光が漏れないようにメディア上をマスキングするなどの処置を推奨します。
- 高さのあるメディアを複数並べて使用する場合、メディア間の隙間から漏れた UV 光（迷光）がプリントヘッド表面のインクを硬化させるため、製品の動作不良や故障の原因となります。
  メディア間の隙間は治具で塞ぐことを推奨します。治具には、光を反射しにくい材料を使用してください。
- テーブル表面に、傷防止などのために薄いテープを貼る場合、色の濃いテープをご使用ください。
  白のような色の明るいテープでテーブル表面を覆った場合、UV 光が反射してプリントヘッド表面のインクを硬化させるため、製品の動作不良や故障の原因となります。

メディアセット時のご注意

- メディアをセットするときは、メディアの置き方と入力するメディア情報に注意してください。
  メディア情報が正確に入力されていない場合、メディアからはみ出してテーブル上に印刷してしまうおそれがあります。テーブル上に付着したインクは UV 光によって硬化し、取り除くことができません。
- テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。
  障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
- テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、障害物センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。
  設置したメディアより高い物を置くと、プリントヘッドとぶつかり故障の原因となります。
  ➔ 「印刷エリア」P.51

テーブル寸法図


483 ±0.2
20 ±0.5
72
21
96
219
168
21
14
610 ±0.2
639 ±0.2
14.5 ±0.5
7 ±0.2
6
37
209.5
217.5
29
6
9 ±0.2
523 ±0.2

ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください

- 本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにしたり電源ケーブルを抜いたりせず、必ずスリープモードにしてください。
  スリープモードにしないと本体内部のインクが沈降・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
- プリンターの電力要件を満たすコンセント及びブレーカーを使用してください。
  電力要件を満たしていない場合、ブレーカーが遮断する原因になります。

定期的に使用してください

本製品は 1 週間に一度は使用することをおすすめします。長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- 印刷前と印刷後に、ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
- 1 日の作業終了後に、必ずデイリーメンテナンスをしてください。デイリーメンテナンスを実施しない場合、画質不良や故障の原因となります。
  ➔ 「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135
- 長期間使用しない場合* は、スリープモードにして 1 週間に一度、以下を実施してください。
  - インクをかくはんしてください。
  - インクの残量を確認し、**[インクスクナイ]** が表示されていたらインクを交換してください

  上記が実施できない場合は、下記を参照して電源をオフにしてください。
  ➔ 「長期間使用しない場合（長期保存）」P.187
  （*「長時間使用しない場合」とは、1週間から1か月間放置する場合を指します。）
- 廃液タンクを定期的に確認し、満タンになる前に廃液を排出してください。
- 1か月に一度は内部の清掃を行ってください。

意図しないインクの硬化に注意してください

プリンターに搭載されている UV-LED ユニット以外に、作業エリア内に直射日光や人工光などで UV 光が発生する場合があります。そのような場合、意図しないインクの硬化によって、（インク詰まり・メンテナンスユニットの機能障害・ヘッド破損など）プリンターが故障するおそれがあります。以下のガイドラインを守ってください。

- 直射日光のあたる場所に本製品を設置しないでください。
- 待機時は、必ずフロントカバーを閉めてください。
- カバーを取り外さないでください。本製品を改造しないでください。
  本製品を改造・分解すると、保証の対象外になります。

インクの取り扱いに注意してください

- インクは純正品を使用してください。
  本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。この場合には保証の対象外となります。
- インクは使用期限内に使い切ってください。
  使用期限を超えたインクを使用し続けた場合、画質不良や故障の原因となります。
- インクをかくはんしてください。
  インクは、初めて使用する前にかくはんしてください。また、パネルメッセージに従って、定期的にかくはんする必要があります。放置するとインクカートリッジ（インクパック）内部のインクが沈降・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
- 硬化前の UV インクが皮膚に触れないようにしてください。
  UV インクは、メディアの表面特性により、硬化するまでの時間が異なる場合があります。特に、インク打ち込み量の少ない印刷部分は、硬化するまでに一定の時間を必要とします（目安として 1 時間）。UV インクが硬化しているか確認するときは、必ず保護手袋を着用してください。

定期的に交換が必要な部品があります

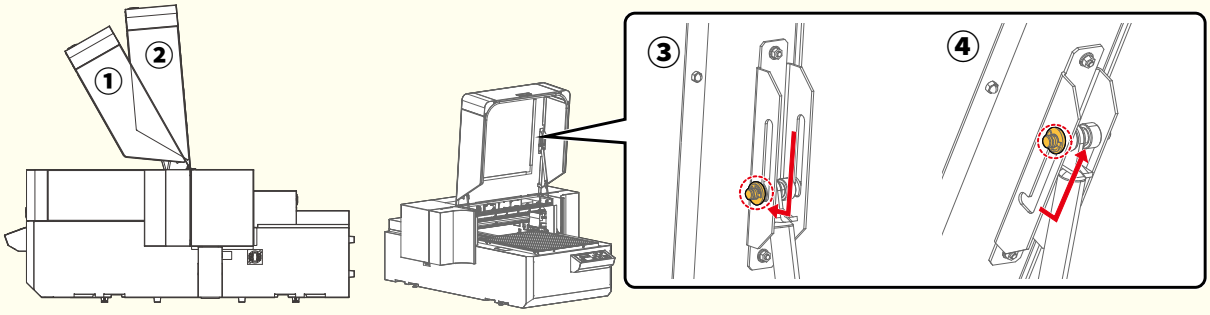
本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

- ユーザーによる交換が必要な部品：
  フラッシングボックス用吸収材、クリーニングワイパー、UV-LED ユニットのガラスおよびフィルター
- サービスマンによる交換が必要な部品：
  各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド、キャップ、UV-LED ユニット

カバーの開閉について

注意

- **フロントカバーには通常位置（①）と全開位置（②）の二段階があります。全開位置はテーブルメンテナンス作業時にのみ使用してください。その他の作業時は通常位置で使用してください。**
- **全開位置で使用する場合は、以下をお守りください。操作が適切でないとフロントカバーが突然閉まり、けがをするおそれがあります。**
  - 全開位置で固定するときは、必ずダンパーをロックする（③）。
  - フロントカバーを閉じる際は、必ずダンパーのロックを解除してから閉じる（④）。

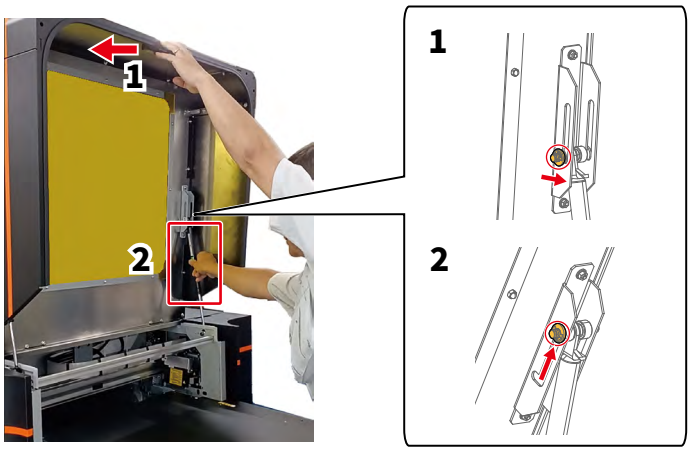


Important!

フロントカバーを全開にした場合、必ずダンパーのロックを解除してからフロントカバーを閉じてください。ダンパーがロックされている状態でフロントカバーを閉じると、破損の原因になります。

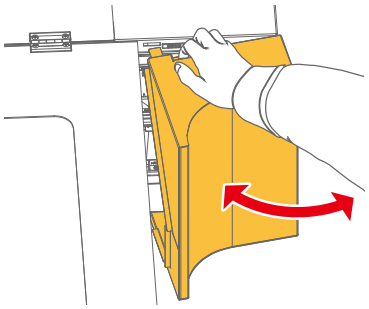
ダンパーロックの解除方法

1. フロントカバーを奥側へ押して、ダンパーのロックを解除する。
2. 図の位置でダンパーを持ち、ロックを解除した状態のままフロントカバーを閉じる。



Note

- 本製品はメンテナンスカバー単独で開閉することができます。メンテナンスカバーを開けて、日々のメンテナンスを実施してください。
  - 図の位置に指をかけ、ゆっくりと開閉してください。



- メンテナンスカバーに寄りかかったり、物を載せたりしないでください。

2 基本的な使い方

電源の操作 45
印刷する 51
インクをかくはんする 79
インクの確認と交換 86

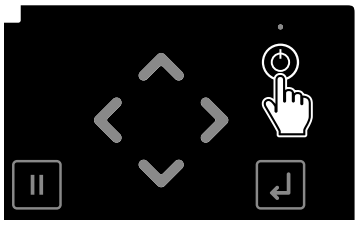
電源の操作

電源をオンにする

手順

1. フロントカバーを閉じる。

2. プリンターコントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押す。



各キーが点灯します。

> **Note**
> **[Welcome]** と表示されたら、電源ボタンから指を離してください。

> **Note**
> 本製品は、電源をオンにしたときにテーブルのイニシャル動作を行います。このときプリントヘッドとメディアとの距離を最適化する補正を行います。
> パネル設定メニューの **[キャリブレーション]** から、手動でテーブルのイニシャル動作を実施できます。
> ➔「テーブルのキャリブレーションを実施する」P.76

> **Important!**
> - テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。
>   障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
> - テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、障害物センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。
>   設置したメディアより高い物を置くと、プリントヘッドとぶつかり故障の原因となります。

電源をオフにする

Important!

- 本製品は電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。
  スリープモードにしないと本体内部のインクが沈降・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
  ➔「スリープモード」P.49
- 長期間（最長 1 か月）使用しない場合は、「長期間使用しない場合（長期保存）」の手順に従って、電源をオフにしてください。
  ➔「長期間使用しない場合（長期保存）」P.187

本製品の電源を一時的にオフにする場合は、以下の手順で行います。

手順

1. 印刷が終了し、メディアと治具が取り外されていることを確認する。

2. デイリーメンテナンスに必要なものを準備する。
➔「メンテナンスの準備」P.131

3. **[Home]** キーをタップする。

4. 「電源遮断」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

5. **[>]** キーをタップする。

6. **[∧]** / **[∨]** キーで **[デンゲンシャダンシマスカ？ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。



Note

- **[Cancel]** キーをタップすると、デイリーメンテナンスを実施せずに電源をオフします。
  ➔「Step3. デイリーメンテナンスをスキップして電源をオフにする」P.191
- デイリーメンテナンスを実施せずに電源をオフすると、プリントヘッド周辺のインクが固着し故障の原因となります。通常は必ずデイリーメンテナンスを実施してください。

7. **[デイリーメンテナンス カイシ ー> Enter]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップする。



- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。

8. **[メディア ヲ トリノゾキ、メンテジグヲ セットシテ Enter]** と表示されたら、以下を実施する。

a. メディアと治具を取り外す。

b. メンテナンス治具をセットする。

➔ 「メンテナンス治具のセット方法」 P.132

> **Note**
> クリーンスティックでメンテナンスする場合、メンテナンス治具の取り付けは不要です。次に進んでください。

9. **[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- キャリッジ、クリーニングワイパーがメンテナンス位置に移動します。

10. **[デイリーメンテナンス シュウリョウ ー> Enter]** と表示されたら、デイリーメンテナンスを開始する。

➔ 「Step3. デイリーメンテナンスを実施する」 P.138

11. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。

「Step4. デイリーメンテナンスを終了する」 P.146



a. **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。

b. 自動でクリーニング「微量」が始まります。

c. クリーニング終了後、本製品が電源オフ動作を開始します。



Important!

以下の場合のみ、電源ボタンを 2 秒以上押すと電源をオフにできます。

- 再起動が必要なエラー発生したとき
- インク未充てんのとき
- アクティベーション中
- MSM でプリンターのファームウェアを更新したとき
- プリンターのイニシャル動作中
- 「移動準備」メニューの実行完了後

手順

1. 電源ボタンを 2 秒以上押す。
   - 本製品が電源オフ動作を開始します。
   - **[デンゲンシャダンチュウ]** と表示されたら、電源ボタンを離します。
   - 電源ボタン上部の LED が消灯します。

スリープモード

本製品は電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。

スリープモードにしないと本体内部のインクが沈降・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

また、スリープモードにする前は、プリンターコントロールパネルの指示に従って、必ずデイリーメンテナンスを実施してください。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- プリンター内にあるインクの一部を循環する

スリープモード中は、電源ボタン上部の LED が 5 秒おきに点滅し、**[Enter]** キー以外の操作は無効になります。

メンテナンスなどのために電源を一時的にオフにする必要がある場合は、パネル設定メニューから操作します。

➔「電源をオフにする」P.46

Important!

スリープモードを 7 日間以上継続する場合は、7 日間が経過した時点で下記を行ってください。

- スリープモード中はインクの残量を確認し、**[インクスクナイ]** が表示されていたらインクを交換してください。
  ➔「インクの確認と交換」P.86
- インクをかくはんしてください。
  ➔「インクをかくはんする」P.79

スリープモードを開始する

スリープモードにするときは、コントロールパネルの指示に従って、必ずデイリーメンテナンスを実施ください。詳しい手順については、以下を参照してください。

➔「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135

スリープモードを終了する

以下が表示されているときに、**[Enter]** キーをタップする。



スリープモードが終了し、**[インサツデキマス]** と表示されます。

Important!

本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充てんを行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

長期間スリープモードに入る場合

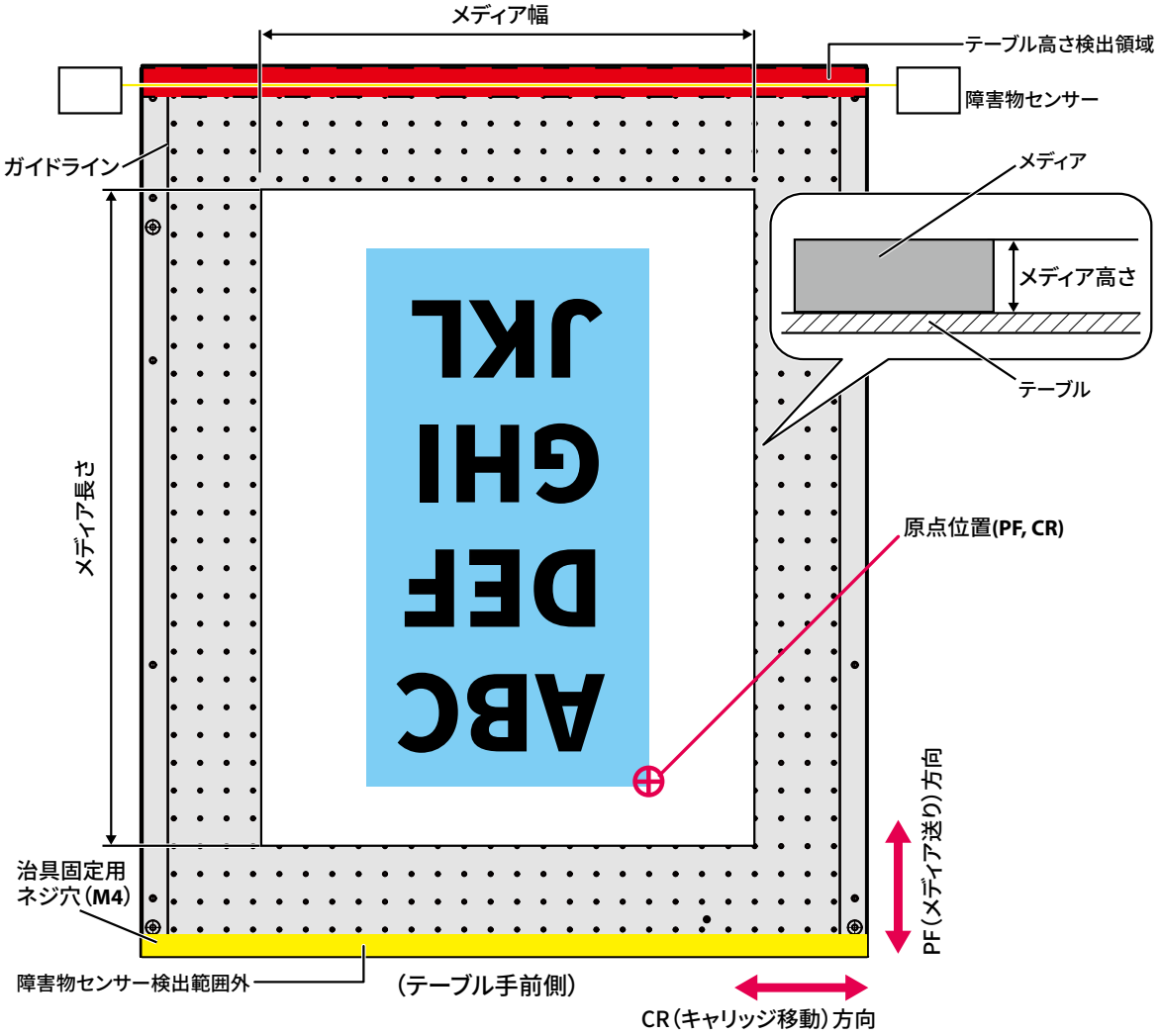
長期間スリープモードに入る場合は、事前に下記を実施してください。

- インクカートリッジ（インクパック）の残量が十分あることを確認してください。
  ➔ 「インク残量を確認する」P.86
- 廃液タンクの廃液を捨ててください。
  ➔ 「廃液タンクを空にする」P.155

印刷する

印刷エリア

- 設置したメディアのサイズ（幅と長さ）の入力が必要です。
- デフォルトの原点位置（印刷開始位置）はテーブル手前右端です。メディアセット位置に合わせて、原点位置を変更することもできます。
- ガイドラインは、最大印刷領域（483 mm × 610 mm）を示しています。
- ネジ穴（M4）は、治具（お客様でご用意ください）を固定するときに使用します。
- 各寸法については、「テーブル寸法図」をご参照ください。



Important!

- テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。
  障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
- テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、障害物センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。
  設置したメディアより高い物を置くと、プリントヘッドとぶつかり故障の原因となります。

メディアのセット方法

Important!

- **メディアをセットするときは、メディアの置き方と入力するメディア情報に注意してください。**
  メディア情報が正確に入力されていない場合、メディアからはみ出してテーブル上に印刷してしまうおそれがあります。テーブル上に付着したインクは UV 光によって硬化し、取り除くことができません。
- **テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。**
  障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
- **テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、障害物センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。**
  設置したメディアより高い物を置くと、プリントヘッドとぶつかり故障の原因となります。
  ➔「印刷エリア」P.51

Step1. メディアをテーブルに置く

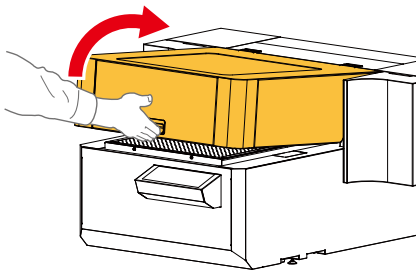
手順

1. 以下が表示されていることを確認する。

```
メディア ヲ セットシテ、
[∧] キーヲ タップシテクダサイ
```

表示されていないときは、[∨] キーをタップします。

2. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。



- 以下のメッセージが表示されます。

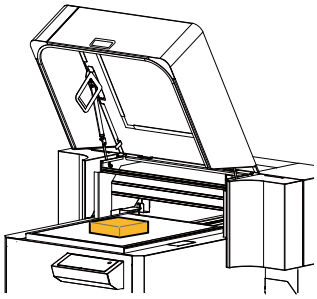
```
メディア ヲ セットシテ、
カバー ヲ トジテクダサイ∧2∨
```

Note

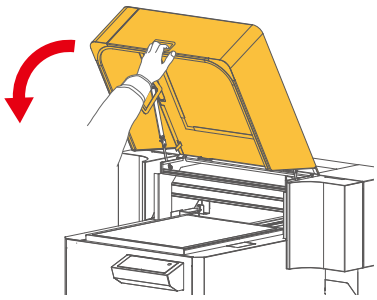
このメッセージが表示されているときに、[∧] / [∨] キーで印刷中の吸着ファンの強さを変更することができます（設定範囲 : 0 ～ 4。0 に設定すると吸着ファンがオフになります）。

吸着ファンは、[∧] / [∨] キーをタップすると動作を開始します。設定を変更すると、選択中のメディア設定 Type に反映されます。

3. テーブルにメディアを置く。



4. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと閉じる。



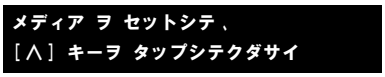
➔ 「Step2. メディアを確認する」 P.54

Step2. メディアを確認する

メディアの高さ、障害物検出時の動作を設定する

手順

1. 以下が表示されていることを確認し、**[∧]** キーをタップする。



- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルが奥に移動しながら、障害物センサーでメディアを検知します。

> **Note**
>
> テーブルの位置が高すぎるときは、**[ショウガイブツ　ケンシュツ　[∨] キー　ヲ　タップシテクダサイ]** と表示されます。
> **[∨]** キーをタップして、テーブルの高さを再調整してください。

2. **[∗∗ : セットカクニンヒョウジ :　オン]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップする。



> **Note**
>
> 「セット確認表示」メニューについて
> 本メニューは、メディア設定 Type の初回選択時のみ表示されます。
> - オン : 毎メディアセット時に、**[∧]** キーをタップした後、以下のメニューの値を入力します。
> -「メディア高さ」-「障害物検出」-「メディア幅」-「メディア長さ」-「原点」
> - オフ : 毎メディアセット時に、**[∧]** キーをタップした後、**[インサツデキマス]** と表示されます。上記メニューの設定値は、選択中のメディア設定 Type の値を使用します。
> **[オフ]** を選択した後でも、**[インサツデキマス]** または **[メディア　ヲ　セットシテ、[∧]** キーをタップシテクダサイ] 表示中に **[Cancel]** キーをタップすると、**[∗∗ : メディアセッテイ 1　セットカクニン]** から、上記メニューの値を入力できます。

3. **[∗∗ : タカサ :　オート]** と表示されたら、**[∧] / [∨]** キーでメディアの高さの設定方法を選び、**[Enter]** キーをタップする。

- **オート :** 自動でメディアの高さを検出します。高さ検出センサーが反応しなくなるまで、テーブルが下降します。
- **マニュアル :** 手動でメディアの高さを入力します。

> **Note**
>
> 透明なメディアの場合、メディアの高さが正しく検出されない可能性があります。

4. 選んだ設定方法に応じて以下を実施する。

■ **[オート] を選択した場合**



a. **[∧]** / **[∨]** キーでプリントヘッドとメディアとの間の補正距離を入力する。

b. **[Enter]** キーをタップする。

- **[∗∗ : タカサヘンコウカクニン : オフ]** が表示されます。**[オン]** に設定すると、メディアセット時に、高さの変更を確認するメッセージが表示されるようになります。**[オフ]** に設定した場合は表示されません。

➔「タカサ」P.99

a. **[∧]** / **[∨]** キーで **[オン]** か **[オフ]** を選択し、**[Enter]** キーをタップする。

> **Note**
>
> プリントヘッドとメディアとの間の距離の初期値は 1.2 mm です。さらに距離を広げる場合、0.0 mm ～ 1.5 mm の間で入力することができます。
>
> - 例 :
>
> 「PG オフセット : 0.5 mm」に設定した場合、プリントヘッドとメディアとの間の距離は、1.2 mm + 0.5 mm = 1.7 mm になります。

■ **[マニュアル] を選択した場合**



a. **[∧]** / **[∨]** キーでメディアの高さを入力する。

b. **[Enter]** キーをタップする。

> **Note**
>
> メディアの高さは 0.0 mm ～ 153.0 mm の間で入力することができます。

5. **[∗∗ : ショウガイブツケンシュツ :　オフ]** と表示されたら、**[∧]** / **[∨]** キーで印刷中の障害物検出時の動作を選ぶ。

- **オフ :** 印刷中に障害物検出動作を行いません。
- **オート :** 印刷を一時停止します。センサーが反応しなくなるまでテーブルが下降してから、印刷を再開します。
- **キャンセル :** 印刷をキャンセルし、障害物検出エラーを表示します。
- **カクニン :** 印刷を一時停止します。印刷の再開、またはキャンセルを選択するメニューを表示します。

> **Note**
>
> テーブルを一番下まで下降してもセンサーが反応する場合、印刷を中止し、障害物検出エラーを表示します。

Important!

印刷中に一時停止すると、再開したときにつなぎ目でスジが発生したり、色調が変わってしまうことがあります。

6. （手順4で [＊＊：タカサヘンコウカクニン：オン] を選択した場合のみ）
[メディアタカサ ハ オナジデスカ？　H：XXX.X mm ハイ] と表示されたら、**[∧]** / **[∨]** キーで **[ハイ]** か **[イイエ]** を選択する。

Note

- 本メッセージは、メディア設定メニューで高さ設定を **[オート]** に、高さ変更確認設定を **[オン]** に設定している場合のメディアセット時に表示されます。ただし、以下の場合は除きます。
  - 電源をオンにした後の最初のメディアセット時
  - 高さ設定を **[マニュアル]** から **[オート]** に切り替えた後の最初のメディアセット時
- セットするメディア高さが前回セットしていたメディア高さと変わらない場合、**[ハイ]** を選択すると、メディア高さの検出時間が短縮されます。
- セットするメディア高さが、前回セットしていたメディア高さと異なる場合や、**[ハイ]** を選択してエラーが頻繁に発生する場合には、**[イイエ]** を選択してメディア高さを再検出させてください。

7. **[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルが奥に移動しながら、障害物センサーでメディアを検知します。

■ **障害物が検出されない場合：次の手順に進みます。**

➔「メディアの幅と長さ、原点を入力する」P.56

■ **障害物が検出された場合：障害物検出エラーが表示されます。**

- **[∨]** キーをタップする。
- メディアセットをやり直し、メディアの高さを修正してください。

➔「Step1. メディアをテーブルに置く」P.52
➔「Step2. メディアを確認する」P.54

○ メディアの幅と長さ、原点を入力する

手順

1. メディアの幅を入力する。

[∧] / **[∨]** キーでメディアの幅を入力し、**[Enter]** キーをタップする。



Note

設定範囲（幅）：30 ～ 483 mm

2. メディアの長さを入力する。

[∧] / **[∨]** キーでメディアの長さを入力し、**[Enter]** キーをタップする。



Note

設定範囲（長さ）: 30 ～ 610 mm

3. 印刷開始位置（原点）を設定する。

- **[∧]** / **[∨]** キー : PF（メディア送り）方向
- **[<]** / **[>]** キー : CR（キャリッジ移動）方向



Note

原点は以下の範囲で入力することができます。

- PF: 0.0 ～ 590.0 mm
- CR: 0.0 ～ 463.0 mm

4. [Enter] キーをタップする。

- テーブルが奥に移動します。
- LED ポインターが点灯しながらキャリッジが設定位置に移動します。

5. 移動位置を確認する。

移動位置があっていない場合は、調整してください。

- **[∧]** / **[∨]** キー : PF（メディア送り）方向
- **[<]** / **[>]** キー : CR（キャリッジ移動）方向

6. [Enter] キーをタップして、手順を終了する。

- 以下が表示されます。



メディアセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズルの目詰まり（線の欠け）があったときは、プリントヘッドのクリーニングを実施してください。

ノズルチェックをする

ノズルの状態を印刷して、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

ノズルチェックの種類

ノズルチェック B	一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。
ノズルチェック F	すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。
ノズルチェック L	反原点側のテーブルの印刷範囲外でノズルチェックパターンを印刷します。印刷用メディアをテーブル上にセットしたままでも、ノズルチェックパターンを印刷することができます。

Note

ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明メディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

手順

1. ノズルチェックで使用するメディアをセットする。

➔ 「メディアのセット方法」P.52

Important!

必要メディアサイズ：

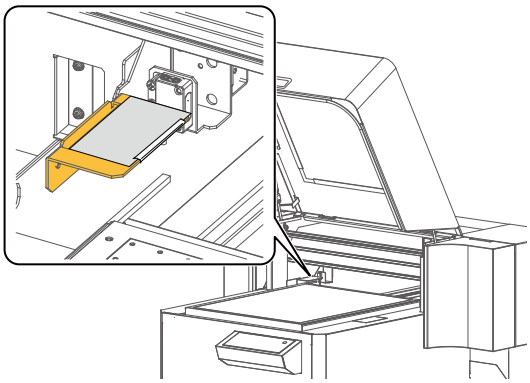
- ノズルチェック B、ノズルチェック F: 幅 260 mm x 長さ 45 mm
- ノズルチェック L: 幅 50 mm x 長さ 55 mm
  厚さ 1.5 mm 以下

小さなメディアを使用すると、印刷結果がはみ出します。テーブル上に付着したインクは UV 光によって硬化し、取り除くことができません。

■ ノズルチェック L の場合

反原点側のノズルチェック L スペースにメディアをセットする。

- メディアの右端とスペースの右端を合わせてください。
- メディアが浮かないようにマスキングテープ等で固定してください。



2. **[インサツデキマス]** 表示中に **[<]** キーをタップする。

3. **[∧] / [∨]** キーでノズルチェックの種類を選び、**[Enter]** キーをタップする。

- ノズルチェック L を選んだ場合は、**[>]** キーをタップしてから **[Enter]** キーをタップします。

```
インサツ ヲ カイシシマスカ？
      ノズルチェック B
```

```
インサツ ヲ カイシシマスカ？
      ノズルチェック F
```

```
インサツ ヲ カイシシマスカ？
ノズルチェック L
```

ノズルチェックパターンが印刷されます。

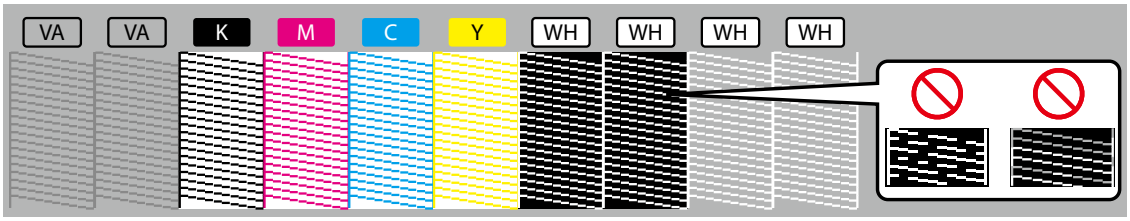
Note

パネル設定メニューからも、ノズルチェックの種類を選んで実行できます。

➔「メニュー 3: テスト印刷」P.114

4. パターンを確認する。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「ヘッドクリーニングをする」に進みます。
  ➔「ヘッドクリーニングをする」P.61
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

- 上記のパターンは、ノズルチェック B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。
- プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

ヘッドクリーニングをする

ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ノズルチェックの印刷結果によって使い分けてください。

ヘッドクリーニングモード

クリーニング「微量」	10 ノズル程度までの詰まりがある場合に使用します。少量のインクを消費します。
クリーニング「通常」	10 ノズル以上の詰まりがある場合に使用します。
クリーニング「強力」	クリーニング「通常」を実施してもノズルの目詰まりが解消しないときに使用します。クリーニング「通常」より多くのインクを消費します。
クリーニング「微量充てん」	クリーニング「強力」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。

手順

1. **[インサツデキマス]** 表示中に **[>]** キーをタップする。

2. **[∧] / [∨]** キーで実行するクリーニングモードを選び、**[Enter]** キーをタップする。









- クリーニングが始まります。



> **Note**
>
> パネル設定メニューからもヘッドクリーニングを実行できます。
>
> ➔「メニュー 2: メンテナンス」P.110

3. もう一度ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルの目詰まりがないかどうかを確認する。

➔「ノズルチェックをする」P.58

- ノズルの目詰まりが解消しない場合は、クリーニング「通常」を2～3回繰り返してください。クリーニング「通常」を繰り返しても解消しない場合は、クリーニング「強力」を行ってください。
- クリーニング「強力」を2～3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、別の方法でクリーニングしてください。

  ➔「ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき」P.160

印刷を開始する

画像を印刷する

純正 RIP ソフトウェア「VerteLith」を使った場合の基本的な印刷を説明します。

VerteLith のセットアップおよび詳しい操作方法については、別冊の「VerteLith ユーザーマニュアル」を参照してください。

手順

1. VerteLith を起動し、使用するプリンターに「XPJ-661UF-P」を選ぶ（①）。

「XPJ-661UF-P」が表示されます（②）。



> **Note**
>
> プリンターの登録方法は、「VerteLith ユーザーマニュアル」をご参照ください。

2. 印刷したい画像ファイルを追加する。

- ホールドタブの **[ジョブ追加]** アイコン（③）をクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示されます。



- ダイアログから追加したい画像ファイルを選択して **[OK]** をクリックすると、ホールドタブ内にジョブが追加されます（④）。複数のファイルも追加できます。

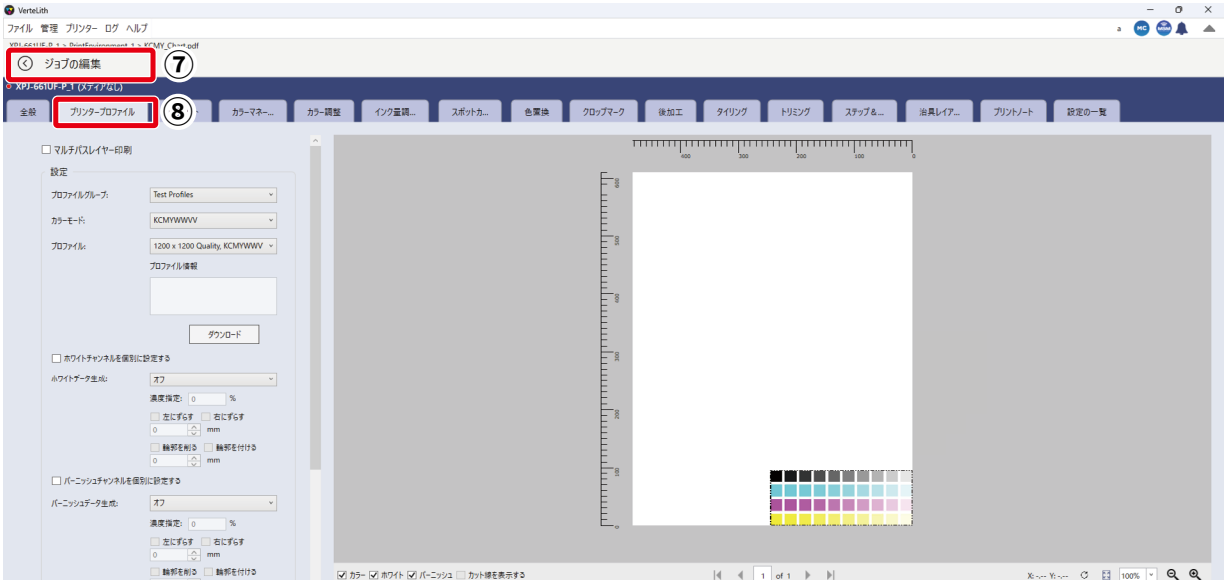


> **Note**
>
> ホールドタブにファイルをドラッグ&ドロップでも追加できます。

3. ジョブを選択して、[**編集**]（⑤）か [**ジョブ編集**]（⑥）をクリックする。

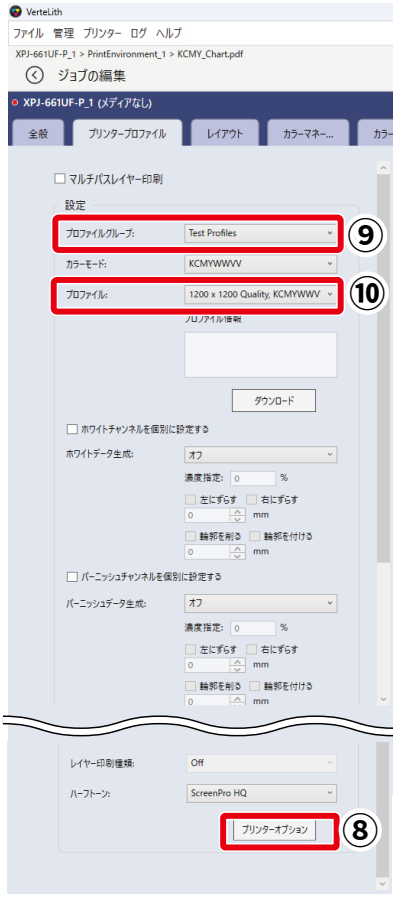


4. [**ジョブの編集**]（⑦）と表示されたら、プリンタープロファイルタブ（⑧）をクリックする。



5. 基本の印刷設定をする。

- プロファイルグループを選択（⑨）
  - 使用しているインクに合わせて選択します。
- プロファイルを選択（⑩）
  - 印刷に使用するメディア種類、印刷スピードに合わせて選択します。
- プリンターオプション（⑪）
  - 詳細な印刷設定ができます（デフォルトでも印刷できます）。



6. [プリンターへ送信]（⑫）をクリックする。

- ジョブは印刷タブに移動します。RIP 処理に続いて印刷を開始します。



- 送信中は、ジョブのステータス（送信中、RIP 処理待ち、RIP 処理中、印刷待ち）が表示されます（⑬）。



- 印刷終了後、ホールドタブに再びジョブが表示されます（⑭）。



ジョブの停止 / 再開 / キャンセル

手順

1. **[キュー停止]** アイコン（①）をクリックすると、RIP 処理後のジョブが「印刷待ち」状態になります（送信中のジョブの一時停止はできません）。



2. **[キュー再開]** アイコン（②）をクリックすると、「印刷待ち」のジョブの印刷が再開します。



3. **[キャンセル]** アイコン（③）をクリックすると、ジョブの印刷がキャンセルされます。



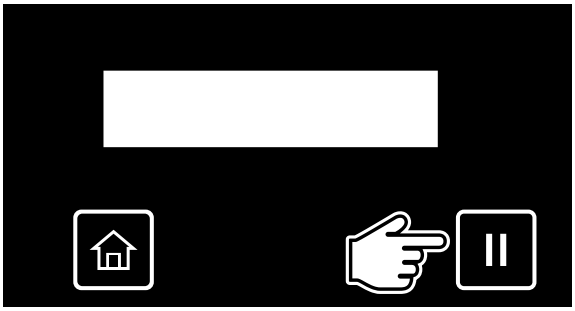
プリンターコントロールパネルからの各種操作

印刷の一時停止／再開

手順

1. 印刷中に、**[Cancel]** キーをタップする。

印刷が一時停止します。

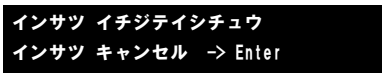


Note

本操作ではプリンターに送信された印刷データは削除されません。印刷を中止してデータを削除する場合は、以下を参照してください。

➔「印刷のキャンセル」P.68

2. 印刷を再開するには、**[Cancel]** キーをもう一度タップする。



Important!

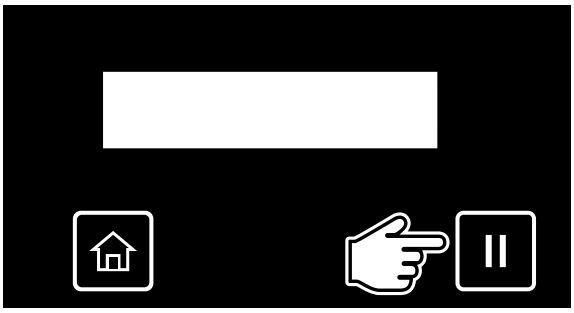
印刷を一時停止した場合、印刷品質は保証できません。

印刷のキャンセル

手順

1. 印刷中に、**[Cancel]** キーをタップする。

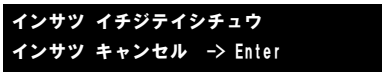
印刷が一時停止します。



> **Note**
>
> 再度 **[Cancel]** キーをタップすると、印刷を再開します。

2. **[Enter]** キーをタップして、印刷をキャンセルする。

- 一度キャンセルすると、このジョブは再開できません。
- プリンターに送信された印刷データが削除されます。



> **Note**
>
> MSM のリモートパネルでも、印刷をキャンセルできます。

印刷中にプリンターコントロールパネルでできること

手順

1. 次のいずれかのメッセージが表示されているときに、**[Home]** キーをタップする。



2. メニューを選び、**[>]** キーをタップする。

項目	機能
オクリホセイ	送り補正の調整値を、現在の印刷の間だけ変更できます。 • **[∧]** / **[∨]** キー : 設定値を変更します。 • **[Enter]** キー : 決定 **Note** • 設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。 • 変更した内容を選択中のメディア設定 Type に反映することができます。 ➔「ホゾン」 P.69
ホゾン	下記項目を、選択中のメディア設定 Type に保存します。 • 送り微調整 **[パラメータ ヲ ホゾンシマスカ ? ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップします。
ジョブステータス	印刷中のデータの情報を表示します。 • **[∧]** / **[∨]** キー : 表示する項目を選択します。 - データナガサ : 印刷中のデータの全長（メディア送り方向）を確認します。 - インサツ ズミ : 印刷中のデータについて、印刷済みの部分の長さを確認します。 - インサツ ノコリ : 印刷中のデータについて、まだ印刷されていないデータの長さを確認します。 - ノコリジカン : 印刷にかかる残り時間を表示します。 **Note** • この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。 • 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で **[0]** が表示されます。

印刷範囲を確認する

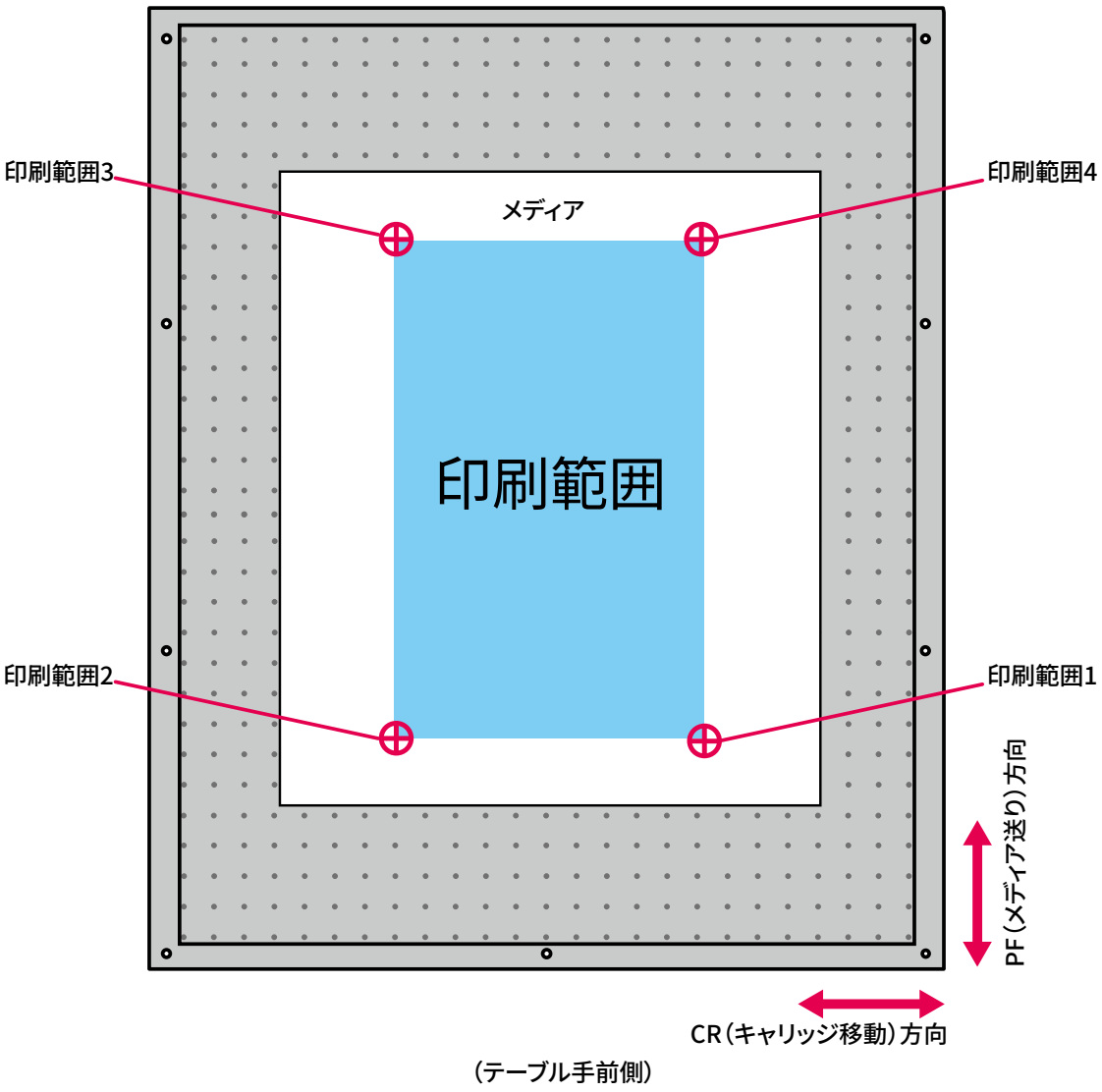
設定しておくと、印刷前に印刷範囲を確認することができます。LED ポインターが印刷範囲の外周と角の位置を示します。1 点もののメディアに印刷するときなど、失敗できないときに有効です。

この機能は下記をチェックすることができます。

- メディア位置と印刷範囲がずれていないか。
- 印刷データがメディアに対して大きすぎないか。

動作

- 印刷範囲の四隅を LED ポインターで指示します。
- ポイント上で LED ポインターが点滅（1 秒に 1 回）します。
- ポイントからポイントへ移動するときは点灯しながら移動します。
- 印刷データがメディアに対して大きすぎる場合は、ポイント上で早く点滅（1 秒に 2 回）します。
- LED ポインターは、図の「印刷範囲 1」～「印刷範囲 4」の順番に移動します。



Note

送信した印刷データに長さ情報（PF 方向の長さ）がない場合は、印刷範囲 3、印刷範囲 4 へ移動しません。

1. 印刷開始動作を設定する

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. 「印刷動作設定」メニューにアクセスする。

メニューフロー



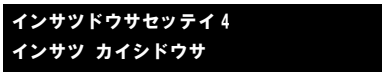
a. **[メディアセッテイ]** を選び、**[>]** キーをタップします。

b. **[∧]** / **[∨]** キーで任意のメディア設定 Type を選び、**[Enter]** キーをタップします。

c. **[∧]** / **[∨]** キーで **[インサツドウサセッテイ]** を選びます。

3. **[>]** キーをタップする。

4. **[∧]** / **[∨]** キーで **[インサツカイシドウサ]** を選び、**[>]** キーをタップする。



5. **[∧]** / **[∨]** キーで印刷開始時の動作を選ぶ。

- **オフ :** 印刷範囲を示さず、印刷開始の確認メッセージも表示されません。初期値はこの設定です。
- **開始確認 : [インサツ ヲ カイシシマスカ ?]** と、印刷開始の確認メッセージが表示されます。
- **ステップ :** 四隅のポイントごとにユーザーに確認をしながら、印刷範囲を LED ポインターで示します。
- **オート :** ユーザーへの確認なしに印刷範囲を LED ポインターで示します。

6. **[Enter]** キーをタップする。

続いて、印刷範囲を確認します。

➔ 「2. 印刷範囲の確認方法」P.72

2. 印刷範囲の確認方法

[ステップ] に設定した場合を説明します。

> **Note**
>
> **[オート]** の場合、以下の手順3がありません。手順 2 の後、LED ポインターはユーザーへの確認なしに「印刷範囲 1」～「印刷範囲 4」の順番に移動します。

手順

1. メディアをセットして印刷データをプリンターに送信する。

以下が表示されます。

```
サムスクリュー ヲ シメマシタカ？
カイシ          -> Enter
```

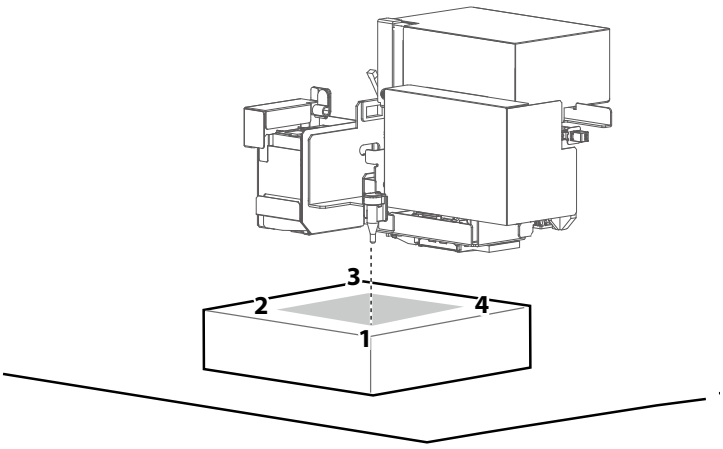
> **Note**
>
> **[<]** キーをタップすると、印刷範囲を確認せずに印刷を開始します。

2. **[Enter]** キーをタップして、印刷範囲の確認を開始する。

a. LED ポインターが印刷範囲の右下隅（印刷範囲 1）へ移動します（LED は消灯状態）。

b. 移動後、LED ポインターが 1 秒に 1 回、計 3 回点滅します。

```
インサツハンイ カクニンチュウ
```



3. LED ポインターの位置が、メディア位置とずれていないことを確認し、**[Enter]** キーをタップする。



LED ポインターが次の印刷範囲の隅へ移動します。

> **Note**
> - **[インサツハンイ＊ハ]** の＊は、LED ポインターが示している印刷範囲の位置（1 ～ 4）です。
> - **[Enter]** キーをタップするまで、LED ポインターは点灯状態になります。
> - **[∧] / [∨]** キーで **[イイエ]** を選んで **[Enter]** キーをタップすると、印刷をキャンセルします。
> - 印刷データの幅（CR 方向の長さ）または長さ（PF 方向の長さ）がメディアに対して大きすぎる場合は、移動後に LED ポインターが 1 秒に 2 回、計 6 回点滅します。

4. 上記と同様の手順で、印刷範囲4まで確認する。

印刷範囲 4 まで確認が終わると、キャリッジが移動前の位置に戻ります（キャップイン）。印刷範囲の確認を終了します。

5. **[∧] / [∨]** キーで **[インサツ ヲ カイシシマスカ？ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。



印刷を開始します。

> **Note**
> **[イイエ]** を選んで **[Enter]** キーをタップすると、印刷をキャンセルします。

任意のタイミングで UV 光を照射する

インクの硬化が不十分な印刷物に対して、硬化処理を再実行する場合に使用します。

下記の場合などに有効です。

- 布などのインクが染みこむメディアに印刷したとき。
- 塗りつぶす面積が広い印刷をしたとき。
- レイヤー印刷でインクの塗膜が厚いとき。

Note

- UV 光の照射範囲は、現在選択中のメディア設定 Type の「サイズ」および「原点」の設定によります。
- パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご参照ください。
  - UV スキャン実行時の、メディア送り方向 1 インチあたりの往復回数を変更する。
  ➔「UV スキャン」P.122 > 「スキャンスウ」P.122
  - 毎印刷後に自動で UV 光を追加照射する。
  ➔「UV スキャン」P.122 > 「インサツゴスキャン」P.122

手順

1. 印刷終了後、**[Home]** キーをタップする。

2. 「UV スキャン実行」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧] / [∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

3. **[>]** キーをタップする。

4. **[∧] / [∨]** キーでスキャン数を入力し、**[>]** キーをタップする。



Note

- 設定値 : 2, 4, 8, 16（回）。「UV スキャン」P.122 > 「スキャンスウ」P.122 で設定したスキャン数が初期表示されます。
- ここで選択した設定値は保存されません。

5. **[Enter]** キーをタップする。



- UV スキャンを開始します。



Note

[UV スキャン チュウ] に **[Cancel]** キーをタップすると、**[UV スキャン チュウ キャンセル ー> Enter]** と表示されます。**[Enter]** キーをタップすると、照射を中止します。

テーブルのキャリブレーションを実施する

テーブルのキャリブレーションを実施し、プリントヘッドとメディアとの距離を最適化します。印刷結果に次のような不具合があるとき、キャリブレーションをすると改善する場合があります。

- 印刷結果がにじむ
- 印刷結果がかすれる
- 印刷結果にムラがある

手順

1. 印刷終了後、**[Home]** キーをタップする。

2. 「テーブル」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

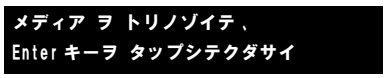
3. **[>]** キーを 2 回タップする。

以下が表示されます。



4. **[Enter]** キーをタップする。

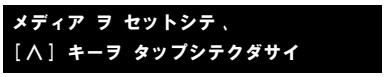
- テーブルが手前に移動します。
- 以下が表示されます。



5. メディアと治具を取り除いて、**[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルのキャリブレーションを開始します。

6. テーブルのキャリブレーションが完了しました。



Note

テーブルのキャリブレーションを実施しても、印刷結果に不具合が発生する場合は、調整作画と送り補正を行ってください。

➔「調整印刷」P.107
➔「メディア送り補正」P.115

Important!

- テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。
  障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
- テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、障害物センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。
  設置したメディアより高い物を置くと、プリントヘッドとぶつかり故障の原因となります。
  ➔「印刷エリア」P.51

レイヤー印刷をする

本製品はレイヤー印刷に対応しています。

- 純正 RIP ソフトウェア「VerteLith」をご使用の場合は、別冊の印刷ガイドをご参照ください。
- パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご参照ください。
  ➔ 「レイヤー調整印刷」 P.102
  ➔ 「カサネガキカイスウ」 P.122
  ➔ 「マルチレイヤー」 P.123

インクをかくはんする

Important!

- インクは定期的にかくはんする必要があります。放置するとインクが沈降し、画質不良や故障の原因となります。
- インクをかくはんするメッセージが表示された後、12 時間までは、印刷開始前にインクをかくはんしていただくための待機動作が発生します。かくはんを行うか、一定時間経過すると、印刷を開始します。12 時間経過後は、かくはんするまで印刷できません。
- 次回かくはんまでの残り時間を確認できます。
  ➔「次回のインクかくはんまでの残り時間を確認する」P.85
- 任意のタイミングでかくはんを実行できます。
  ➔「インクかくはん」P.119

インクの沈降を防ぐため、次の場合にかくはんしてください。

- インクカートリッジまたはインクパックを開封したとき。
- 毎日の作業の開始前と作業後。
- 次のインクかくはんメッセージが表示されたとき。*

W インク カクハン スル	ホワイト（WH）のインクをかくはんしてください。 12 時間ごとに表示します。
KMCY インク カクハン スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のインクをかくはんしてください。 72 時間ごとに表示します。
KMCYW インク カクハン スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）、ホワイト（WH）のインクをかくはんしてください。 72 時間ごとに表示します。

インクカートリッジをお使いの場合

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

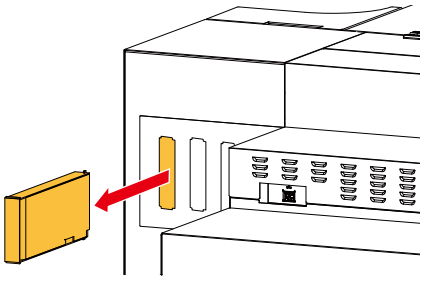
手順

1. 保護具を着用する。

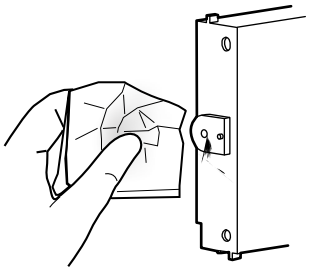
➔ 「保護具をつける」P.134

2. プリンターの電源がオンになっていることを確認する。

3. インクカートリッジをカートリッジスロットから取り外す。



4. プリンター付属のペーパータオルで、インクカートリッジの差し込み口に付着しているインクを拭き取る。

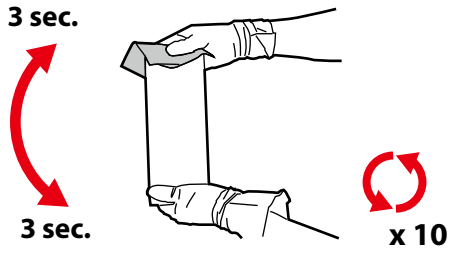


5. 下記の方法でインクをかくはんする。

a. ペーパータオルでインクカートリッジの差し込み口を押えながら、差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。

b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。

c. 上記を 10 回繰り返します。(WH のみ 20 回)



Note

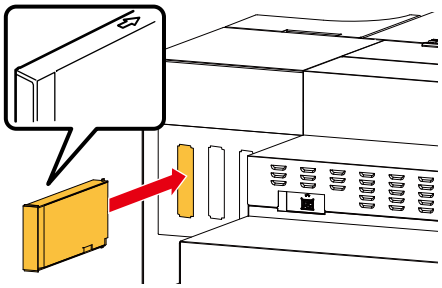
バーニッシュ（クリア）はかくはんせずにご使用いただけます。

6. インクカートリッジを元のカートリッジスロットに取り付ける。

a. プリンターのインク色表示ラベルとカートリッジの色を合わせてください。

b. 矢印マークを上にしてください。

c. 奥までしっかり差し込んでください。



Important!

- 元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。
- ゆっくりと差し込んでください。勢いよく差し込むとインク漏れの原因となることがあります。

大容量パックアダプターをお使いの場合

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Note

大容量パックアダプターの詳しい取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

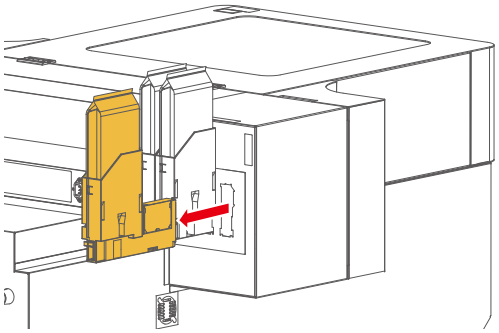
手順

1. 保護具を着用する。

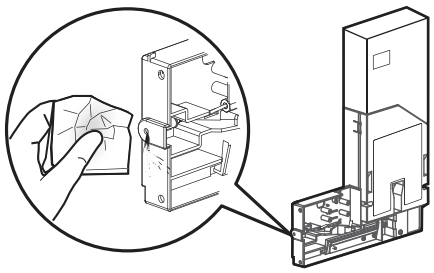
   ➔ 「保護具をつける」P.134

2. プリンターの電源がオンになっていることを確認する。

3. 交換する大容量パックアダプターを取り外す。

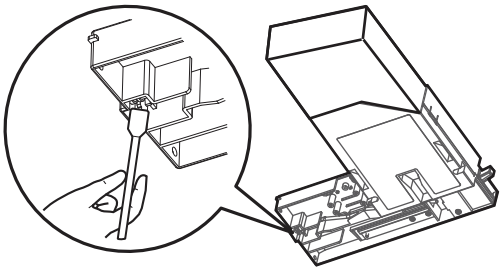


4. プリンター付属のペーパータオルで、大容量パックアダプターの差し込み口に付着しているインクを拭き取る。



5. 大容量パックアダプターを傾け、垂れてきたインクをクリーンスティックで吸い取る。

- 大容量パックアダプターの差し込み口がやや下を向くように傾けます。
- 傾けるときは、警告ラベルの貼付面が下向きになるようにします。

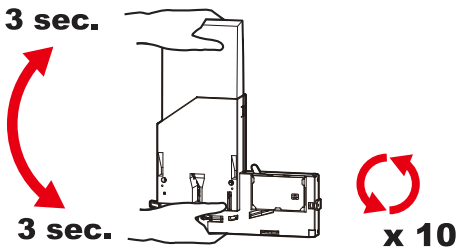


6. 下記の方法でインクをかくはんする。

a. インクパックが大容量パックアダプターから抜けないように、遮光カバーの上から押さえ、インクパックの差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。

b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。

c. 上記を 10 回繰り返します。(WH のみ 20 回)



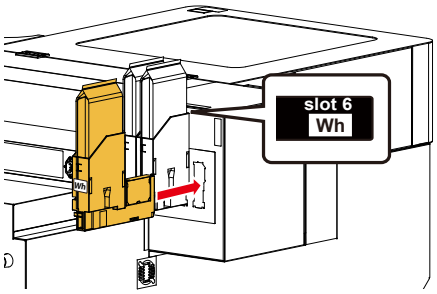
Note

バーニッシュ（クリア）はかくはんせずにご使用いただけます。

7. 大容量パックアダプターを元のカートリッジスロットに差し込む。

a. プリンターのインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。

b. 奥までしっかり差し込んでください。



Important!

- 元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。
- ゆっくりと差し込んでください。勢いよく差し込むとインク漏れの原因となることがあります。

次回のインクかくはんまでの残り時間を確認する

次回のインクかくはんまでの残り時間を確認します。続けてかくはんを実行することもできます。

手順

1. **[インサツデキマス]** または **[メディア ヲ セットシテ、[∧] キーヲ タップシテクダサイ]** 表示中に **[Enter]** キーをタップする。

> **Note**
>
> パネル設定メニューからも、次回のインクかくはんまでの残り時間を確認できます。
>
> ➔「インクかくはん」P.119

2. **[∧] / [∨]** キーで次回かくはんまでの残り時間を確認したいインクを選ぶ。



残り時間は、1 時間単位で表示されます。

- 例 :
  - 2時間以上3時間未満の場合 : **[2h]** と表示されます。
  - 1時間以上2時間未満の場合 : **[1h]** と表示されます。
  - 1時間未満の場合 : **[<1h]** と表示されます。
  - すでに **[＊ インク カクハン スル]** と表示されている場合 : **[カクハン スル]** と表示されます。

3. **[<]** キーをタップすると、元の表示に戻ります。続けてかくはんを実施したい場合は **[>]** をタップします。かくはん実行の手順は、以下をご参照ください。

➔「インクのかくはんを実行する」P.120

インクの確認と交換

インク残量を確認する

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. 「インクステータス」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

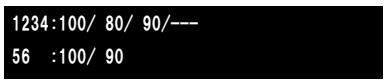
3. **[>]** キーをタップする。

以下が表示されます。



4. **[>]** キーをタップする。

インクの残量が 0 % ～ 100 % で表示されます。



➔ 「インクの交換が近づいたら」 P.87

Note

- インクとスロットとの対応は、以下をご参照ください。
  ➔「カートリッジスロット」 P.28
- インクに関する各種情報を表示させる場合は、純正品のインクおよびスマートチップカードを使用してください。純正品以外を使用すると、インクステータスが正しく表示されません。
- インク残量が 10 % で点滅表示している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。
  ➔「スマートチップリカバリー」 P.204

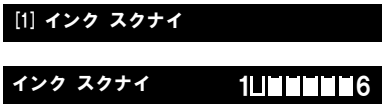
インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、プリンターコントロールパネルのステータスバーが赤色に点滅し、ブザーが鳴ります。

手順

1. **[Enter]** キーをタップする。

- ブザーが停止します。
- 下の表示の場合、Slot 1 のインクの交換が近づいています。



> **Note**
> スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

2. インクを交換する。

➔ 「インクの交換」P.88

インクの交換

インクがなくなると、プリンターコントロールパネルのステータスバーが赤色に点灯し、ブザーが鳴ります。

また、印刷が一時停止します。

新しいインクに交換すると、印刷を再開します。

警告

インクや洗浄液、廃液は、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。

注意



インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Important!

- プリンターの電源がオフになっている場合は、インクを交換しないでください。インク残量の検出が正しくできなくなります。
- インクを寒い場所から暖かい場所へ移動させた場合は、移動先の環境に馴染ませるため、3 時間以上放置してから使用してください。
- 交換用のインクがない場合は、使い終わったインクをプリンターに挿入したままにしてください。 インクを取り外した状態で放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因になります。

インクカートリッジをお使いの場合

手順

1. 保護具を着用する。

2. **[Enter]** キーをタップする。

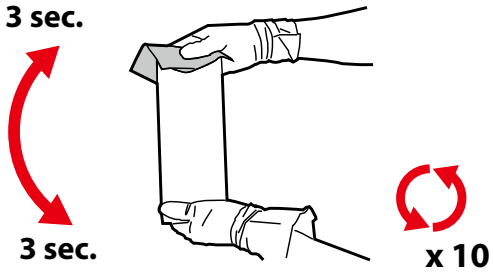
- ブザーが停止します。しばらくしてもインクが交換されない場合、再びブザーが鳴ります。
- 以下の表示の場合、Slot 1 と Slot 6 の交換が必要です。



> **Note**
> スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

3. 新しいインクカートリッジを用意し、インクをかくはんする。

a. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
c. 上記を 10 回繰り返します。(WH のみ 20 回)



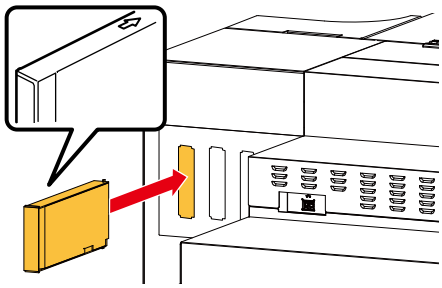
> **Note**
> バーニッシュ（クリア）はかくはんせずにご使用いただけます。

4. 空のインクカートリッジを抜き、新しいインクカートリッジを差し込む。

a. プリンターのインク色表示ラベルとカートリッジの色を合わせてください。

b. 矢印マークを上にしてください。

c. 奥までしっかり差し込んでください。



Important!

- 元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。
- ゆっくりと差し込んでください。勢いよく差し込むとインク漏れの原因となることがあります。

大容量パックアダプターをお使いの場合

1. 大容量パックアダプターの取り外し

手順

1. 保護具を着用する。

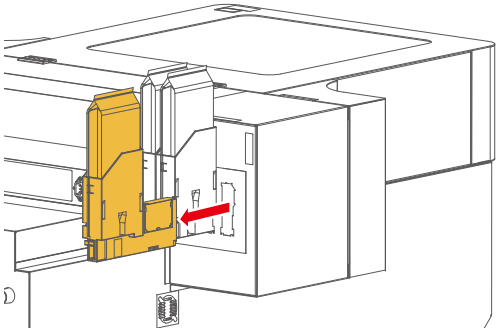
2. **[Enter]** キーをタップする。

- ブザーが停止します。 しばらくしてもインクが交換されない場合、再びブザーが鳴ります。
- 以下の表示の場合、Slot 1 と Slot 6 の交換が必要です。

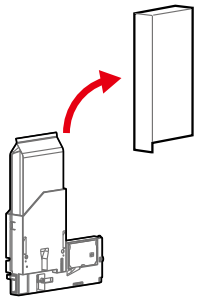


> **Note**
> スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

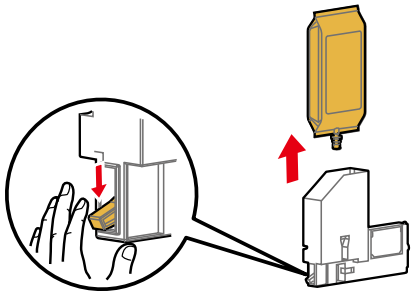
3. 交換する大容量パックアダプターを取り外す。



4. 遮光カバーを取り外す。



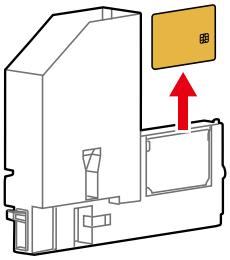
5. 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、空のインクパックを取り外す。



Note

使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

6. 大容量パックアダプターからスマートチップカードを取り外す。



2. インクパックの取り付け

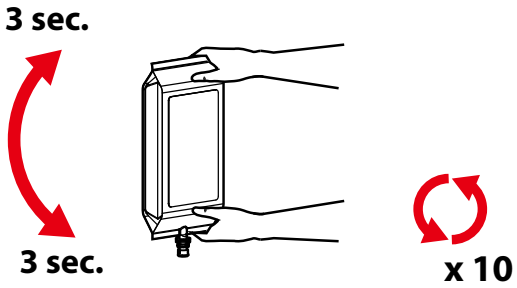
手順

1. 新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんする。

a. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。

b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。

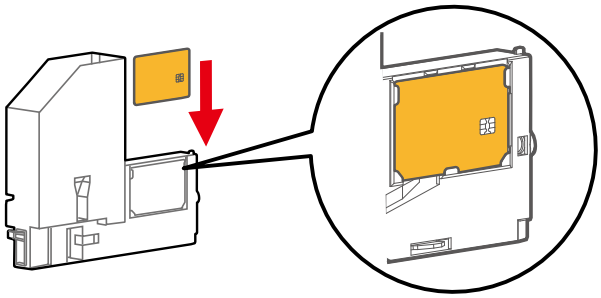
c. 上記を 10 回繰り返します。(WH のみ 20 回)



Note

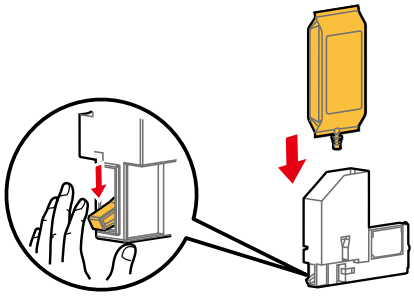
バーニッシュ（クリア）はかくはんせずにご使用いただけます。

2. 大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付ける。

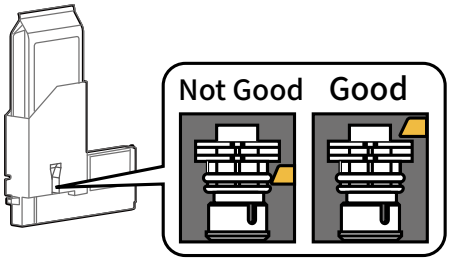


3. 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入する。

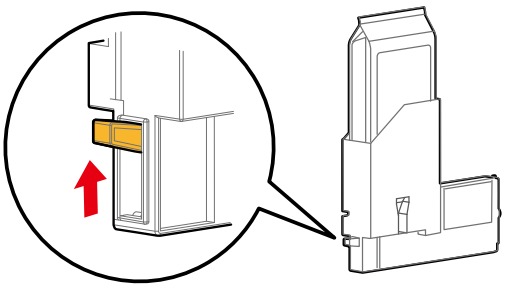
a. インクパックは奥までしっかりと挿入してください。



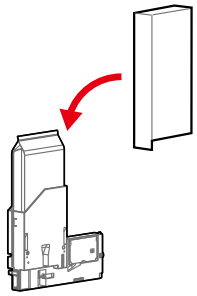
b. インクパックが奥まで差し込まれ、ロックされていることを確認してください。



c. 大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。



4. 遮光カバーを取り付ける。



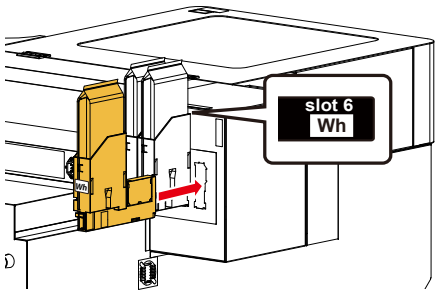
Important!

遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。

5. 大容量パックアダプターを元のカートリッジスロットに差し込む。

a. プリンターのインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。

b. 奥までしっかり差し込んでください。



Important!

- 元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。
- ゆっくりと差し込んでください。勢いよく差し込むとインク漏れの原因となることがあります。

大容量パックアダプターのプラグ交換

プラグ寿命がなくなると、プリンターコントロールパネルのステータスバーが赤色に点灯し、メッセージが表示されます。以下の手順で新しいプラグに交換してください。

手順

1. **[Enter]** キーをタップする。



- **[ ]** 内の数字は slot 番号です。
- 以下のメッセージが表示されます。



2. 大容量パックアダプターの取扱説明書を見ながら、プラグを交換する。

➔ **大容量パックアダプター取扱説明書「アダプタープラグの交換」**

- 交換後、大容量パックアダプターを取り付けると、以下のメッセージが表示されます。



3. **[∧]** / **[∨]** キーで **[ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。



大容量パックアダプターの寿命がリセットされます。

Important!

アダプタープラグを交換していない場合は、**[ハイ]** を選択しないでください。アダプタープラグを交換しないまま使用すると、インク漏れの原因となります。

3 各種設定

パネル設定メニュー 97
メニュー 1: メディア設定 99
メニュー 2: メンテナンス 110
メニュー 3: テスト印刷 114
メニュー 4: ユーティリティ 118
メニュー 5: 設定 122
メニュー 6: オプション 125
メニュー 7: プリンタ情報 126

パネル設定メニュー

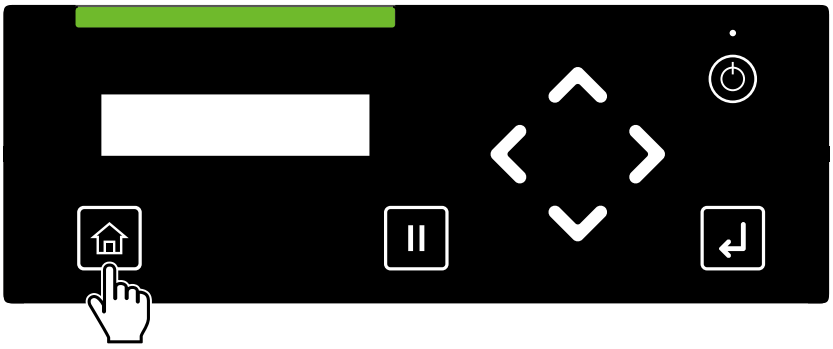
プリンターの各種設定は、パネル設定メニューを使います。

メニューの操作方法

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

パネル設定メニューが表示されます。

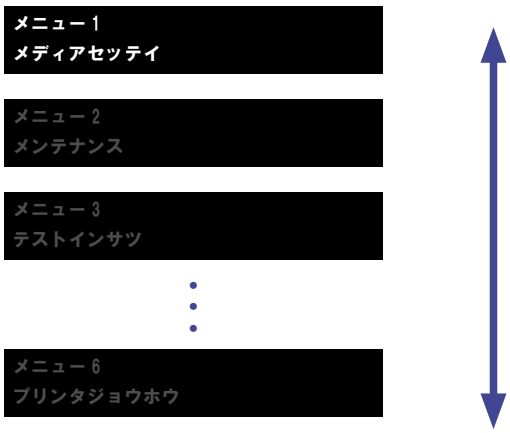


Note

印刷中やデータ受信中（電源ボタン点滅中）は、パネル設定メニューに入れません。

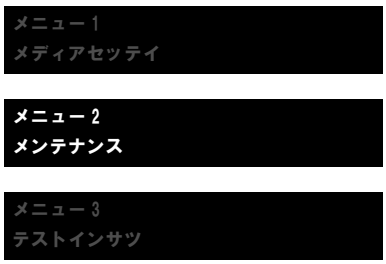
2. メニューを選ぶ。

[∧] キーまたは **[∨]** キーをタップすると、メニューがスクロールします。



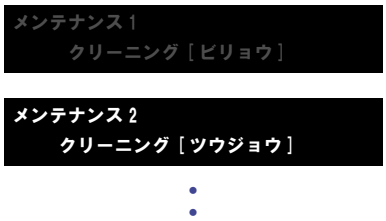
3. 選んだメニューに入る。

[>] キーをタップします。



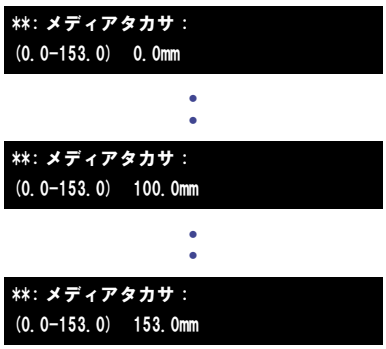
4. ひとつ前の階層のメニューに戻る。

[<] キーをタップします。以下の例の場合、**[メニュー 2　メンテナンス]** に戻ります。



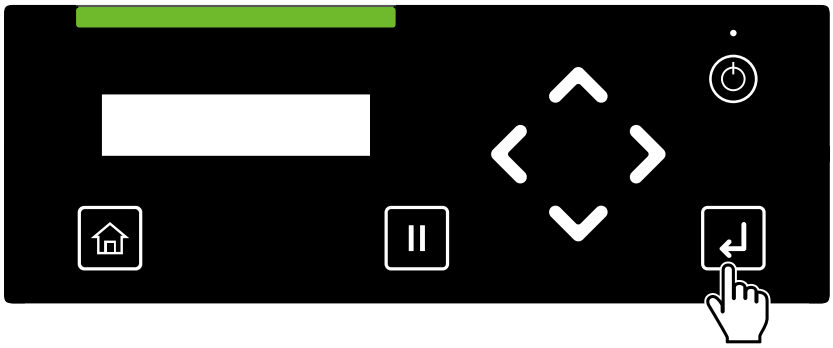
5. 設定項目を選ぶ、または設定値を入力する。

[∧] キーまたは [∨] キーをタップすると、項目がスクロール、または数値が増減します。



6. 決定 / 実行する。

[Enter] キーをタップします。



メニュー1: メディア設定

メニュー一覧

設定範囲の下線は初期値です。

	設定値 / サブメニュー	内容	→
Type1 ~ Type15		メディアの種類ごとにメディア情報や印刷条件を設定します。最大 15 個の Type を登録できます。 **Important!** **別のメディア設定 Type に変更すると、メディア設定メニューで変更可能なすべての設定が、選択したメディア設定 Type の設定値に切り替わります。以前選択していたメディア設定 Type の設定値と異なる場合は、印刷開始位置にご注意ください。メディア上の意図しない位置や、メディアの外に印刷されたりするおそれがあります。**	
サイズ		メディアのサイズを入力します。	P.56
ハバ	30 ～ 483（mm）	メディアの幅を入力します。	
ナガサ	30 ～ 610（mm）	メディアの長さを入力します。	
タカサ	オート、マニュアル	メディアの高さ（厚さ）を自動検出または手動で入力します。 • オート : テーブルにセットしたメディアの高さ（厚さ）を自動検出し、ヘッドの高さを自動で調整します。 • マニュアル : メディアの高さ（厚さ）を入力します。	P.54
PG オフセット	0.0 ～ 1.5（mm）	**[オート]** を選択した場合に設定できます。 PG オフセット値を設定すると、自動検出した高さ（厚さ）から、PG オフセット値分さらにプリントヘッドが上昇します。メディアとのギャップにさらにマージンを得たい場合に設定します。	
タカサヘンコウカクニン	オン、オフ	**[オート]** を選択した場合に設定できます。 • オン：メディアセット時に、**[メディアタカサ ハ オナジデスカ ?]** という確認メッセージが表示されるようになります。同じ高さのメディアを繰り返し印刷する場合、本設定を **[オン]** にすることで、メディアセット時の高さ検出時間を短縮できます。 • オフ：メディアセット時に確認メッセージは表示されません。	
メディアタカサ	0.0 ～ 153（mm）	**[マニュアル]** を選択した場合に設定できます。 メディアの高さ（厚さ）を入力します。	
ゲンテンセッテイ	PF: 0.0 ～ 590.0（mm） CR: 0.0 ～ 463.0（mm）	印刷開始位置（原点）を設定します。	P.56

	設定値 / サブメニュー	内容	→
レイヤーチョウセイインサツ	ホワイトカクニンパターン、ホワイトチョウセイ ALL、ホワイトチョウセイパターン A, B, C, D レイヤーカクニンパターン、レイヤーソチョウセイ ALL、レイヤーソチョウセイパターン B, C, D、レイヤーチョウセイ ALL、レイヤーチョウセイパターン B, C, D	レイヤー印刷のズレを調整するときに設定します。 • ホワイト調整 : シングルレイヤー印刷、マルチレイヤー印刷のホワイトインクのズレを調整します。 • レイヤー調整 : マルチレイヤー印刷のレイヤー間のインクのズレを調整します。ホワイト調整でマルチレイヤー印刷のズレが解消できない場合は、この調整を実施します。	P.102
チョウセイインサツ	カクニンパターン、ソチョウセイ ALL、ソチョウセイパターン A, B, C、チョウセイ ALL、チョウセイパターン A, B, C	双方向印刷のドット着弾位置を調整します。調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。	P.107
セットカクニンヒョウジ	オフ、オン	メディアセット時に「セット確認」メニューを表示させるかどうかを設定します。 **[オフ]** を選択した後でも、**[インサツデキマス]** または **[メディア ヲ セットシテ、[∧]** キーをタップシテクダサイ] 表示中に **[Cancel]** キーをタップすると、「セット確認」メニューを表示できます。	P.118
メディアセットモード	ツウジョウ、コウセイド	メディアセット時の障害物センサーの検出精度を切り替えます。 「通常」モードで用紙の浮き等の障害物が印刷前に検出できずに、印刷が途中で停止する場合は、「高精度」モードに切り替えると解決することがあります。	
インサツドウサセッテイ			
キュウチャクファン	Low, Medium, Medium-Hi, High, Off	メディアを吸着する強さを設定します。コシのないメディアなどを使用する場合は、ファンの強さを弱めてください。	
ショウガイブツケンシュツ	オフ、オート、キャンセル、カクニン	障害物検出時の動作を設定します。 • オフ : 印刷中に障害物検出動作を行いません。 • オート : 印刷を一時停止します。センサーが反応しなくなるまでテーブルが下降してから、印刷を再開します。 • キャンセル : 印刷をキャンセルし、障害物検出エラーを表示します。 • 確認 : 印刷を一時停止します。印刷の再開、またはキャンセルを選択するメニューを表示します。	
インサツカイシドウサ	オフ、カイシカクニン、ハンイカクニンステップ、ハンイカクニンオート	印刷前に LED ポインターで印刷範囲の外周と角の位置を確認できます。 • オフ : 印刷範囲を示さず、印刷開始の確認メッセージも表示されません。初期値はこの設定です。 • 開始確認 : **[インサツ ヲ カイシシマスカ ?]** と、印刷開始の確認メッセージが表示されます。 • 範囲確認ステップ : 四隅のポイントごとにユーザーに確認をしながら、印刷範囲を LED ポインターで示します。 • 範囲確認オート : ユーザーへの確認なしに印刷範囲を LED ポインターで示します。	P.70

		設定値 / サブメニュー	内容	→
	テーブルタイキイチ	オク、テマエ	メディアセット後のテーブルの待機位置を設定します。 • 奥 : テーブルが機体奥側で待機します。印刷データ送信時のテーブル移動が最小となるため、すぐに印刷を開始できます。ただし、メディアを取り扱いにくくなります。 • 手前 : テーブルが機体手前側で待機するため、メディアセット後でもメディアを取り扱いやすいです。ただし、印刷開始までの時間は「奥」よりも長くなります。	
メディアセッテイコピー		Type1 ～ Type15、オール	選択したメディア設定 Type の設定（作画モード、エフェクト、調整印刷、レイヤー調整印刷、吸着ファン、サイズ、高さ、印刷開始動作、テーブル待機位置、障害物）を一括して別のメディア設定 Type にコピーします。**[オール]** を選択すると、すべてのメディア設定 Type にコピーされます。	
ショキカ			選択中のメディア設定 Type の設定値を初期化します。	

レイヤー調整印刷

レイヤー印刷のズレを調整するときに設定します。

- ホワイト調整 : シングルレイヤー印刷、マルチレイヤー印刷のホワイトインクのズレを調整します。
- レイヤー調整 : マルチレイヤー印刷のレイヤー間のインクのズレを調整します。ホワイト調整でマルチレイヤー印刷のズレが解消できない場合は、この調整を実施します。

Note

必要メディアサイズ : 幅 210 mm x 長さ 100 mm

小さなメディアを使用すると、印刷結果がはみ出します。テーブル上に付着したインクは UV 光によって硬化し、取り除くことができません。

手順

1. メディアをセットする。

➔ 「メディアのセット方法」P.6

2. **[Home]** キーをタップする。

3. 「レイヤー調整印刷」メニューにアクセスする。

メニューフロー



a. **[メディアセッテイ]** を選び、**[>]** キーをタップします。

b. **[∧] / [∨]** キーで任意のメディア設定 Type を選び、**[Enter]** キーをタップします。

- **[サイズ]** と表示されます。

c. **[∧] / [∨]** キーで **[レイヤーチョウセイインサツ]** を選びます。

4. **[>]** キーをタップする。

5. **[∧] / [∨]** キーでメニューを選び、各手順に従って調整する。

➔ 「ホワイト調整手順」P.103
➔ 「レイヤー調整手順」P.105

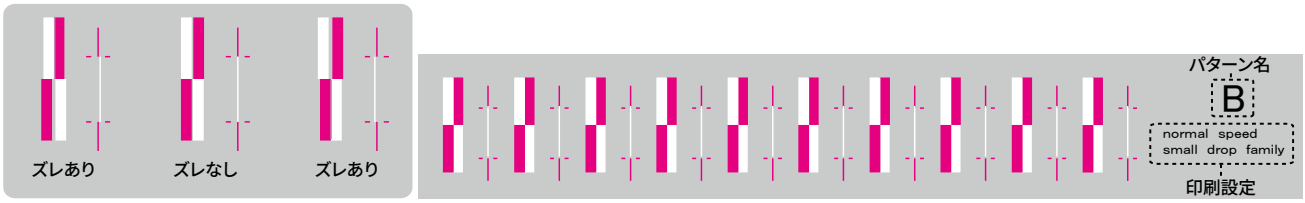
6. **[Enter]** キーをタップして調整を終了する。

ホワイト調整手順

1. ホワイト確認パターンを印刷し、ズレがあるか確認する。
   ➔ 「ホワイト確認パターン」P.103
2. ホワイト調整パターンを印刷し、補正値を入力する。
   ➔ 「ホワイト調整パターン」P.104

ホワイト確認パターン

1. **[Enter]** キーをタップして、確認パターンを印刷する。
2. 印刷結果を見て、パターンにズレがないかどうかを確認する。



Note

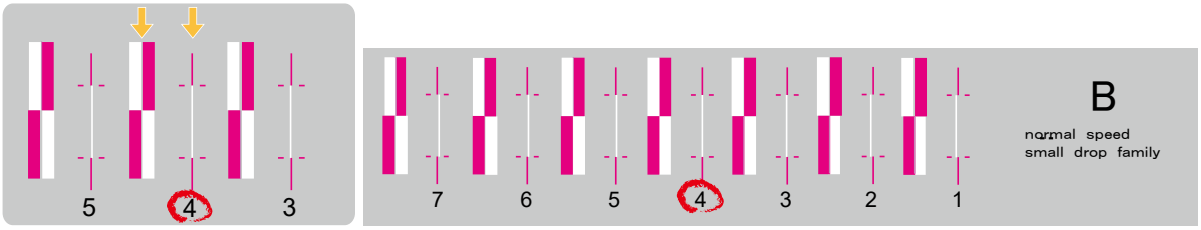
上記のパターンは、パターン B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。

- ズレがない場合、**[Enter]** キーをタップして手順を終了します。
- ズレがある場合、**[Enter]** キーをタップして手順を終了し、ホワイト調整パターンに進みます。

➔「ホワイト調整パターン」P.104

ホワイト調整パターン

1. **[∧]** / **[∨]** キーで **[ホワイトチョウセイオール]** または **[ホワイトチョウセイパターン]** の A, B, C, D からパターンを選び、**[Enter]** キーをタップする。
2. 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンの番号を探す。



3. **[∧]** / **[∨]** キーでズレのないパターンの番号を選び、**[Enter]** キーをタップする。

   上のイラストの場合、**[パターン B: 4]** と入力します。



レイヤー調整手順

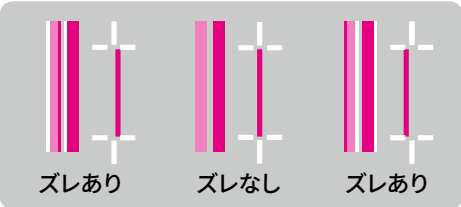
1. レイヤー確認パターンを印刷し、ズレがあるか確認する。
➔「レイヤー確認パターン」P.105

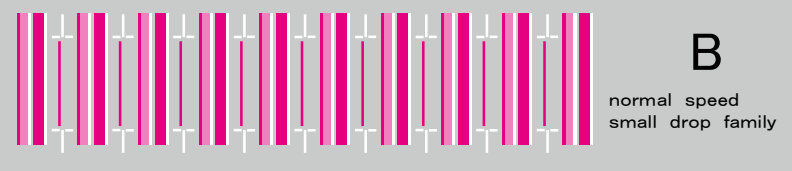
2. レイヤー粗調整パターンを印刷し、補正値を入力する。
➔「レイヤー粗調整パターン」P.106

3. レイヤー調整パターンを印刷し、補正値を入力する。
➔「レイヤー調整パターン」P.106

レイヤー確認パターン

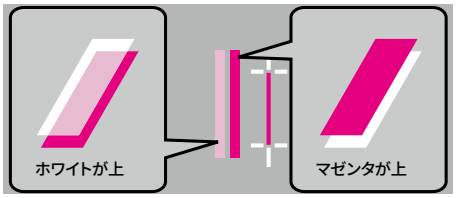
1. **[Enter]** キーをタップして、確認パターンを印刷する。
2. 印刷結果を見て、パターンにズレがないかどうかを確認する。





Note

- 上記のパターンは、パターン B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。
- ホワイトをマゼンタの上に重ねて印刷するパターンと、マゼンタをホワイトの上に重ねて印刷するパターンを印刷します。

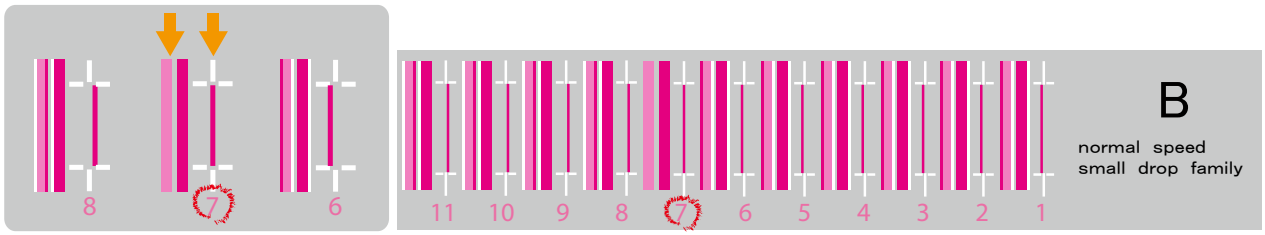


- ズレがない場合、**[Enter]** キーをタップして手順を終了します。
- ズレがある場合、**[Enter]** キーをタップして手順を終了し、レイヤー粗調整パターンに進みます。

➔「レイヤー粗調整パターン」P.106

レイヤー粗調整パターン

1. **[∧]** / **[∨]** キーで **[ソチョウセイオール]** または **[ソチョウセイパターン]** の A, B, C、D から粗調整パターンを選び、**[Enter]** キーをタップする。
2. 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンの番号を探す。



3. **[∧]** / **[∨]** キーでズレのないパターンの番号を選び、**[Enter]** キーをタップする。
   - 上のイラストの場合、**[パターン B: 7]** と入力します。

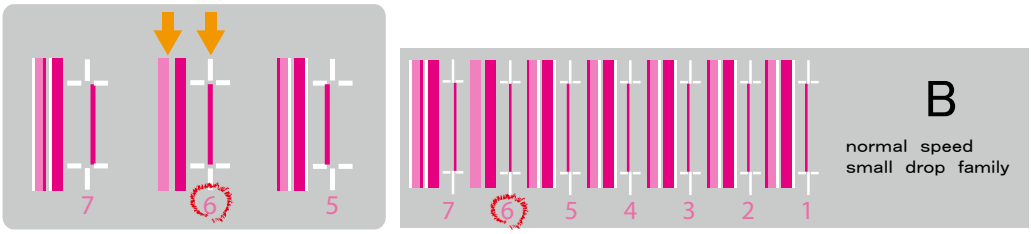


4. 続いて、レイヤー調整パターンを印刷する。

➔「レイヤー粗調整パターン」P.106

レイヤー調整パターン

1. **[∧]** / **[∨]** キーで **[チョウセイオール]** または **[チョウセイパターン]** の A, B, C,D からパターンを選び、**[Enter]** キーをタップする。
2. 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンの番号を探す。



3. **[∧]** / **[∨]** キーでズレのないパターンの番号を選び、**[Enter]** キーをタップする。

   上のイラストの場合、**[パターン B: 6]** と入力します。



調整印刷

双方向印刷のドット着弾位置を調整します。ドット着弾位置は、プリントヘッドの高さやメディアの厚みによって変わります。

Note

必要メディアサイズ : 幅 210 mm x 長さ 100 mm

小さなメディアを使用すると、印刷結果がはみ出します。テーブル上に付着したインクは UV 光によって硬化し、取り除くことができません。

手順

1. メディアをセットする。
   ➔ 「メディアのセット方法」 P.6
2. **[Home]** キーをタップする。
3. 「調整印刷」メニューにアクセスする。

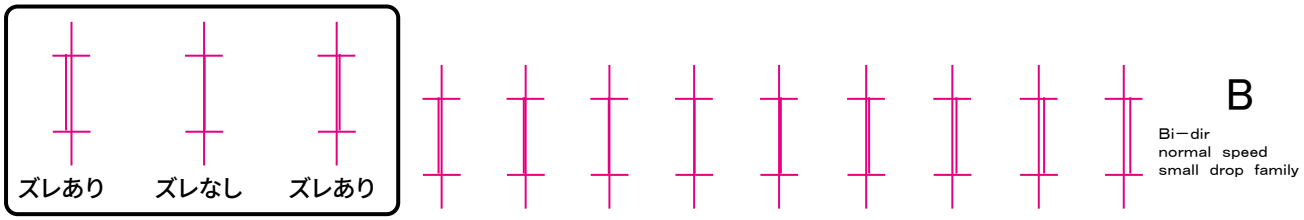
   メニューフロー

   a. **[メディアセッテイ]** を選び、**[>]** キーをタップします。
   b. **[∧]** / **[∨]** キーで任意のメディア設定 Type を選び、**[Enter]** キーをタップします。
      - **[サイズ]** と表示されます。
   c. **[∧]** / **[∨]** キーで **[チョウセイインサツ]** を選びます。
4. **[>]** キーをタップする。
5. 確認パターンを印刷し、ズレがあるか確認する。
   ➔ 「確認パターン」 P.108
6. ズレがある場合、以下の手順に従って調整する。
   a. 粗調整パターンを印刷し、補正値を入力します。
      ➔「粗調整パターン」 P.108
   b. 調整パターンを印刷し、補正値を入力します。
      ➔「調整パターン」 P.109
7. **[Enter]** キーをタップして調整を終了する。

確認パターン

1. **[Enter]** キーをタップして、パターンを印刷する。
2. 印刷結果を見て、パターンにズレがないかどうかを確認する。

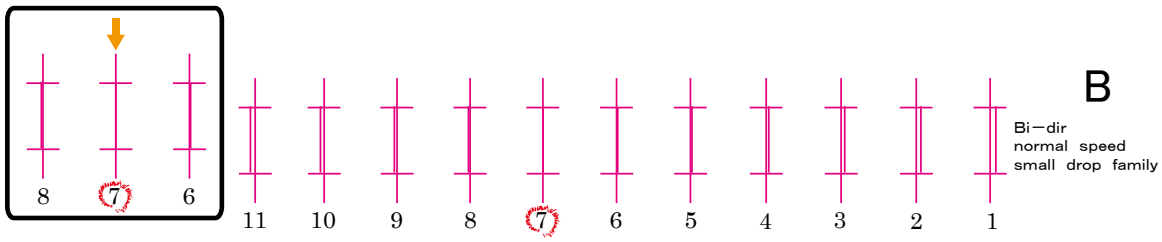


- ズレがない場合、**[Enter]** キーをタップして調整を終了します。
- ズレがある場合、**[Enter]** キーをタップして手順を終了し、粗調整パターンに進みます。

➔「粗調整パターン」P.108

粗調整パターン

1. **[∧]** / **[∨]** キーで **[ソチョウセイオール]** または **[ソチョウセイパターン]** の A, B, C から粗調整パターンを選び、**[Enter]** キーをタップする。
2. 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンの番号を探す。



3. **[∧]** / **[∨]** キーでズレのないパターンの番号を選び、**[Enter]** キーをタップする。

   上のイラストの場合、**[パターン B: 7]** と入力します。

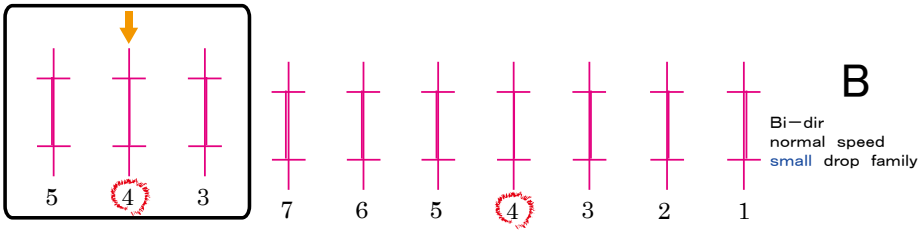


4. 続いて、調整パターンを印刷する。

➔「調整パターン」P.109

調整パターン

1. **[チョウセイオール]** または **[チョウセイパターン]** の A, B, C から調整パターンを選び、**[Enter]** キーをタップする。
2. 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンの番号を探す。



3. **[∧]** / **[∨]** キーでズレのないパターンの番号を選び、**[Enter]** キーをタップする。
   上のイラストの場合、**[パターン B: 4]** と入力します。



メニュー2: メンテナンス

メニュー一覧

設定範囲の下線は初期値です。

	設定値 / サブメニュー	内容	→
クリーニング [ビリョウ]		少量のインクを消費します。	P.61
クリーニング [ツウジョウ]		10 ノズル以上の詰まりがある場合に使用します。	
クリーニング [キョウリョク]		クリーニング「通常」を実施してもノズルの目詰まりが解消しないときに使用します。	
クリーニング [ビリョウジュウテン]		クリーニング効果が高いですが、多くのインクを消費します。	P.162
デイリーメンテナンス		デイリーメンテナンスを実施するときに使用します。 1. **[>]** キーをタップする。 2. **[デイリーメンテナンス カイシ ー> Enter]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップする。 3. **[メディア ヲ トリノゾキ、メンテジグヲ セットシテ Enter]** と表示されたら、以下を実施する。 - メディアと治具を取り外す。 - メンテナンス治具をセットする。 4. **[Enter]** キーをタップする。 5. **[デイリーメンテナンス　シュウリョウ　ー> Enter]** と表示されたら、各部の清掃を開始する。 6. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。 **Important!** こちらはスリープモードにしない場合のデイリーメンテナンス手順です。1日の作業を終了する場合のデイリーメンテナンスは、スリープモードにしてから実施してください。 →「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135	P.160
ソノタ メンテナンス			
CR メンテナンス		キャリッジを移動して、プリンターのメンテナンスを実施します。	P.113
ツケオキクリーニング		メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。専用のメンテナンス液が必要です。	P.163

	設定値 / サブメニュー	内容	→
ショキジュウテン		微量充てんよりクリーニング効果が高いですが、かなり多くのインクを消費します。 1. **[>]** キーをタップする。 - **[ショキジュウテン カイシ ー > Enter]** と表示されます。 2. **[Enter]** キーをタップする。 - **[ハイエキ ヲ ステテ、Enter キーヲ タップシテ クダサイ]** と表示されます。 3. 廃液タンクを空にして、**[Enter]** キーをタップする。 4. インクをかくはんして、インクカートリッジ（大容量パックアダプター）をカートリッジスロットに差し込む。 - インク充てんを開始します。 **Important!** **インク充てん中に、以下の操作をしないでください。充てん動作が中断すると、再充てんによるインク損失が発生します。** • **プリンターの電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりする** • **フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける**	P.192
テーブル		テーブルの動作設定やメンテナンス時に使用します。	
キャリブレーション		テーブルのキャリブレーションを実施し、プリントヘッドとメディアとの距離を最適化します。	P.76
テーブルメンテナンス		テーブルをグリスアップするときに使用します。メンテナンスができる位置にテーブルを移動します。	P.150
イドウジュンビ		本製品を輸送するときに使用します。固定材を取り付けられる位置にテーブルを移動します。	P.178
インクハイシュツ		プリンターからインクを排出します。	P.178
デンゲンシャダン		プリンターの電源をオフにします。	P.46
メンテナンスセッテイ			
オートクリーニング		プリントヘッドのオートクリーニング動作を設定します。ノズルの目詰まりを予防します。	
インサツマエ		印刷前のクリーニング動作を設定します。	
クリーニングシュルイ	オフ、ビリョウ、ツウジョウ、キョウリョク	クリーニングの種類を設定します。	
ルイセキインサツ	オフ、1、2、3、4（時間）	印刷前にオートクリーニングを行う累積の印刷時間を設定します。 **Note** **累積印刷のクリーニング種類は、クリーニング「強力」です。設定の変更はできません。**	

	設定値 / サブメニュー	内容	→
ホワイト メンテナンス	ビリョウ、ツウジョウ	ホワイトインクのメンテナンス動作を設定します。 普段の印刷にホワイトインクをほとんど使わない場合は、「微量」に設定しておくと、待機中のホワイトインクの消費を抑えることができます。 **Note** **ホワイトインクはプリントヘッドやインクチューブ内で沈降・凝固しやすい性質があるため、本製品は待機中であっても定期的に少量のホワイトインクを排出します。**	
カラー メンテナンス	オフ、ビリョウ、ツウジョウ	プリンターを一定時間使用しなかった場合に、プリンターの性能維持のために一定量のインクを排出します。 • オフ : カラーメンテナンスを行いません。 • 微量 : 普段の印刷でホワイトインクをほとんど使用しない場合は、この設定にしておくと、待機中のホワイトインクの消費量を抑えることができます。 • 通常 : カラーメンテナンスを行います。	
スリープモード		スリープモードにすると、プリンターを使用しないときでも本体内部のインクを循環します。 1. **[>]** キーをタップする。 - **[スリープモード　カイシ　ー > Enter]** と表示されます。 2. **[Enter]** キーをタップする。 3. **[デイリーメンテナンス　カイシ　ー> Enter]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップする。 - プリンターコントロールパネルの指示に従って、必ずデイリーメンテナンスを実施してください。以降の手順は**「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135** をご参照ください。 4. スリープモードを終了する場合は、**[Enter]** キーをタップします。	P.49

CR メンテナンス

キャリッジを移動して、メンテナンスが実施できる状態にします。

以下のメンテナンスを実施するときに使用します。

- 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.166
- 「クリーニングワイパーの交換」P.169
- 「UV-LED ユニットのガラスの交換」P.172
- 「UV-LED ユニットのフィルターの交換」P.174

手順

1. **[インサツデキマス]** または **[メディア　ヲ　セットシテ、[∧] キーヲ　タップシテクダサイ]** 表示中に **[<]** キーをタップする。

2. **[∧] / [∨]** キーで **[CR メンテナンス　カイシ　ー> Enter]** を選びます。



> **Note**
> - パネル設定メニューからも実行できます。
> ➔「CR メンテナンス」P.110

3. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを開始する。
   - キャリッジが左側のメンテナンススペースに移動します。
   - ワイパーがメンテナンス位置に移動します。
   - **[CR メンテナンス シュウリョウ ー> Enter]** と表示されます。

4. カバーを開いて、各種メンテナンスを実施する。

   カバーを開いてから 10 分経過すると、**[カバー　ヲ　トジテクダサイ]** と表示されます。

> **Note**
> **[∨]** キーをタップすると、吸引ポンプが駆動し、キャップ内の液体を吸引します。

5. メンテナンスが終了したら、すべてのカバーを閉じる。

6. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。



メニュー3: テスト印刷

メニュー一覧

設定範囲の下線は初期値です。

	設定値 / サブメニュー	内容	➔
ノズルチェック B		一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。	P.58
ノズルチェック F		すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。	
ノズルチェック L		反原点側のテーブルの印刷範囲外でノズルチェックパターンを印刷します。印刷用メディアをテーブル上にセットしたままでも、ノズルチェックパターンを印刷することができます。	
オクリホセイ		メディアの送り量を補正します。	P.115
インサツ	0、 ± 0.1、 ± 0.2、± 0.5 (%) の 7 パターン	調整パターンを印刷し、最適な調整値を入力します。	
チョウセイチ	-1.00 ～ 0.00 ～ 1.00 (%)	調整値を入力します。	

メディア送り補正

メディアの送り量を補正します。

印刷結果に次のような不具合があるとき、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

- 画像が重なっている。
- 画像に白いスジが入っている。

Note

必要メディアサイズ：幅 210 mm x 長さ 45 mm

小さなメディアを使用すると、印刷結果がはみ出します。テーブル上に付着したインクは UV 光によって硬化し、取り除くことができません。

手順

1. メディアをセットする。

➔ 「メディアのセット方法」 P.52

2. **[Home]** キーをタップする。

3. 「送り補正」 メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

4. **[>]** キーをタップする。

5. **[∧]** / **[∨]** キーでメニューを選び、**[>]** キーをタップする。

印刷	調整パターンを印刷し、最適な調整値を入力します。 ➔「送り補正」 P.116
調整値	調整値を入力します。 すでに調整値が分かっている場合（メディア交換など）は、「調整値」 に値を入力してください。 ➔「すでに調整値が分かっている場合」 P.117

送り補正

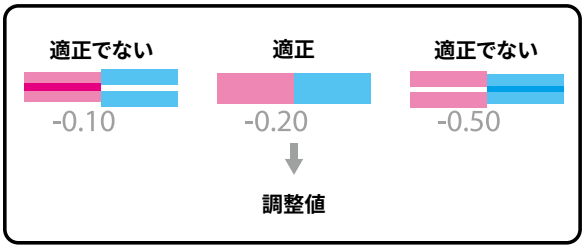
はじめに調整パターンを印刷し、調整値を確認・入力します。

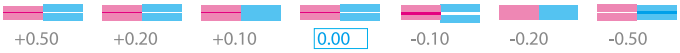
1. **[Enter]** キーをタップして、パターンを印刷する。



2. 印刷結果を確認し、**[∧] / [∨]** キーで調整値を入力する。

もっとも白スジ、色の濃いスジのないパターンを探します。そのパターンの下にある数値が「調整値」です。





Note

調整値を入力すると、その値を基準として各調整値が補正されます。

- 例：
  調整値に「+0.13」を保存した場合、調整パターンの下の値は、左から「+0.63」、「+0.33」、「+0.23」、「+0.13（基準値）」、「+0.03」、「-0.07」、「-0.37」となります。

3. **[Enter]** キーをタップして、調整を終了する。

すでに調整値が分かっている場合

手順

1. **[>]** キーをタップする。

   以下が表示されます。



2. **[∧]** / **[∨]** キーで調整値を入力し、**[Enter]** キーをタップする。

メニュー4: ユーティリティ

メニュー一覧

	設定値 / サブメニュー	内容	→
セットカクニン		メディアに関する以下の設定を一括で行います。 -「メディア高さ」-「障害物検出」-「メディア幅」-「メディア長さ」-「原点」 メディアをセットした状態で実行してください。	P.52
UV スキャン ジッコウ		UV 光の照射のみを行う機能です。印刷後に追加で UV 照射が必要なときに使用します。 **[Enter]** キーをタップすると、**[スキャンスウ]** メニューに移行します。	P.74
スキャンスウ	2, 4, 8, 16	メディア送り方向 1 インチあたりの追加照射回数を選択します。 **[>]** キーをタップすると、UV 光照射の実行確認画面に移行します。	
インク カクハン		インクのかくはんに関する機能です。	P.119
カイシ		インクを選択して、かくはんを実行します。	
ジカイ カクハン		次回のインクかくはんまでの残り時間を確認します。続けてかくはんを実行することもできます。	

インクかくはん

インクのかくはんに関する機能です。

次回かくはんまでの残り時間を確認したり、任意のタイミングでかくはんを実行できます。

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. 「インクかくはん」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

3. **[>]** キーをタップする。

4. **[∧]** / **[∨]** キーでメニューを選び、**[>]** キーをタップする。

開始	➔「インクのかくはんを実行する」P.120
次回かくはん	➔「次回のインクかくはんまでの残り時間を確認する」P.121

5. 各手順に従って終了する。

インクのかくはんを実行する

インクを選択して、かくはんを実行します。夜間などに連続で印刷をしたい場合は、あらかじめインクをかくはんしておくと、安定した品質で印刷することができます。

手順

1. **[∧] / [∨]** キーでかくはんしたいインクを選ぶ。



> **Note**
>
> **[＊インク カクハンスル]** とすでに表示されている場合、選択肢は以下のようになります。
> - **[KMCY インク カクハン スル]** のとき : **[KMCYW]** と **[KMCY]** が表示されます。
> - **[W インク カクハン スル]** のとき : **[KMCYW]** と **[W]** が表示されます。

2. **[Enter]** キーをタップする。

[シバラクオマチクダサイ] と表示されます。

3. 以下が表示されたら、各手順に従ってインクをかくはんする。



➔ 「インクカートリッジをお使いの場合」 P.80
➔ 「大容量パックアダプターをお使いの場合」 P.82

表示されているインクをかくはんしてください。表示されているインクすべてをかくはんすると、メッセージが消えます。

次回のインクかくはんまでの残り時間を確認する

次回のインクかくはんまでの残り時間を確認します。続けてかくはんを実行することもできます。

Note

VerteLith、MSM からも確認できます。

手順

1. **[∧] / [∨] キーで次回かくはんまでの残り時間を確認したいインクを選ぶ。**



- 残り時間は、1 時間単位で表示されます。
  例 :
  - 2時間以上3時間未満の場合 : **[2h]** と表示されます。
  - 1時間以上2時間未満の場合 : **[1h]** と表示されます。
  - 1時間未満の場合 : **[<1h]** と表示されます。
  - すでに **[＊インク カクハン スル]** と表示されている場合 : **[カクハン スル]** と表示されます。

2. **[<] キーをタップすると、元の表示に戻ります。続けてかくはんを実施したい場合は [>] をタップします。かくはん実行の手順は、以下をご参照ください。**

➔ 「インクのかくはんを実行する」 P.120

メニュー5: 設定

メニュー一覧

設定範囲の下線は初期値です。

	設定値 / サブメニュー	内容	→
UV スキャン		UV 光の照射回数を指定します。	
スキャンスウ	2, 4, 8, 16	メディア送り方向 1 インチあたりの照射回数を選択します。 **[Enter]** キーをタップすると、UV 光照射の実行確認画面に移行します。	P.74
インサツゴスキャン	オフ、オン	**[オン]** に設定すると、毎印刷後に自動で UV 光を追加照射します。	
ヘッダーダンプ	オフ、オン、ダンプ、印刷	印刷データに関するダンプデータ（データヘッダー / データドット数 / 印刷日時 / プリンターシリアル /FW バージョン / 受信時間 / 受信サイズ）を印刷するかどうかを設定します。 • オフ : ダンプデータを印刷しません。 • オン : データ印刷後、ダンプデータを印刷します。「受信時間」と「受信サイズ」は印刷しません。 • ダンプ : ダンプデータのみ印刷します。「データドット数」は印刷しません。 • 印刷 : 前回印刷したダンプデータを印刷します。「受信時間」と「受信サイズ」は印刷しません。ダンプデータの履歴がない場合は、**[データガアリマセン]** と表示されます。 **Note** • **テクニカルサポートを受ける際は、ダンプデータの提供をお願いいたします。** • **コンピューターと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。**	
インサツドウササセッテイ			
カサネガキカイスウ	1 ～ 9（回）	指定した回数だけ同じ位置に重ねて印刷します。回数を増やすと、濃度やインク膜厚を高めることができます。透明なメディアへの印刷などに使用します。 • 重ね描き回数を 1 回に設定した場合は、レイヤー重ね書き回数の設定に移行します。カラー、ホワイト、バーニッシュの各レイヤーの重ね描き回数を個別に設定できます。	
（レイヤーカサネガキカイスウ）カラー　レイヤー	1 ～ 9（回）	カラー（CMYK）の重ね描き回数を設定します。	
（レイヤーカサネガキカイスウ）ホワイト　レイヤー	1 ～ 9（回）	ホワイトインクの重ね描き回数を設定します。	
（レイヤーカサネガキカイスウ）バーニッシュ　レイヤー	1 ～ 9（回）	バーニッシュ（クリアトップコート）の重ね描き回数を設定します。	

	設定値 / サブメニュー	内容	→
パスカンウエイト	0.0 ～ 5.0（秒）	キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを一時停止させる時間を設定します。重ね塗りなどでインクが硬化しにくい場合に使用します。インクのにじみや色ムラの改善に効果があります。	
フラッシング	オフ、オン	フラッシングを設定します。フラッシングは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防止するためのメンテナンス動作です。微量のインクを消費します。 • オフ : フラッシングしません。ノズルの目詰まりが発生しやすくなります。通常は **[オフ]** にしないでください。 • オン : フラッシングボックスでフラッシングします。**[Enter]** キーをタップすると、リターン回数の設定に移行します。リターン回数を増やすと、印刷品質を保証することができません。通常は **[1]** でご使用ください。	
リターンカイスウ	1 ～ 999（回）	フラッシングボックスでフラッシングする間隔を設定します。フラッシングを **[オフ]** に設定している場合は表示されません。 • 例） - リターン回数 1: キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。 - リターン回数 5: キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。	
CR インサツイドウ ハバ	データハバ、キカイハバ、メディアハバ	印刷中のキャリッジ移動範囲を設定します。 • データ幅 : 印刷データの範囲を左右に移動します。 • 機械幅 : プリンターの最大印刷範囲を左右に移動します。 • メディア幅 : メディア幅の範囲を左右に移動します。	
マルチレイヤー	オフ、オン	マルチレイヤー印刷を行うかどうかを設定します。 • オフ：通常の印刷を行います。印刷が終了した後に別のデータを印刷する場合は、メディアを再セットする必要があります。 • オン：印刷終了後も重ね印刷ができる状態を保持します。次の印刷データを送信すると、前の印刷の上に重ねて印刷できます。 **Note** **[オン] を選択していても、「調整印刷」「レイヤー調整印刷」「送り補正」「テスト印刷」を実行する場合は、メディアを再度セットする必要があります。**	
ショキセッテイ			
ゲンゴ	English、Dutch、Spanish、French、Italian、Portuguese、German、ニホンゴ	ディスプレイに表示させる言語を選択します。	
ナガサタンイ	mm, inch	ディスプレイに表示させる長さ単位を選択します。	

	設定値 / サブメニュー	内容	→
インクリョウ	オフ、<u>オン</u>	インク残量の表示方法を選択します。 • オフ : インク残量のインジケーターを表示しません。インクなし、インク少ない、カートリッジなしなどのエラー（警告）が発生しているスロット番号を表示します。 • オン : インク残量のインジケーターを表示します。	P.32
IP アドレス	0.0.0.0 ～ <u>192.168.1.253</u> ～ 255.255.255.255	**Important!** **プリンターの IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。**	
サブネットマスク	0.0.0.0 ～ <u>255.255.255.0</u> ～ 255.255.255.255		
ゲートウェイ	0.0.0.0 ～ <u>192.168.1.254</u> ～ 255.255.255.255		
ケイコクブザー	オフ、<u>オン</u>	エラー発生時などに鳴る警告ブザーの動作を設定します。 • オフ : ブザーが一定回数なったあとに停止します。夜間など操作する人が不在のときに、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。 • オン : ブザーが鳴り続けます。	
ショキカ		各種設定を工場出荷時の状態に戻します。	
メディアセッテイ		すべてのメディア設定を初期化します。	
メディアセッテイイガイ		メディア設定以外を初期化します。	
オール		すべての設定を初期化します。	

メニュー6: オプション

ロータリーユニット（オプション品）の取り付け時に使用します。詳細については、ロータリーユニットの取扱説明書を参照してください。

Note

パネル操作を誤ってロータリーモードへの移行が開始されてしまった場合、以下のメッセージが表示されているときに [<] キーをタップすると、ロータリーモードへの移行をキャンセルすることができます。

- **[メディア ヲ トリノゾイテ 、Enter キーヲ タップシテクダサイ]**
- **[ロータリーユニット ヲ トリツケテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]**

メニュー7: プリンタ情報

プリンターの情報を表示します。

メニュー一覧

	内容	→
プリンタステータス		
インクステータス	各インクパックのインク残量を表示します（単位 : %）。 純正品のインクおよびスマートチップカードを使用してください。 純正品以外を使用すると、インクステータスが正しく表示されません。	
ザンリョウ	各インクカートリッジのインク残量をパーセントで表示します。 **Note** **インク残量が 10 %で点滅表示している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。** **→「スマートチップリカバリー」P.204**	**P.86**
シヨウキゲン	インクの使用期限を表示します。 スマートチップリカバリーが実行されているスロットには、「ーーーー／ーー／ーー」と表示されます。 **→「スマートチップリカバリー」P.204**	
プラグジュミョウ	大容量パックアダプターのプラグの点検・交換時に使用します。	**P.95**
カクニン	大容量パックアダプターに付いているアダプタープラグの寿命を確認できます。 • 寿命は、**[**＊**]** 印の数で表示します（最大 5 個 : 残り 100 %）。寿命が近づくにつれて、**[**＊**]** 印の数が 1 個（20 %）ずつ減っていきます。 • **[**＊**]** 印がすべて消えて、**[コウカン]** と表示された場合は、速やかにアダプタープラグを交換してください。	
ショキカ	アダプタープラグを交換した後に、アダプタープラグの寿命カウンターを初期化します。対象のインクスロットを選択して初期化してください。	

			内容	➔
	ジュミョウカクニン		交換が必要な下記部品の寿命を表示します。 • プリントヘッド • CR モータ • PF モータ • PG モータ • ポンプ • 循環ポンプ • UV-LED ユニット 寿命は、**[＊]** 印の数で表示します（最大 5 個 : 残り 100 %）。寿命が近づくにつれて、**[＊]** 印の数が 1 個（20 %）ずつ減っていきます。 • 例 : - **[ポンプ : E ＊＊＊＊＊ F]**: 残り 100 ~ 80 % - **[ポンプ : E ＊＊ F]**: 残り 40 ~ 20 % - **[ポンプ : E ＊ F]**: 残り 20 % 以下 - **[ポンプ : コウカン]**: 部品の交換を依頼してください。交換になると、ディスプレイに **[ジュミョウカクニン [ポンプ]]** と表示されます。この表示は、**[Enter]** キーにて、非表示にできます。7 日経過すると再度表示されます。	
	ジョブステータス			
		ステータス	印刷が完了したかどうかを表示します。	
		データナガサ	印刷データの全長（メディア送り方向）を表示します。	
		インサツズミ	印刷されたデータの長さを表示します。	
		インサツノコリ	印刷されなかったデータの長さを表示します。	
	ルイセキインサツメンセキ		購入してから現在までの印刷累積面積を表示します。	
システムジョウホウ				
	バージョン		ファームウェア（M: メイン、C: コントローラー）のバージョンを表示します。	
	モデル		プリンターのモデル名称を表示します。	
	シリアル No.		プリンターのシリアル No. を表示します。	
	インクシュルイ		使用しているインク種類を表示します。	
	MAC アドレス		プリンターの MAC アドレスを表示します。	

4 メンテナンス

メンテナンスの種類と実施目安 129
メンテナンスの準備 131
1 日の作業終了後のメンテナンス 135
定期メンテナンス 148
廃液タンクを空にする 155
ご使用に合わせたメンテナンス 159
消耗品の交換 166
移動・輸送 176
長期間使用しない場合（長期保存） 187

メンテナンスの種類と実施目安

プリンターの性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。

定期メンテナンス

日常的、定期的に必要なメンテナンスです。

タイミング	項目
毎日の作業の開始前	➔「ノズルチェックとクリーニング」P.58
毎日の作業終了後	➔「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135
メッセージが表示されたら	➔「廃液タンクを空にする」P.155
1 週間に一度	➔「漬け置きクリーニング」P.163 **（推奨）**
1 か月に一度	➔「テーブル表面の清掃」P.148
12 か月に一度	➔「テーブルのメンテナンス」P.150

ご使用に合わせたメンテナンス

プリンターの状況に合わせて適切な時期に実施してください。

タイミング	項目
ノズルの目詰まりがあったとき	➔「ヘッドクリーニング」P.159
• ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき • スリープモードにせず、1 日中連続で印刷するとき。	➔「各部の清掃」P.160
ノズルの目詰まりが重度のとき	➔「微量充てん」P.162 ➔「漬け置きクリーニング」P.163
長期間使用しないとき	➔「長期間使用しない場合（長期保存）」P.187

消耗品の交換

安定した印刷を行うために、次の部品を適切な時期に交換してください。

タイミング	項目
フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインクかたまりが、フラッシングボックス枠より盛り上がったとき。 （使用頻度によりますので定期的に確認してください。）	➔「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.166
クリーニングワイパーを清掃しても吐出不良やインク垂れ、混色がクリーニングで改善しない場合。	➔「クリーニングワイパーの交換」P.169
約 1 か月またはいちじるしくインクやホコリによる汚れがある場合。 （使用頻度によりますので定期的に確認してください。）	➔「UV-LED ユニットのフィルターの交換」P.174
• ガラスに欠け、割れがある場合。 • ガラスの汚れが落ちない場合。	➔「UV-LED ユニットのガラスの交換」P.172

Important!

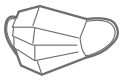
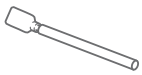
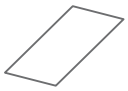
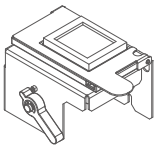
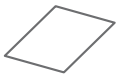
次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- 重障害エラーが繰り返し発生したとき。
- 以下の部品の寿命を知らせる画面が表示されたとき。
  - 各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド、UV-LED ユニット

➔「メッセージとエラーメッセージ」P.127

メンテナンスの準備

メンテナンスに必要なもの

 ゴーグル	 ポリエチレン手袋	 保護マスク	 保護衣	 クリーンスティック
 スポイト	 メンテナンス液	 ペーパータオル	 ゴム手袋	 スクレイパー
 ステンレスバット	 プラスチックカップ	 メンテナンス治具	 ポリニットワイパー	

Note

- ペーパータオルは付属のもの、またはポリニットワイパーをご使用ください。
- ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
- メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。専用メンテナンス液などのサプライ品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

メンテナンス治具について

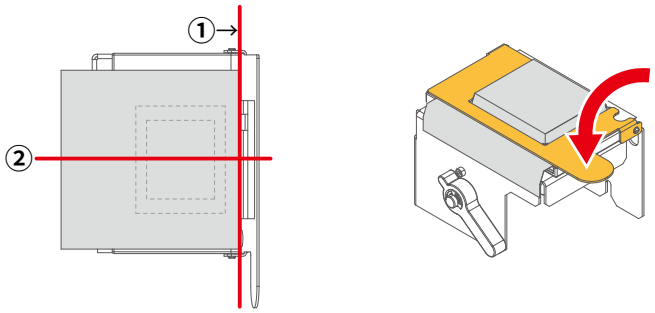
プリントヘッド専用のメンテナンス治具です。メンテナンス液を染み込ませたポリニットワイパーをセットして使用します。

メンテナンス治具のセット方法

1. メンテナンス治具のクッション部の上に、ポリニットワイパーをセットする。

a. ポリニットワイパーを治具の右端（①）とクッション部の中央（②）に合わせます。

b. ふたを被せて、ポリニットワイパーを固定します。



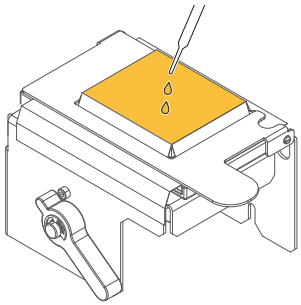
Important!

ポリニットワイパーを素手で扱わないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

2. ポリニットワイパーをメンテナンス液で湿らす。

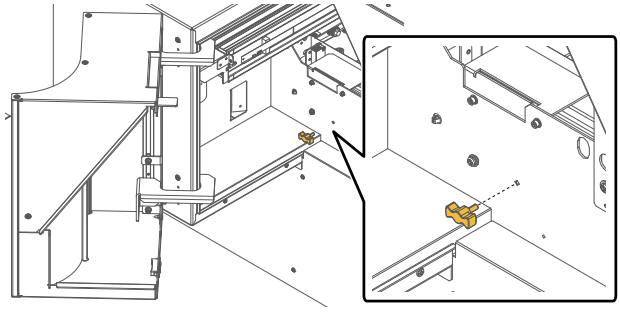
スポイトでメンテナンス液をとり、クッション部全体に滴下してください。

- 使用量目安：2 ～ 3ml

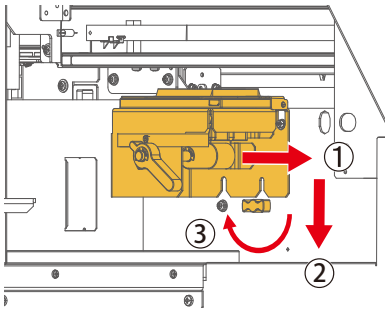


3. 左側のメンテナンスカバーを開けて、蝶ネジをプリンターに仮止めする。

蝶ネジは横向きにしておきます。



4. メンテナンス治具の溝をネジと蝶ネジに合わせ、蝶ネジを締めて固定する。



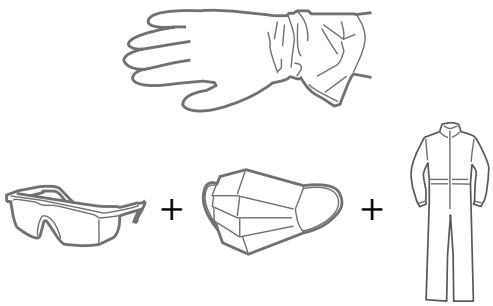
Note

➔「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135

保護具をつける

次のメンテナンスを実施する場合は、付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグル等の保護具を着用してください。

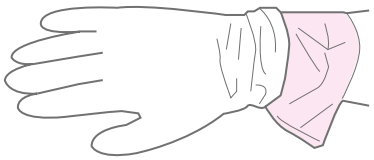
- 「インクをかくはんする」P.79
- 「インクの確認と交換」P.86
- 「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135
- 「テーブル表面の清掃」P.148
- 「各部の清掃」P.160
- 「漬け置きクリーニング」P.163
- 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.166
- 「クリーニングワイパーの交換」P.169
- 「UV-LED ユニットのガラスの交換」P.172
- 「UV-LED ユニットのフィルターの交換」P.174



付属の手袋の装着方法

ポリエチレン手袋（ピンク色）の上に、ゴム手袋を重ねて着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。



1日の作業終了後のメンテナンス

本製品は日常のメンテナンスが必要です。以下の流れに従って、デイリーメンテナンスを実施してください。

Step1. メンテナンスの準備をする

Step2. スリープモードにする

Step3. デイリーメンテナンスを実施する

1. UV-LED ユニットの清掃
2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる
3. プリントヘッド周りの清掃
4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃

Step4. デイリーメンテナンスを終了する

Important!

- 前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過すると、コントロールパネルに [**デイリーメンテナンス シテクダサイ**] と表示されます。必ずメンテナンスを実施してください。
- スリープモードにせず1日中印刷をする場合でも、1日に1回、必ずデイリーメンテナンスを実施してください。メンテナンスが不十分だと、画質不良や故障の原因となります。スリープモードにしない、または電源をオフにしない場合のデイリーメンテナンス手順は、「各部の清掃」をご参照ください。

➔「各部の清掃」P.160

Step1. メンテナンスの準備をする

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。

➔ 「メンテナンスに必要なもの」P.131

2. 保護具を着用する。

➔ 「保護具をつける」P.134

Step2. スリープモードにする

手順

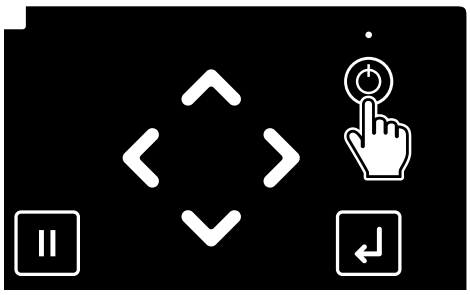
1. 製品の動作状態について以下を確認する。

- フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていること。
- メディアと治具が取り外されていること。
- インクの残量が十分にあること。
- 廃液タンクの空き容量が十分にあること。

Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃液を排出してください。

2. プリンターコントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押す。



Note

パネル設定メニューからもスリープモードにできます。

➔「スリープモード」P.112

Note

以下の場合は、スリープモードに移行できません。

- エラーが発生している（インクなし、パックなし、廃液満タン、カバーオープンなど）
- プリンターが動作している（メディア検出中、印刷中など）

3. **[デイリーメンテナンス カイシ ー> Enter]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップする。



■ **[デイリーメンテナンス カイシー> Enter] と表示されなかった場合**

- **[エラー ヲ カイジョシテクダサイ]** と表示されたとき : 表示されているエラーを解除してからスリープモードを実行してください。
- **[スリープモード ヲ カイシデキマセン]** と表示されたとき : プリンターが動作中です。プリンターの動作が終わってからスリープモードを実行してください。

4. **[メディア ヲ トリノゾキ、メンテジグヲ セットシテ Enter]** と表示されたら、以下を実施する。

a. メディアと治具を取り外す。

b. メンテナンス治具をセットする。

➔「メンテナンス治具のセット方法」P.132

Note

クリーンスティックでメンテナンスする場合、メンテナンス治具の取り付けは不要です。次に進んでください。

5. 左側のメンテナンスカバーを閉じて、**[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- キャリッジ、クリーニングワイパーがメンテナンス位置に移動します。

6. **[デイリーメンテナンス シュウリョウ ー> Enter]** と表示されたら、デイリーメンテナンスを開始する。



➔「Step3. デイリーメンテナンスを実施する」P.138

Step3. デイリーメンテナンスを実施する

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Note

作業時間の目安は 5 分以内です。カバーを開いてから 5 分以上経過すると、警告ブザーが鳴り、[**カバーヲトジテクダサイ**] と表示されます。すべてのカバーを閉じて、**[Enter]** キーをタップしてください。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

1. UV-LED ユニットの清掃

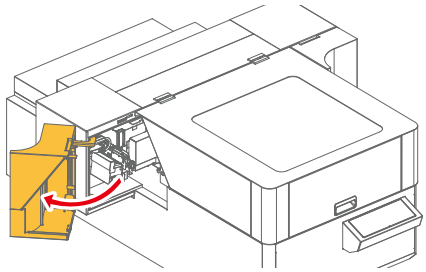
注意

印刷直後は UV-LED ユニット表面が高温になっています。

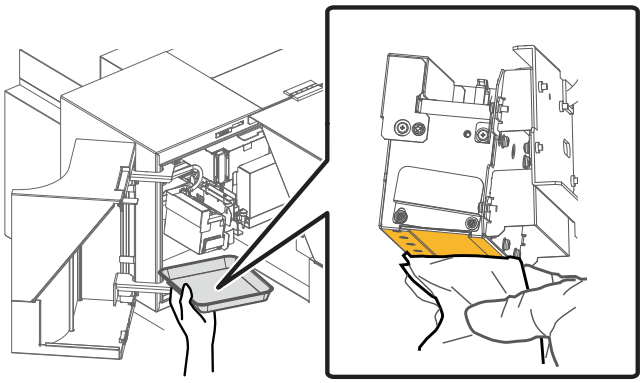
印刷終了後 10 分経過してから作業を実施してください。

手順

1. 左側のメンテナンスカバーを開ける。



2. UV-LED ユニットの下側を見て、付着したインクやホコリをペーパータオルで拭き取る。

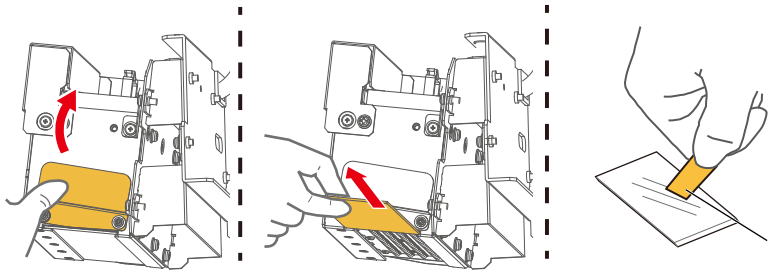


Note

キャリッジの下側が見づらい場合は、ステンレスバットに映りこませて確認してください。

3. ガラスにインクが付着している場合は、以下を行ってください。

a. 右側のネジを支点にして、排気カバーを上にスライドします。
b. UV-LED ユニット下側のガラスを手前にスライドして外します。
c. ガラスのインクが固着している箇所に、スクレイパーを少し傾けて当て、インクを削ぎ落とします。
d. ペーパータオルでインクの削りかすを拭き取ります。
e. ガラスを UV-LED ユニットに取り付けます。
f. ガラスをしっかりと奥まで挿入し、排気カバーを元のように下げます。



Important!

- 専用のスクレイパーを使用してください。
- スクレイパーの角を強く押しつけないでください。ガラスが破損する原因となります。
- ガラスの取り付け忘れや排気カバーの戻し忘れがないように注意してください。UV-LED ユニットの故障の原因となります 。

4. 続いて、プリントヘッドのノズル面を湿らせます。

➔ 「2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる」 P.140

2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる

プリントヘッドの清掃方法は、使用する用具によって異なります。

➔「メンテナンス治具を使用する場合」P.140
➔「クリーンスティックを使用する場合」P.142

メンテナンス治具を使用する場合

Important!

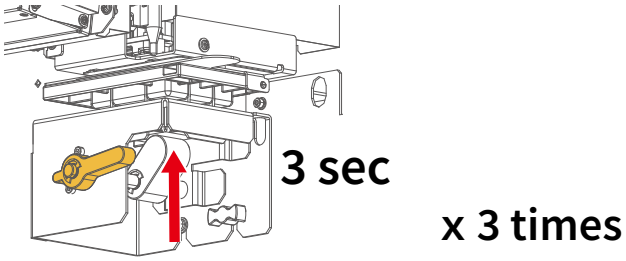
- 必ず未使用のポリニットワイパーを使用し、専用のメンテナンス液に浸してから作業を行ってください。使用済みのものや専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが故障する原因となります。
- キャリッジがメンテナンス治具の直上からずれた場合は、手動でキャリッジを反原点側の付き合たり位置まで移動させてください。

1. メンテナンス治具を使用し、プリントヘッドの下側に付着したインクやホコリを清掃する。

a. キャリッジがメンテナンス治具の直上（反原点側の突き合たり位置）にあることを確認します。

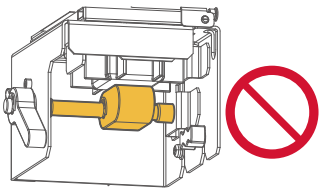
b. 指でレバーを持ち上げて、3 秒間そのままの状態を維持した後、レバーを下げます。

c. 上記を 3 回繰り返します。

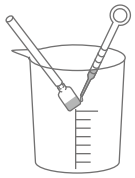


Important!

メンテナンス治具内部の軸とカムに触れないでください。
メンテナンス治具が必要以上に上昇すると、プリントヘッドが破損するおそれがあります。



2. プラスチックカップの中に未使用のクリーンスティックを入れ、スポイトを使ってクリーンスティックの先端に専用メンテナンス液を浸す（使用量目安：5 ml）。



Important!

クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

3. 左側のメンテナンスカバーを閉じる。

4. 続いて、クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃します。

➔ 「4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」P.145

Note

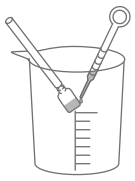
プリントヘッドガイド部にインクやホコリが付着していた場合、クリーンスティックを使用して「3. プリントヘッド周りの清掃」P.143を実施してください。

クリーンスティックを使用する場合

Important!

- デイリーメンテナンスの順番は必ずお守りください。特にプリントヘッド周辺、クリーニングワイパー、キャップを清掃した後に、同一のクリーンスティックでノズル面を湿らせることはしないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- 必ず未使用のクリーンスティックおよび専用メンテナンス液を使用してください。使用済みクリーンスティックを使ったり、専用メンテナンス液以外を使用したりすると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

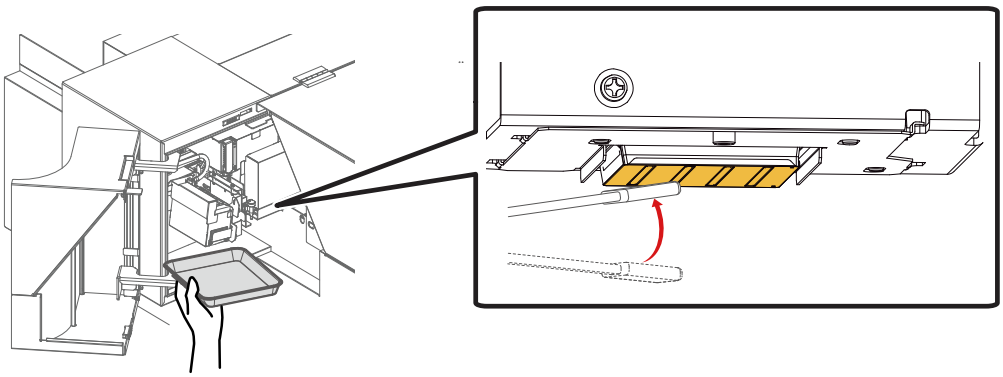
1. プラスチックカップの中に未使用のクリーンスティックを入れ、スポイトを使ってクリーンスティックの先端に専用メンテナンス液を浸す（使用量目安：5 ml）。



2. キャリッジの下側を見て、プリントヘッドのノズル面を湿らせる。

a. 専用メンテナンス液を浸したクリーンスティックを軽く当てるようにしてノズル面を湿らせます。

b. ノズル面全体が湿るまで、数回繰り返します。



Important!

- ノズル面を絶対に擦らないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- ノズル面全体が湿れば十分です。必要以上に繰り返さないでください。

Note

キャリッジの下側が見づらい場合は、ステンレスバットに映りこませて確認してください。

3. 続いて、プリントヘッド周辺を清掃します。

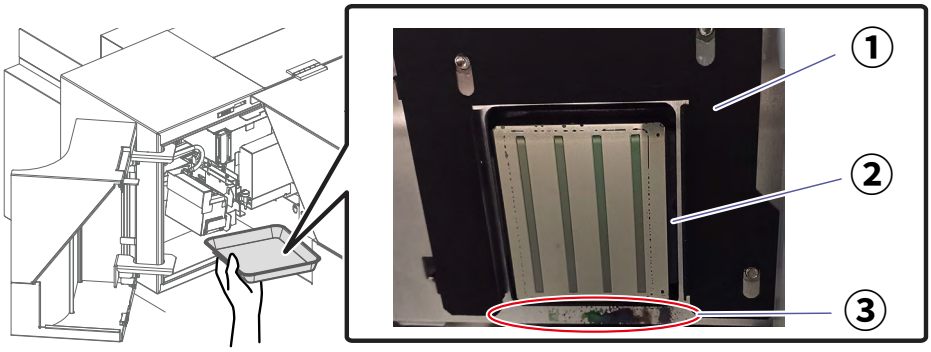
➔ 「3. プリントヘッド周りの清掃」 P.143

3. プリントヘッド周りの清掃

手順

1. キャリッジの下側を見て、インクやホコリが付着しているか確認する。

- プリントヘッドガイド部（①）
- プリントヘッド外周（②）
- ⬭：プリントヘッド奥側（③）

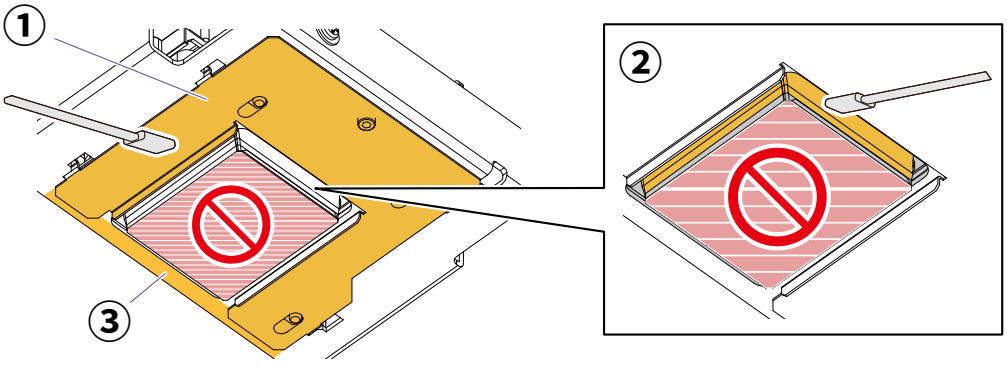


Note

- キャリッジの下側が見づらい場合は、ステンレスバットに映りこませて確認してください。
- 上記箇所のいずれにもインクやホコリが付着していなかった場合、清掃は不要です。左側のメンテナンスカバーを閉じて、「4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」 P.145 に進んでください。

2. インクやホコリが付着している場合、クリーンスティックで清掃する。

- ■：清掃箇所
  - プリントヘッドガイド部（①）
  - プリントヘッド外周（②）
  - プリントヘッド奥側（③）
- ■：ノズル面（絶対に触れないでください）



Important!

プリンターにメンテナンス液が付着した場合は、ペーパータオルなどで拭き取ってください。

3. 左側のメンテナンスカバーを閉じる。

4. 続いて、クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃します。

➔ 「4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」 P.145

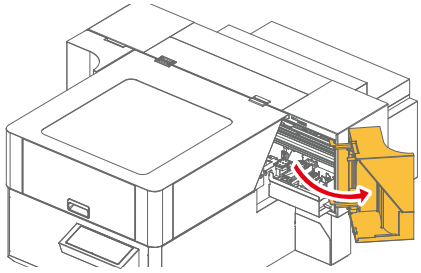
Important!

清掃中にクリーンスティックがインクやホコリで汚れた場合は、プラスチックカップの中にメンテナンス液を入れて、クリーンスティックの汚れを落としてください。汚れが落ちない場合は、新しいクリーンスティックに交換して、次の手順に進んでください。

4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃

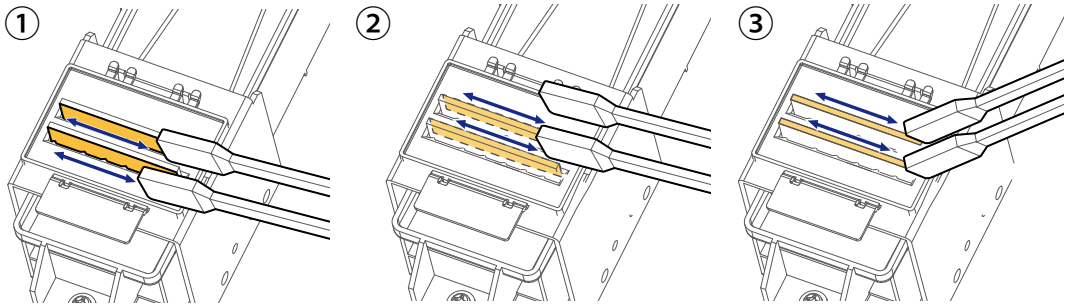
手順

1. 右側のメンテナンスカバーを開ける。



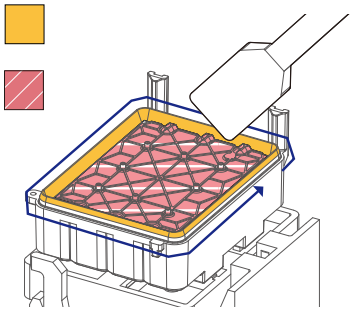
2. クリーンスティックを使用して、クリーニングワイパーの汚れを順番に拭き取る。

①：手前側の面　②：奥側の面　③：上面



3. クリーンスティックで、キャップゴム外周とキャップゴムのふちに付着したインクやホコリを拭き取る。

- ■：清掃箇所
- ■：吸収材（絶対に触れないでください）



4. 右側のメンテナンスカバーを閉じる。

5. 続いて、メンテナンスを終了します。

➔ 「Step4. デイリーメンテナンスを終了する」 P.146

Step4. デイリーメンテナンスを終了する

手順

1. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。



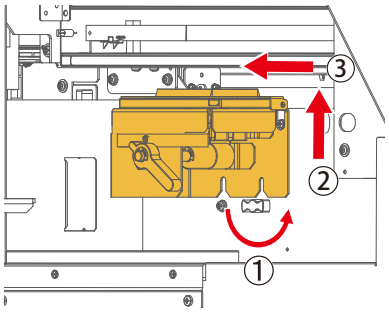
- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- キャリッジ、クリーニングワイパーが元の位置に戻ります。

2. **[メンテジグヲトリハズシテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、メンテナンス治具を取りはずす。

a. 左側のメンテナンスカバーを開けます。

b. メンテナンス治具の直上にキャリッジがないことを確認します。

c. 蝶ネジを緩め、メンテナンス治具を取り外します。



Important!

必ずメンテナンス治具の直上にキャリッジがない状態で取り外してください。

Note

メンテナンス治具を使用していない場合は、次の手順に進んでください。

3. 左側のメンテナンスカバーを閉じて、**[Enter]** キーをタップする。

自動でクリーニング「微量」が始まります。

4. クリーニング終了後、スリープモードに移行します。



➔ 「スリープモード」P.49

5. メンテナンス用具を片付ける。

a. 使用済みのポリニットワイパーやクリーンスティックは廃棄します。

b. スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。

c. プラスチックカップ内の専用メンテナンス液を捨て、ペーパータオルでプラスチックカップをきれいに拭きます。

d. ステンレスバットをペーパータオルで拭きます。

Important!

- ポリニットワイパーやクリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。
- メンテナンス治具は、直射日光が当たらない場所に保管してください。

Note

使用済みのポリニットワイパーやクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

定期メンテナンス

テーブル表面の清掃

清掃時期：

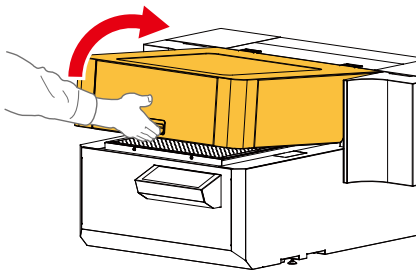
1 か月に一度

注意

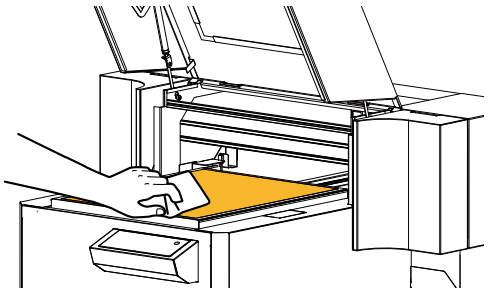
テーブルを清掃するときは、手でテーブルを強く押さないでください。
印刷品質に影響を与えるおそれがあります。

手順

1. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。



2. 水を含ませてよく絞った柔らかい布で、テーブルの汚れを取る。



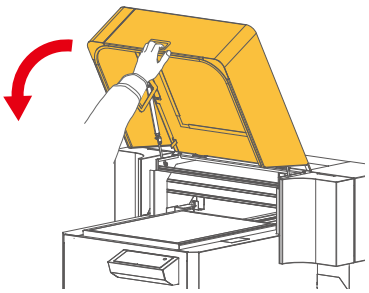
Important!

- 本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。 ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となるおそれがあります。
- テーブル上の硬化したインクの汚れを同梱品のスクレイパーで擦らないでください。テーブルを傷つけるおそれがあります。

Note

テーブル上に硬化したインクの汚れがある場合は、樹脂製のスキージやスクレイパー（市販品）で、テーブルを傷つけないように擦り取ります。

3. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと閉じる。



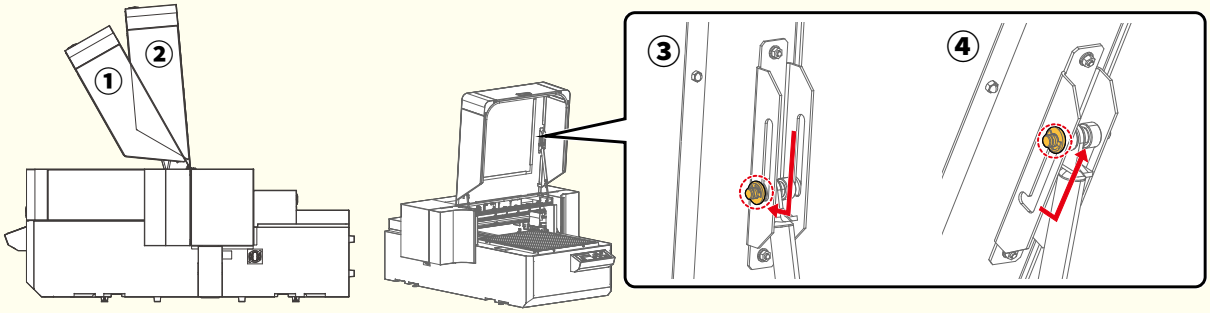
テーブルのメンテナンス

清掃時期：

12 か月に一度

注意

- **フロントカバーには通常位置（①）と全開位置（②）の二段階があります。全開位置はテーブルメンテナンス作業時にのみ使用してください。その他の作業時は通常位置で使用してください。**
- **全開位置で使用する場合は、以下をお守りください。操作が適切でないとフロントカバーが突然閉まり、けがをするおそれがあります。**
  - 全開位置で固定するときは、必ずダンパーをロックする（③）。
  - フロントカバーを閉じる際は、必ずダンパーのロックを解除してから閉じる（④）。

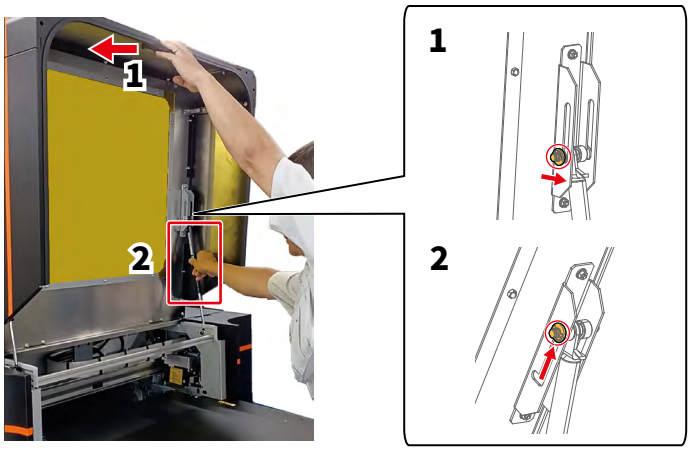


Important!

フロントカバーを全開にした場合、必ずダンパーのロックを解除してからフロントカバーを閉じてください。ダンパーがロックされている状態でフロントカバーを閉じると、破損の原因になります。

ダンパーロックの解除方法

1. フロントカバーを奥側へ押して、ダンパーのロックを解除する。
2. 図の位置でダンパーを持ち、ロックを解除した状態のままフロントカバーを閉じる。



Important!

清掃時は、以下を守ってください。

- 指示された箇所以外に潤滑グリスを塗布しないでください。
- ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。 ティッシュペーパーは使用しないでください。
- テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。
  障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
- テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、障害物センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。
  設置したメディアより高い物を置くと、プリントヘッドとぶつかり故障の原因となります。
  ➔「印刷エリア」 P.51

1. 準備

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。

- ペーパータオルまたはポリニットワイパー
- 潤滑グリス
- クリーンスティック

2. フロントカバーが閉じていることを確認する。

3. **[Home]** キーをタップする。

4. 「テーブル」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

5. **[>]** キーをタップする。

6. **[∧]** / **[∨]** キーで **[テーブルメンテナンス]** を選び、**[>]** キーをタップする。

以下が表示されます。



7. **[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルが手前に移動します。

8. メディアと治具を取り除いたら、**[Enter]** キーをタップする。

```
メディア ヲ トリノゾイテ、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルがメンテナンス位置に移動します。

Important!

プリンターが障害物を検出した場合、**[ショウガイブツ ケンシュツ [∨] キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されます。**[∨]** キーをタップすると、**[メディア ヲ セットシテ 、[∧] キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されます。メディアや治具を取り外し、手順をやり直してください。

9. **[テーブルメンテナンス シュウリョウ ー> Enter]** と表示されたら、テーブルメンテナンスを開始する。

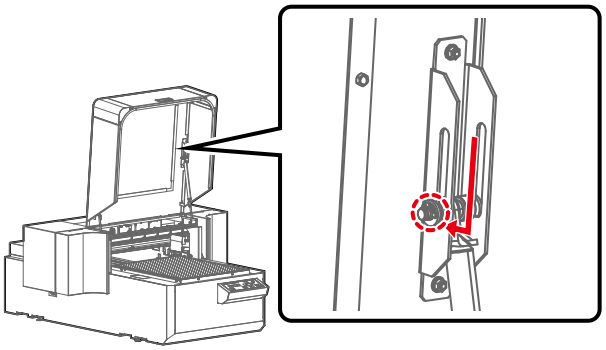
```
テーブルメンテナンス
シュウリョウ      -> Enter
```

➔ 「2. グリスを塗布する」 P.152

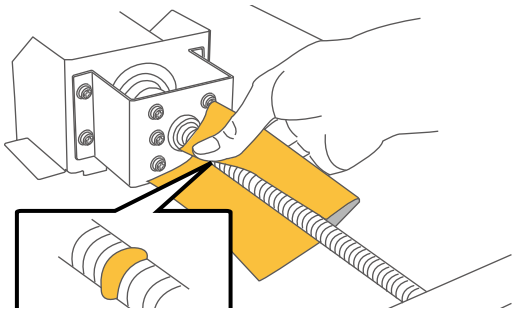
2. グリスを塗布する

手順

1. フロントカバーを全開位置まで開けて、ダンパーをロックする。

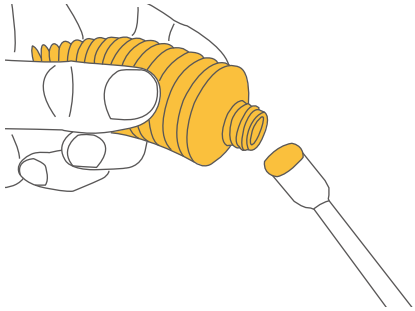


2. 図示のネジ部分にたまっている潤滑グリスの固まりを、ペーパータオルで軽く拭き取る。

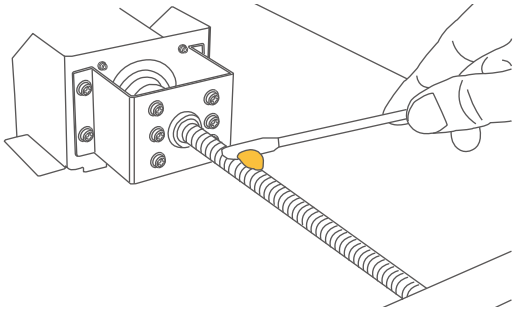


3. ネジ部分に潤滑グリスを塗布する。

a. クリーンスティックに潤滑グリスを 5mm 程度、取り出します。

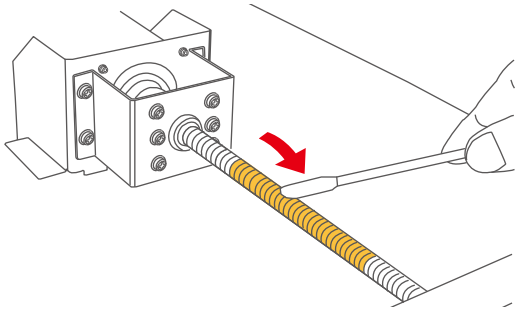


b. 手順 2 で潤滑グリスがたまっていた付近に、潤滑グリスをつけます。



c. 塗布した潤滑グリスを薄くのばします。

- 潤滑グリスをつけた箇所から、手前にまんべんなく引きのばします。



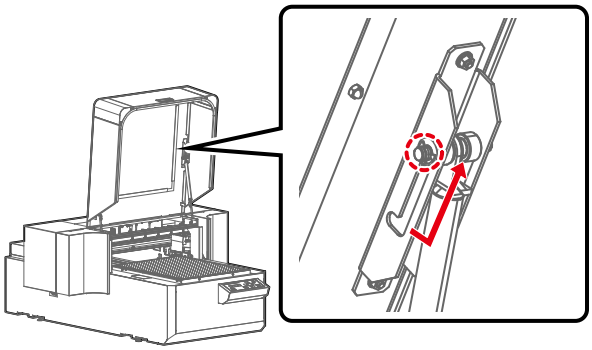
➔ 「3. グリス塗布後の手順」P.154

3. グリス塗布後の手順

手順

1. ダンパーのロックを解除し、フロントカバーをゆっくりと閉じる。

➔ 「ダンパーロックの解除方法」P.150



2. **[Enter]** キーをタップして、手順を終了する。

```
テーブルメンテナンス
シュウリョウ       -> Enter
```

a. テーブルが上下し、塗布したグリスをシャフトに馴染ませます。

b. テーブルがメンテナンスを行う前の位置に戻ります。

c. 以下が表示されます。

```
メディア ヲ セットシテ 、
[ ∧ ] キーヲ タップシテクダサイ
```

廃液タンクを空にする

次の場合には、廃液タンクの廃液を容器に移して排出してください。

- ディスプレイに下記の画面が表示された

ハイエキ ヲ ステテ 、 Enter キーヲ タップシテクダサイ	定期的に表示されます。廃液タンクの廃液をすべて排出してください。 廃液の排出処理後、**[Enter]** キーをタップすると元の表示に戻ります。
ハイエキタンク マンタン	コントロールパネルのステータスバーが赤色に点灯し、ブザーが鳴ります。ただちに廃液タンクの廃液をすべて排出してください。 プリンターの動作は停止します。廃液の排出処理後、動作を再開します。

警告

- **インクや洗浄液、廃液は、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。**
- **廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。**
- **廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。**
- **廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。**
  他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

- 2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。
- 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

手順

1. 廃液を移し替える容器を用意する。

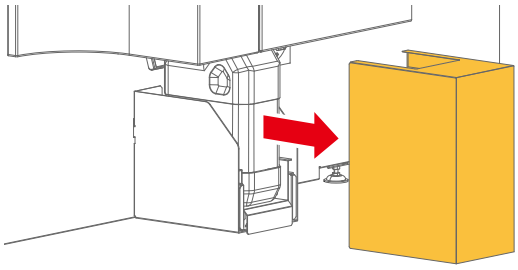
> **Important!**
> 廃液タンクの容量は 2,000 ml です。
> 廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

2. 不要なメディアなどを廃液タンクの下の床に敷く。

3. 保護具を着用する。

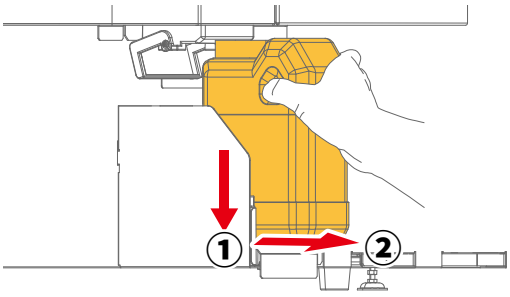
➔ 「保護具をつける」P.134

4. 廃液タンクの廃液カバーを取り外す。



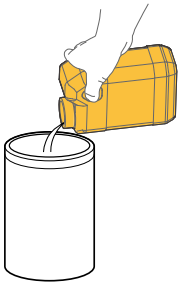
5. 廃液タンクを取り外す。

廃液タンク受けを押し下げて（①）、手前に引き抜きます（②）。



> **Important!**
> 廃液ボトルの開口部に廃液が垂れた場合は、ペーパータオルなどで拭き取ってください。

6. 廃液を空容器に移す。

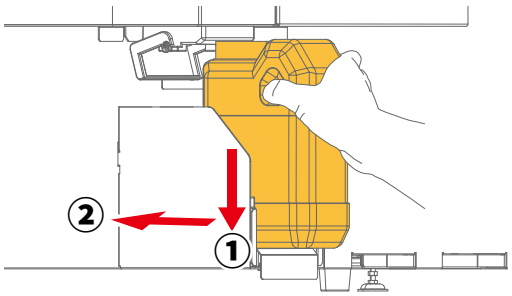


Important!

廃液ボトルの開口部に廃液が垂れた場合は、ペーパータオルなどで拭き取ってください。

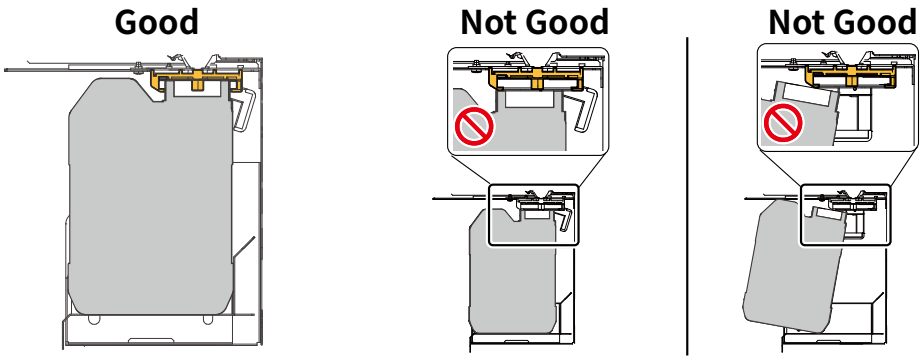
7. 空にした廃液タンクを取りつける。

廃液タンク受けを押し下げて（①）、奥側に押し込みます（②）。



Important!

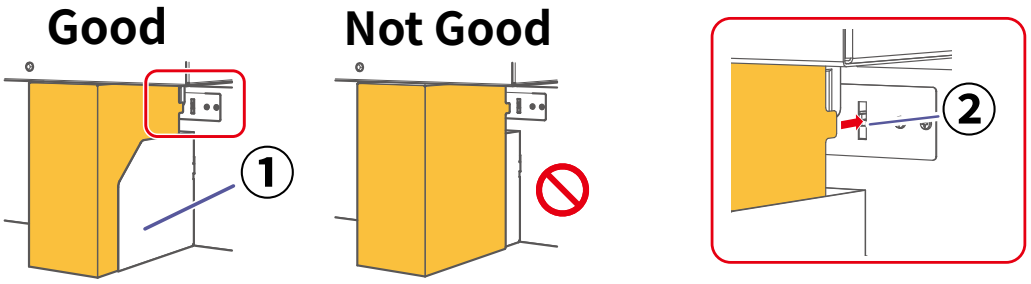
廃液タンクの開口部が、廃液ボトルガイドにしっかりはまっていることを確認してください。廃液タンクの押し込みが浅すぎたり、斜めになったりすると、廃液が漏れる可能性があります。



8. 廃液タンクに遮光カバーを取り付ける。

a. 遮光カバーが、廃液タンク受けベース（①）の内側に入るように取り付けてください。

b. 右奥側のセンサーに、遮光カバーのツメが差し込まれているか確認してください（②）。



Important!

廃液タンクや廃液カバーが外れていたり、斜めにセットされていたりすると、次のいずれかのエラーが表示されたままになります。

- **[ハイエキタンク ナシ]**
- **[ハイエキカバー ナシ]**
- **[ハイエキ タンク マンタン]**

正しくセットし直すと、エラーが解除されます。

警告

本製品から排出される廃液は、産業廃棄物に該当します。

廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

ご使用に合わせたメンテナンス

ノズルの目詰まりがあったとき

ヘッドクリーニング

印刷の前にノズルチェックをして、ノズルの目詰まりがあったときはプリントヘッドをクリーニングします。

➔「ノズルチェックとクリーニング」P.58

Important!

プリンターを 1 週間以上使用しない場合でも、1 週間に一度はヘッドクリーニングを実施してください。

Note

クリーニング「通常」を繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、以下の対処方法を参考にしてください。

1. クリーニング「強力」を 2~3 回実施してください。（改善しない場合は、次に進んでください）

➔「ヘッドクリーニングをする」P.61

2. 各部の清掃を行ってください。（改善しない場合は、次に進んでください）

➔「各部の清掃」P.160

3. 「微量充てん」を 2~3 回実施してください。（改善しない場合は、次に進んでください）

➔「微量充てん」P.162

4. 「漬け置きクリーニング」を実施してください。

➔「漬け置きクリーニング」P.163

それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき

各部の清掃

次の場合に、各部の清掃を行ってください。

- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき。
- スリープモードにせず、1 日中印刷する場合にデイリーメンテナンスを行うとき。

注意



インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意



インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Important!

こちらはスリープモードにしない場合のデイリーメンテナンス手順です。1日の作業を終了する場合のデイリーメンテナンスは、スリープモードにしてから実施してください。

➔「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.135

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。

   ➔「メンテナンスに必要なもの」P.131

2. 保護具を着用する。

   ➔「保護具をつける」P.134

3. 印刷が終了し、メディアと治具が取り外されていることを確認する。

4. [**インサツデキマス**] または [**メディア ヲ セットシテ、[∧] キーヲ タップシテクダサイ**] 表示中に [>] キーをタップする。

5. **[∧] / [∨]** キーで **[デイリーメンテナンス カイシ ー> Enter]** を選んで、**[Enter]** キーをタップする。

> **Note**
> パネル設定メニューからも「デイリーメンテナンス」を実行できます。
> ➔「デイリーメンテナンス」P.110

6. **[メディア ヲ トリノゾキ、メンテジグヲ セットシテ Enter]** と表示されたら、以下を実施する。

a. メディアと治具を取り外す。

b. メンテナンス治具をセットする。
➔「メンテナンス治具のセット方法」P.132

> **Note**
> クリーンスティックでメンテナンスする場合、メンテナンス治具の取り付けは不要です。次に進んでください。

7. **[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- キャリッジ、クリーニングワイパーがメンテナンス位置に移動します。

8. **[デイリーメンテナンス シュウリョウ ー> Enter]** と表示されたら、各部の清掃を開始する。

清掃箇所と手順は、「デイリーメンテナンス」と同一です。「Step3. デイリーメンテナンスを実施する」P.138 を参照して、各部を清掃してください。

➔「1. UV-LED ユニットの清掃」P.138
➔「2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる」P.140
➔「3. プリントヘッド周りの清掃」P.143
➔「4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」P.145

> **Important!**
> 作業時間の目安は 5 分以内です。

9. デイリーメンテナンスを終了する。

「Step4. デイリーメンテナンスを終了する」P.146 を参照して、デイリーメンテナンスを終了します。

ノズルの目詰まりが重度のとき

微量充てん

クリーニング「強力」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。実施の際は注意事項をお守りください。

Important!

インク充てん中に、以下の操作をしないでください。充てん動作が中断すると、再充てんによるインク損失が発生します。

- プリンターの電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりする
- フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. **[インサツデキマス]** 表示中に **[>]** キーをタップする。

3. **[∧] / [∨]** キーで **[クリーニング [ビリョウジュウテン] カイシ ー> Enter]** を選ぶ。



Note

パネル設定メニューからも「微量充てん」を実行できます。

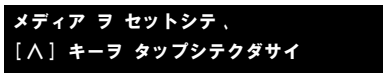
➔「クリーニング [ビリョウジュウテン]」P.110

4. **[Enter]** キーをタップして、微量充てんを開始する。

以下が表示されます。



5. インク充てんが完了すると、以下が表示されます。



手順を終了します。

Note

「微量充てん」を 2 ～ 3 回繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、「漬け置きクリーニング」を実施してください。

➔「漬け置きクリーニング」P.163

漬け置きクリーニング

メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。
   - スポイト
   - 専用メンテナンス液
2. 保護具を着用する。
   ➔ 「保護具をつける」P.134
3. [**インサツデキマス**] 表示中に [**＞**] キーをタップする。
4. [**∧**] / [**∨**] キーで [**ツケオキクリーニング　カイシ　ー＞ Enter**] を選ぶ。



Note

パネル設定メニューからも「漬け置きクリーニング」を実行できます。

➔「ツケオキクリーニング」P.110

5. **[Enter] キーをタップして、メンテナンスを開始する。**

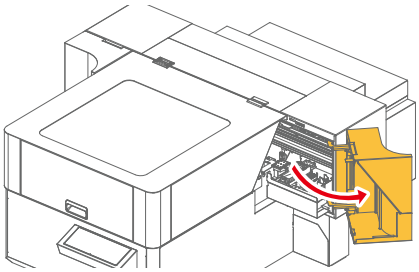
- キャリッジが左側のメンテナンススペースに移動します。
- **[センジョウエキヲミタス　シュウリョウ　ー> Enter]** と表示されます。

Important!

プリンターが以下の状態のときは、漬け置きクリーニングを実行できません。

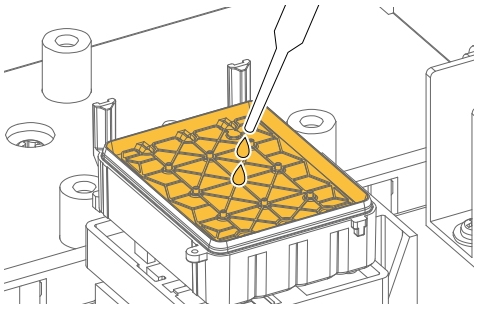
- フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている
- 廃液タンクが満タンになっている。
- インクカートリッジ（大容量パックアダプター）が取り外されている。
- 純正品以外のスマートチップカードが挿入されている

6. **右側のメンテナンスカバーを開ける。**

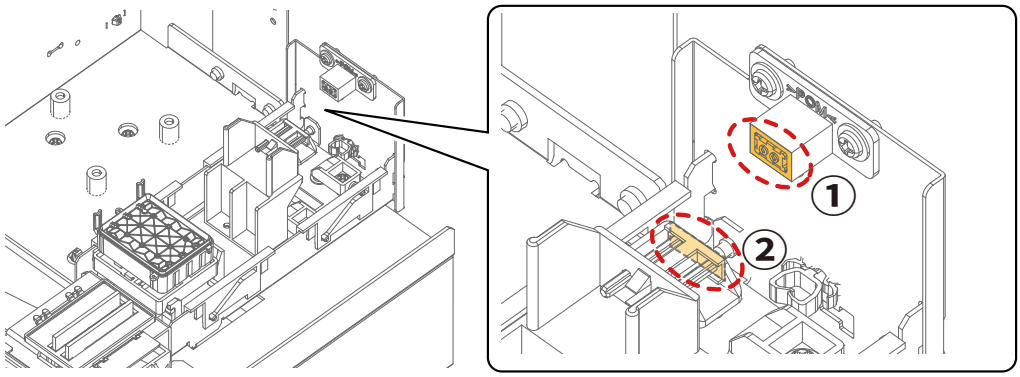


7. **キャップいっぱいにメンテナンス液を満たす。**

スポイトでメンテナンス液をとり、キャップからあふれる寸前まで注入してください。



8. **ペーパータオルを使って、エアバルブの表面（①と②の部分）に付着したインクを拭き取る。**



9. [Home] キーをタップする。

キャリッジが元の位置へ戻ります。



10. [∧] / [∨] キーで漬け置き時間を選び、[Enter] キーをタップする。

- 漬け置き時間は 10 分を推奨します。
- 漬け置き時間のカウントダウンが始まります。
- 漬け置き時間経過後、空吸引につづいてクリーニングを開始します。（クリーニングが実行できない場合は、空吸引のみ）



11. 漬け置きクリーニングを終了する。

スポイトに付着したメンテナンス液をペーパータオルで拭き取ります。

> **Note**
>
> 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

消耗品の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。

フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用しつづけると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安

フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインクかたまりが、フラッシングボックス枠より盛り上がったとき。
（使用頻度によりますので定期的に確認してください。）

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

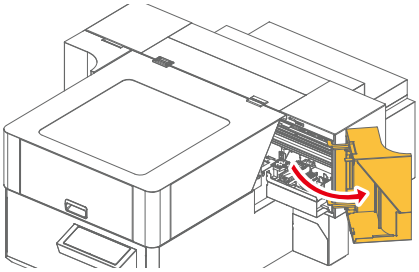
インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

1. 確認方法

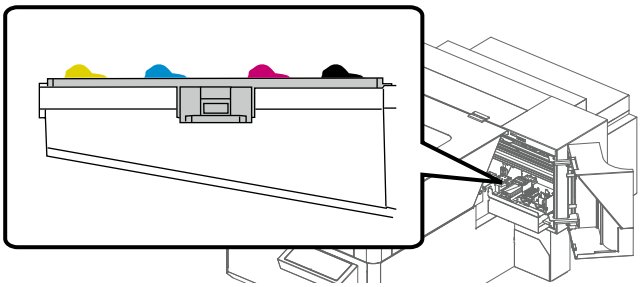
手順

1. 右側のメンテナンスカバーを開ける。



2. フラッシングボックス用吸収材を確認する。

インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。



3. 右側のメンテナンスカバーを閉じる。

2. 交換方法

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。

- フラッシングボックス用吸収材
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

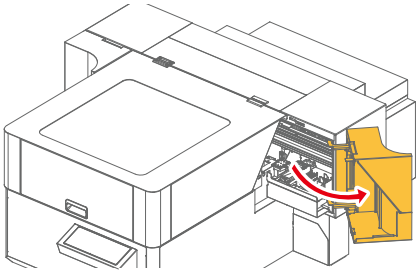
2. 保護具を着用する。

➔ 「保護具をつける」P.134

3. CR メンテナンス状態にする。

➔ 「CR メンテナンス」P.113

4. 右側のメンテナンスカバーを開ける。

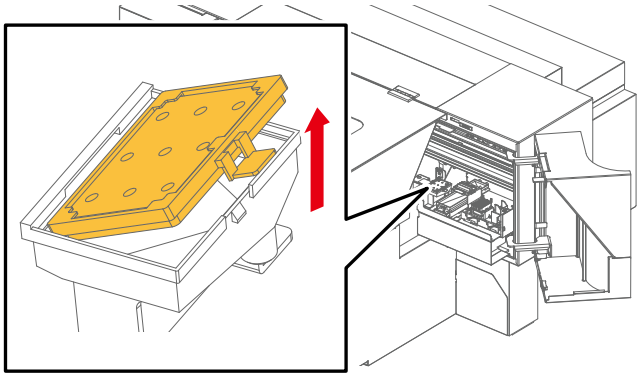


5. プラテンに、汚れてもかまわない紙を敷く。

Important!

フラッシングボックス用吸収材からインクがたれることがあります。床にも紙を敷くことをおすすめします。

6. フラッシングボックス用吸収材のツメ部を持ち上げてフックを解除し、フラッシングボックス用吸収材を取り外す。



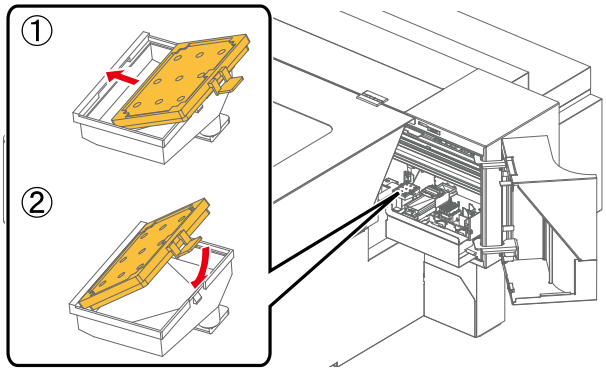
Important!

フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクがたれ落ちないよう注意してください。

Important!

使用済みのフラッシングボックス用吸収材は、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

7. 新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付ける。



8. 右側のメンテナンスカバーを閉じる。

9. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。



10. **[Home]** キーをタップして、手順を終了する。



クリーニングワイパーの交換

クリーニングワイパーは、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。定期的に交換してください。

交換時期の目安

約 6 か月

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

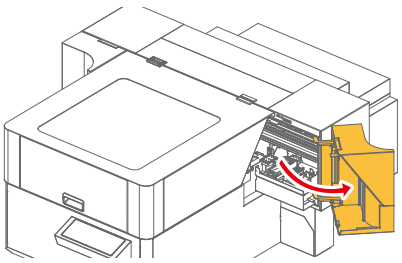
注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。
   - 交換用クリーニングワイパー
   - 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）
2. 保護具を着用する。
   ➔ 「保護具をつける」 P.134
3. CR メンテナンス状態にする。
   ➔ 「CR メンテナンス」 P.113
4. 右側のメンテナンスカバーを開ける。



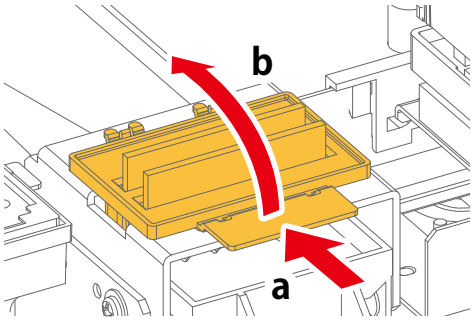
5. プラテンに、汚れてもかまわない紙を敷く。

> **Important!**
> クリーニングワイパーからインクがたれることがあります。床にも紙を敷くことをおすすめします。

6. クリーニングワイパーを取り外す。

a. クリーニングワイパーのツメ部を奥に押して、手前のフックを解除します。

b. クリーニングワイパーのツメ部を持上げて、クリーニングワイパーを取り外します。



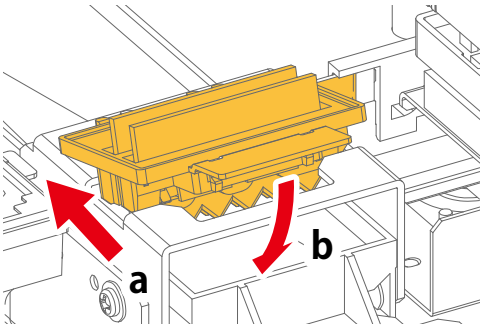
> **Important!**
> クリーニングワイパーを取り外すときに、インクがたれ落ちないよう注意してください。

> **Important!**
> 使用済みのクリーニングワイパーは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

7. ヘッド高さにあわせたクリーニングワイパーを取り付ける。

a. クリーニングワイパーの奥側を挿入します。

b. クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。



Important!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

8. 右側のメンテナンスカバーを閉じる。

9. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。



10. **[Home]** キーをタップして、手順を終了する。



UV-LED ユニットのガラスの交換

UV-LED ユニットを保護するためのガラスです。破損していたり、汚れが落ちないまま使用を続けると UV-LED ユニットの故障やインクの硬化不良の原因となります。必要に応じて交換してください。

交換時期の目安

- ガラスに欠け、割れがある場合。
- ガラスの汚れが落ちない場合。

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

注意

印刷直後は UV-LED ユニット表面が高温になっています。

印刷終了後 10 分経過してから作業を実施してください。

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。

   交換用ガラス

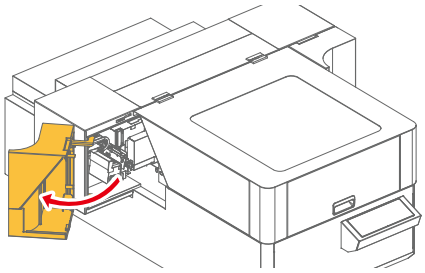
2. 保護具を着用する。

   ➔ 「保護具をつける」 P.134

3. CR メンテナンス状態にする。

   ➔ 「CR メンテナンス」 P.113

4. 左側のメンテナンスカバーを開ける。



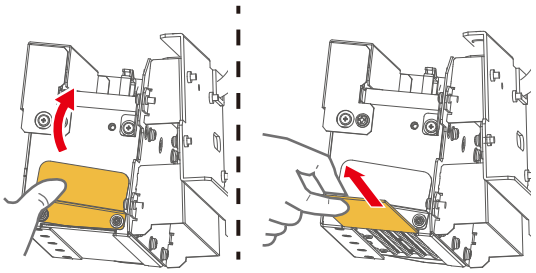
5. ガラスを確認し、欠けや割れなどがあれば交換する。

a. 排気カバーの右側のネジを支点にして、排気カバーを上にスライドします。

b. UV-LED ユニット下側のガラスをスライドして取り外します。

c. ガラスに欠け、割れ、落ちない汚れがあるか確認します。

d. 新しいガラスを UV-LED ユニットに取り付けます。ガラスをしっかりと奥まで挿入し、排気カバーを元のように下げます。



Important!

ガラスの取り付け忘れや排気カバーの戻し忘れがないように注意してください。UV-LED ユニットの故障の原因となります。

6. 左側のメンテナンスカバーを閉じる。

7. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。



8. **[Home]** キーをタップして、手順を終了する。



UV-LED ユニットのフィルターの交換

インクミストから UV-LED ユニットを保護するためのフィルターです。汚れが蓄積したまま使用を続けると UV-LED ユニットの故障の原因となります。定期的に交換してください。

交換時期の目安

約 1 か月またはいちじるしくインクやホコリによる汚れがある場合。
（使用頻度によりますので定期的に確認してください。）

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

注意

印刷直後は UV-LED ユニット表面が高温になっています。

印刷終了後 10 分経過してから作業を実施してください。

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。

   交換用フィルター

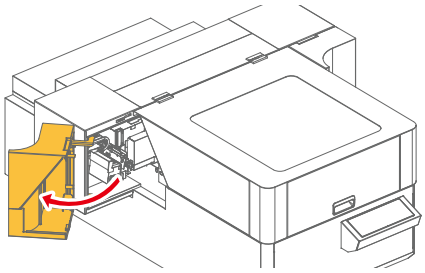
2. 保護具を着用する。

   ➔ 「保護具をつける」P.134

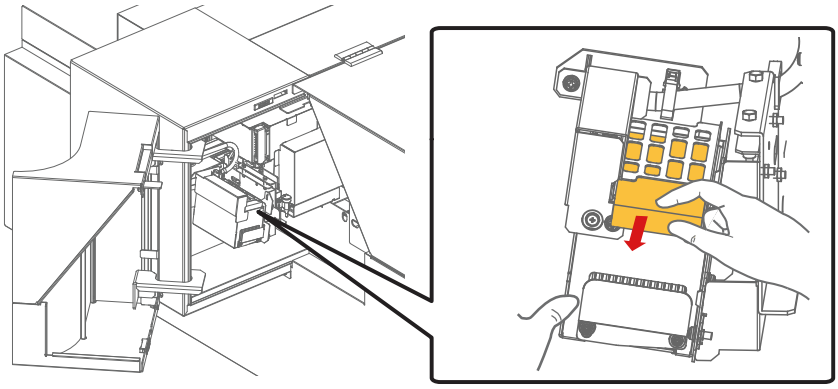
3. CR メンテナンス状態にする。

   ➔ 「CR メンテナンス」P.113

4. 左側のメンテナンスカバーを開ける。



5. UV-LED ユニットに手を添えながら、フィルターを取り出す。



6. 新しいフィルターに交換する。

フィルターはしっかりと奥まで挿入します。

7. 左側のメンテナンスカバーを閉じる。

8. **[Enter]** キーをタップして、メンテナンスを終了する。



9. **[Home]** キーをタップして、手順を終了する。



移動・輸送

移動の方法

本製品の移動方法について説明します。

注意

- **本製品を移動または輸送する場合は、必ず4人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。**
- **本製品の上下を逆にしないでください。**
  転倒による事故や、製品内部のインクが漏れる原因になります。また、移動後の正常動作が保証できません。

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Important!

- 短い距離の移動でも廃液タンクを空にしてください。
  廃液が身体に付着するおそれがあります。また、製品の故障の原因になります。
- 本製品を移動するときは安全靴の着用を推奨します。

移動準備

手順

1. 廃液タンクを空にする
   ➔ 「廃液タンクを空にする」P.155
2. プリンターの電源をオフにする。
   ➔ 「電源をオフにする」P.46
3. 電源コードなどのケーブル類をすべて取り外す。
4. 本製品を移動する。

移動後の手順

手順

1. 設置に適した場所を確認する。
   ➔ **スタートアップガイド**
2. 電源コードなどのケーブル類を取り付ける。
3. 設置場所に移動後、製品を固定する。
   ➔ **スタートアップガイド**
4. プリンターの電源をオンにする。
   ➔ 「電源をオンにする」P.45
5. ノズルチェックをして、目詰まりがないかを確認する。
   ➔ 「ノズルチェックとクリーニング」P.58

輸送の方法

本製品を輸送するときは、内部のインクおよび廃液を排出し、梱包材でプリントヘッドとテーブルを固定する必要があります。そのまま輸送すると、インクが漏れたり、プリントヘッドが故障したりする原因になります。ふたたび使用するときは、再設置作業と初期充てんを行います。

注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。

注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Step1. インクを排出する

手順

1. 保護具を着用する。

➔ 「保護具をつける」P.134

2. **[Home]** キーをタップする。

3. 「インク排出」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー：メニューを選びます。
- **[>]** キー：メニューに入ります。

4. **[>]** キーをタップする。

5. **[Enter]** キーをタップして、作業を開始する。



6. **[ハイエキ ヲ ステテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** が表示されたら、容器に廃液を移し替える。

```
ハイエキ ヲ ステテ 、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

➔ 「廃液タンクを空にする」P.155

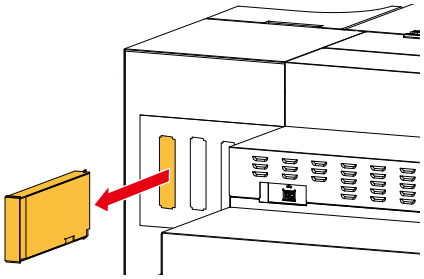
> **Note**
>
> **[Cancel]** キーをタップすると、「インク排出」メニューをキャンセルできます。

7. 廃液タンクを空にしたら、**[Enter]** キーをタップする。

- 以下が表示されます。

```
カートリッジヲ ヌイテクダサイ
```

8. すべてのインクカートリッジ（大容量パックアダプター）をカートリッジスロットから取り外す。



a. すべてのインクカートリッジ（大容量パックアダプター）を取り外すと、インクが排出されます。

```
インクハイシュツチュウ        **%
```

b. 排出が終わると、以下が表示されます。

```
[123456] カートリッジ ナシ
```

```
カートリッジ ナシ        1XXXXXX6
```

Step2. テーブルの移動

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. 「テーブル」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

3. **[>]** キーをタップする。

4. **[∧]** / **[∨]** キーで **[イドウジュンビ]** を選び、**[>]** キーをタップする。

以下が表示されます。

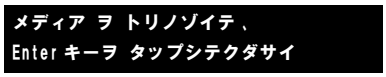


5. **[∧]** / **[∨]** キーで **[ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。



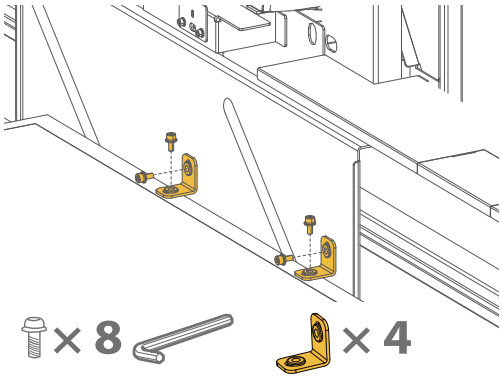
- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルが手前に移動します。

6. **[メディア ヲ トリノゾイテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、メディアと治具を取り外して、**[Enter]** キーをタップする。



- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルが昇降します。

7. **[テーブルコテイイタ ヲ トリツケテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、テーブル固定板連結材をネジで取り付ける。



8. テーブル固定板連結材を取り付けたら、**[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルが前後に移動します。

> **Important!**
>
> プリンターが障害物を検出した場合、**[ショウガイブツ ケンシュツ [∨] キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されます。**[∨]** キーをタップすると、**[メディア ヲ セットシテ 、[∧] キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されます。メディアや治具を取り外し、手順をやり直してください。

9. **[デンゲンヲ オフ シテクダサイ]** と表示されたら、プリンターの電源をオフにする。

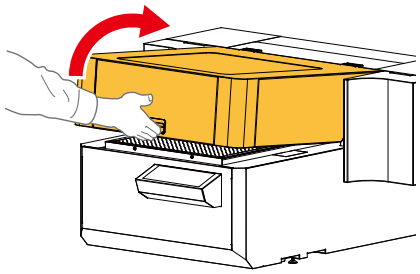


- 電源ボタンを 2 秒以上押します。
  - 本製品が電源オフ動作を開始します。
  - **[デンゲンシャダンチュウ]** と表示されたら、電源ボタンを離します。
  - 電源ボタン上部の LED が消灯します。

10. 電源コードなどのケーブル類をすべて取り外す。

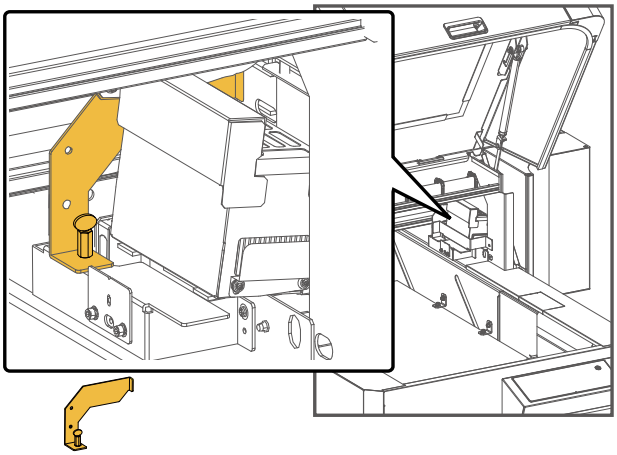
Step3. 再梱包

1. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。



2. ヘッド固定板をネジで取り付ける。

ヘッド固定板は右側にスライドして取り付けます。



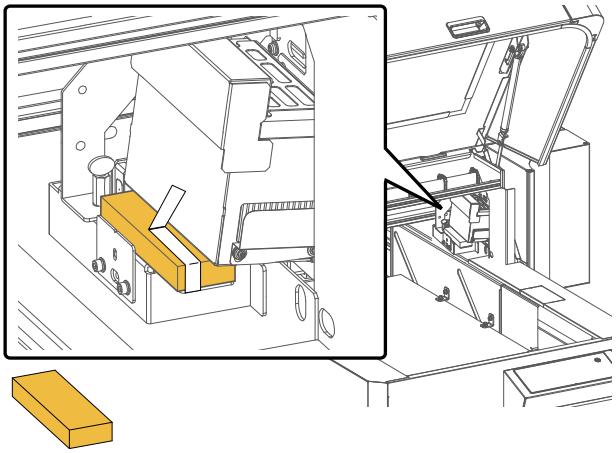
Important!

固定板が周囲の部品をキズつけないように、慎重に取り付けてください。キズがつくと、印刷品質が低下する場合があります。

3. UV-LED ユニット保護材を取り付ける。

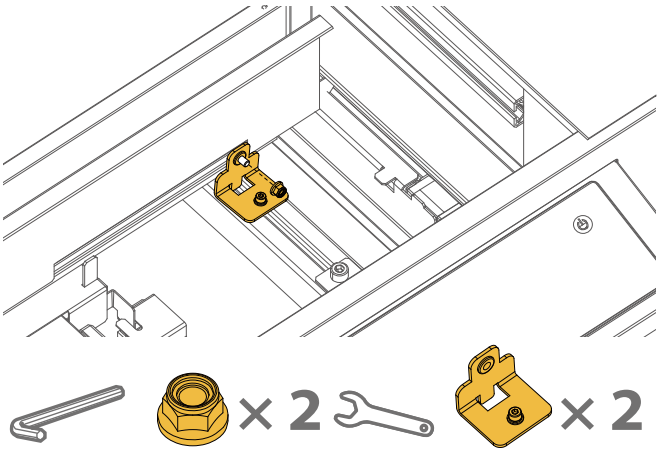
a. UV-LED ユニット保護材は手前から奥側にスライドして取り付けます。

b. 保護材が外れないようにテープで固定します。



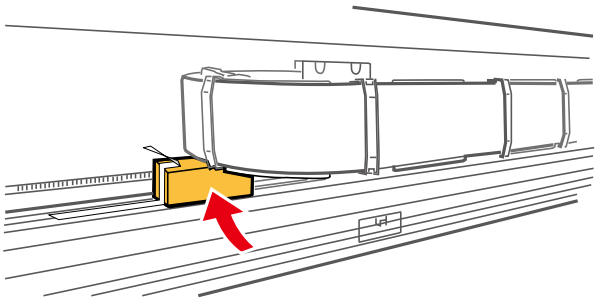
4. テーブル固定板（2 個）をネジで取り付ける。

付属の六角レンチをご使用ください。

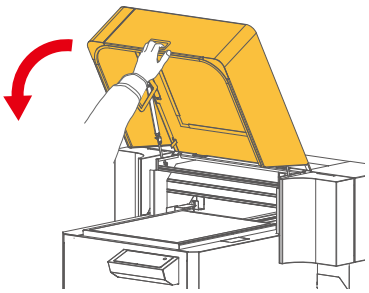


5. スチールベアの保護材を取り付ける。

保護材が外れないようにテープで固定します。

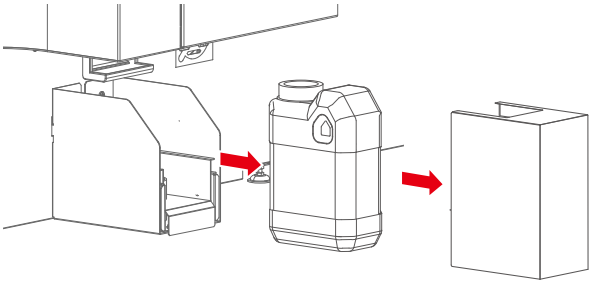


6. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと閉じる。



7. 廃液タンクの遮光カバーと廃液タンクを取り外す。

廃液タンクを取り外した後に、プリンター開梱の際に保管しておいたふたを閉めてください。

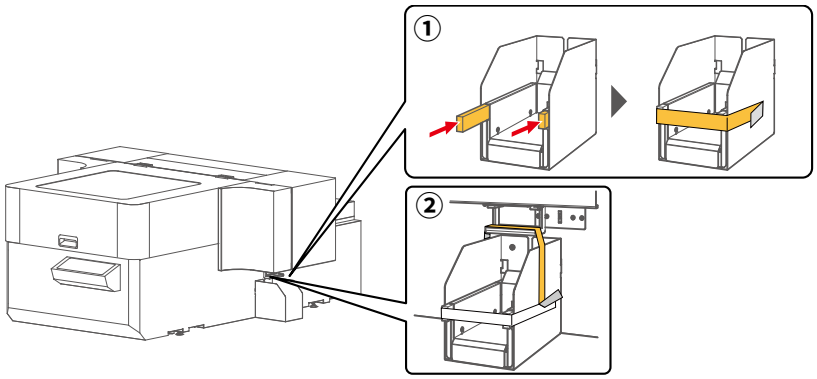


Important!

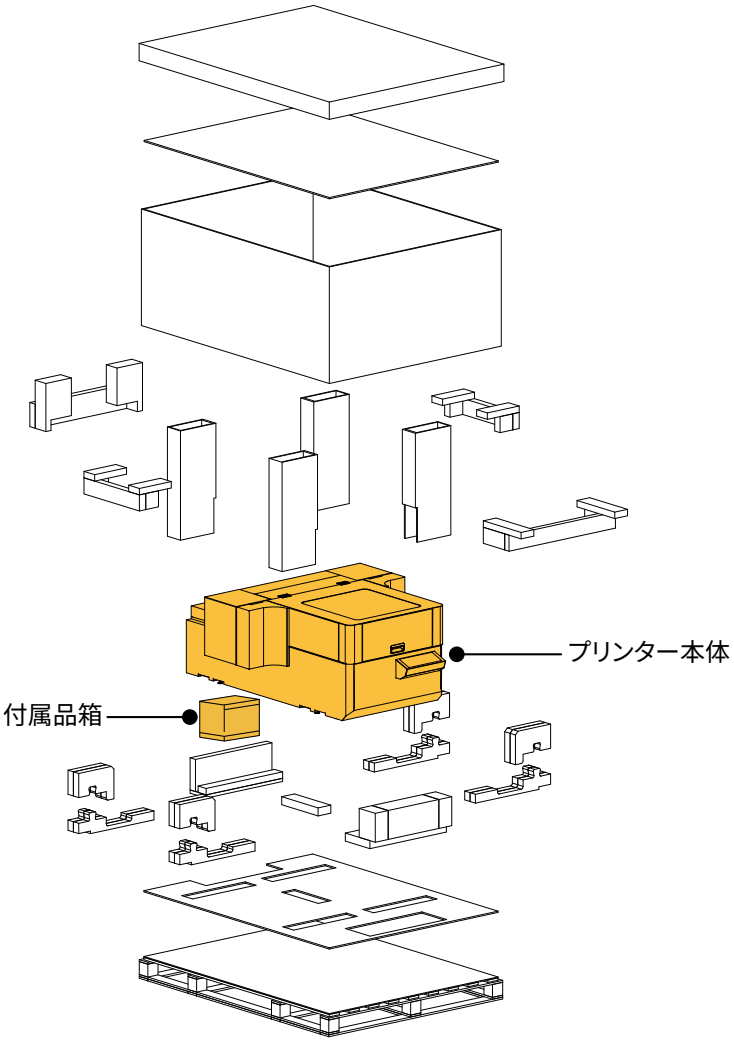
廃液ボトルや廃液タンク受けにインクが垂れた場合は、ペーパータオルなどで拭き取ってください。

8. 廃液タンク受け周りに保護材を取り付ける。

- 廃液タンク受け保護材を奥まで差し込み、テープで廃液タンク受け保護材を固定します（①）。
- 廃液ボトルガイドにテープを貼って固定します（②）。



9. 保護材を取り付け、梱包箱に本製品を入れる。



再設置

1. 「スタートアップガイド」を見ながら本製品を開梱し、組み立てる。

   「プリンターの水平調整」まで行います。

2. インク排出後の初期充てんをする。

   ➔ 「インク排出後の初期充てん」P.192

長期間使用しない場合（長期保存）

長期間（最長 1 か月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源をオフにしてください。



注意

インクや廃液を取り扱うときや、インクが付着する可能性のある作業をするときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。

2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、付属品のポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。

手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。



注意

インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。

そのまま放置すると、目の充血や炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Step1. デイリーメンテナンスを実施する

手順

1. メンテナンスに必要なものを用意する。

   ➔ 「メンテナンスに必要なもの」P.131

2. 保護具を着用する。

   ➔ 「保護具をつける」P.134

3. 印刷が終了し、メディアと治具が取り外されていることを確認する。

4. **[インサツデキマス]** または **[メディア ヲ セットシテ、[∧] キーヲ タップシテクダサイ]** 表示中に **[>]** キーをタップする。

5. **[∧]** / **[∨]** キーで **[デイリーメンテナンス カイシ ー> Enter]** を選んで、**[Enter]** キーをタップする。

   Note

   パネル設定メニューからも「デイリーメンテナンス」を実行できます。

   ➔「デイリーメンテナンス」P.110

6. **[メディア ヲ トリノゾキ、メンテジグヲ セットシテ Enter]** と表示されたら、以下を実施する。

a. メディアと治具を取り外す。

b. メンテナンス治具をセットする。

➔「メンテナンス治具のセット方法」P.132

Note

クリーンスティックでメンテナンスする場合、メンテナンス治具の取り付けは不要です。次に進んでください。

7. **[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- キャリッジ、クリーニングワイパーがメンテナンス位置に移動します。

8. **[デイリーメンテナンス シュウリョウ ー> Enter]** と表示されたら、各部の清掃を開始する。

清掃箇所と手順は、「デイリーメンテナンス」と同一です。「Step3. デイリーメンテナンスを実施する」P.138 を参照して、各部を清掃してください。

➔「1. UV-LED ユニットの清掃」P.138
➔「2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる」P.140
➔「3. プリントヘッド周りの清掃」P.143
➔「4. クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃」P.145

Important!

作業時間の目安は 5 分以内です。

9. デイリーメンテナンスを終了する。

「Step4. デイリーメンテナンスを終了する」P.146 を参照して、デイリーメンテナンスを終了します。

Step2. インクを排出する

手順

1. 保護具を着用する。

   ➔ 「保護具をつける」P.134

2. **[Home]** キーをタップする。

3. 「インク排出」メニューにアクセスする。

   メニューフロー

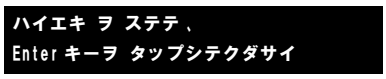
   - **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
   - **[>]** キー : メニューに入ります。

4. **[>]** キーをタップする。

5. **[Enter]** キーをタップして、作業を開始する。

6. **[ハイエキ ヲ ステテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** が表示されたら、容器に廃液を移し替える。

   ➔ 「廃液タンクを空にする」P.163

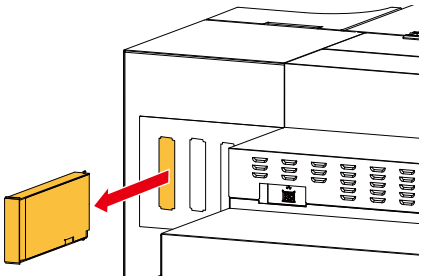
   > **Note**
   > **[Cancel]** キーをタップすると、「インク排出」メニューをキャンセルできます。

7. 廃液タンクを空にしたら、**[Enter]** キーをタップする。

   - 以下が表示されます。

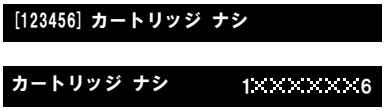
8. すべてのインクカートリッジ（大容量パックアダプター）をカートリッジスロットから取り外す。



a. すべてのインクカートリッジ（大容量パックアダプター）を取り外すと、インクが排出されます。



b. 排出が終わると、以下が表示されます。



Step3. デイリーメンテナンスをスキップして電源をオフにする

手順

1. **[Home] キーをタップする。**

2. **「電源遮断」メニューにアクセスする。**

メニューフロー



- **[∧] / [∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

3. **[>] キーをタップする。**

以下が表示されます。



4. **[Cancel] キーをタップする。**

デイリーメンテナンスをスキップします。

> **Important!**
>
> 必ず事前にデイリーメンテナンスを実施してから、電源をオフしてください。デイリーメンテナンスを実施せずに電源をオフすると、プリントヘッド周辺のインクが固着し故障の原因となります。

5. **本製品が電源オフ動作を開始します。**



インク排出後の初期充てん

Important!

インク充てん中に、以下の操作をしないでください。充てん動作が中断すると、再充てんによるインク損失が発生します。

- プリンターの電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりする
- フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける

手順

1. プリンターの電源をオンにする。

➔ 「電源をオンにする」P.45

2. **[Enter]** キーをタップして、初期充てんを開始する。

```
インクジュウテン
カイシ          -> Enter
```

3. **[ハイエキ ヲ ステテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** が表示されたら、容器に廃液を移し替える。

```
ハイエキ ヲ ステテ 、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

➔ 「廃液タンクを空にする」P.155

4. 廃液タンクを空にしたら、**[Enter]** キーをタップする。

- 以下が表示されます。

```
インクカートリッジ ヲ セット
```

5. インクをかくはんして、インクカートリッジ（大容量パックアダプター）をカートリッジスロットに差し込む。

➔ 「インクカートリッジをお使いの場合」P.193
➔ 「大容量パックアダプターをお使いの場合」P.194

インクカートリッジをお使いの場合

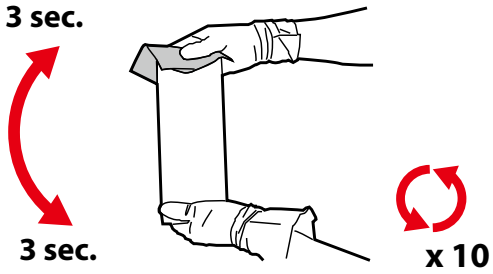
手順

1. 新しいインクカートリッジを用意し、インクをかくはんする。

a. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。

b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。

c. 上記を 10 回繰り返します。(WH のみ 20 回)



Important!

必ず新しいインクカートリッジを使用してください。インク残量が不十分なインクカートリッジを使用すると初期充てん中にインクエンドとなり、再充てんによるインク損失が発生します。

Note

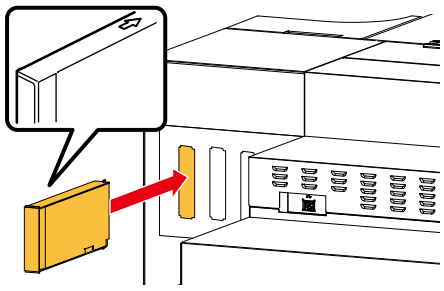
バーニッシュ（クリア）はかくはんせずにご使用いただけます。

2. 空のインクカートリッジを抜き、新しいインクカートリッジを差し込む。

a. プリンターのインク色表示ラベルとカートリッジの色を合わせてください。

b. 矢印マークを上にしてください。

c. 奥までしっかり差し込んでください。



Important!

- 元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。
- ゆっくりと差し込んでください。勢いよく差し込むとインク漏れの原因となることがあります。

d. 「インクをセットした後の手順」 P.197

大容量パックアダプターをお使いの場合

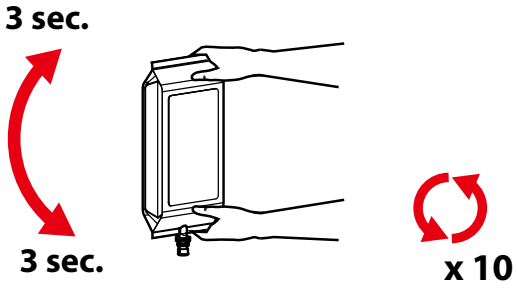
手順

1. 新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんする。

a. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。

b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。

c. 上記を 10 回繰り返します。(WH のみ 20 回)



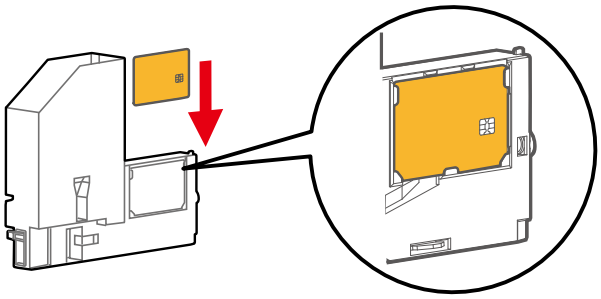
Important!

必ず新しいインクパックを使用してください。インク残量が不十分なインクパックを使用すると初期充てん中にインクエンドとなり、再充てんによるインク損失が発生します。

Note

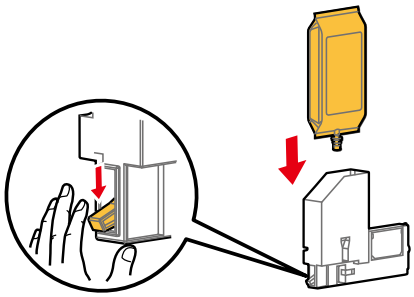
バーニッシュ（クリア）はかくはんせずにご使用いただけます。

2. 大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付ける。

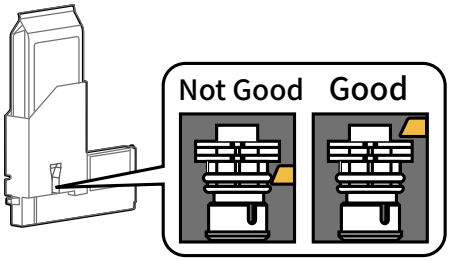


3. 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入する。

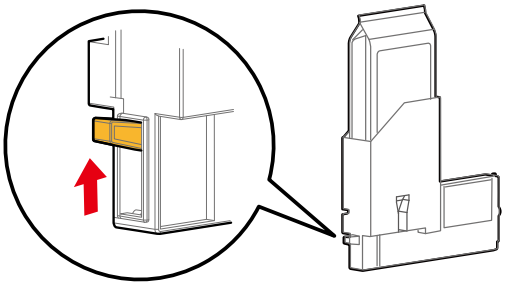
a. インクパックは奥までしっかりと挿入してください。



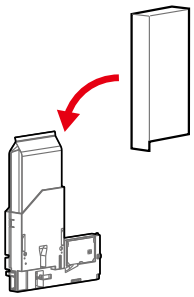
b. インクパックが奥まで差し込まれ、ロックされていることを確認してください。



c. 大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。



4. 遮光カバーを取り付ける。



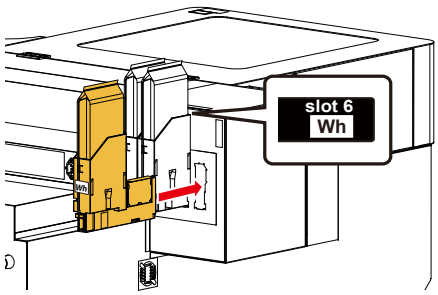
Important!

遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。

5. 大容量パックアダプターを元のカートリッジスロットに差し込む。

a. プリンターのインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。

b. 奥までしっかり差し込んでください。



Important!

- 元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。
- ゆっくりと差し込んでください。勢いよく差し込むとインク漏れの原因となることがあります。

c. 「インクをセットした後の手順」P.197

インクをセットした後の手順

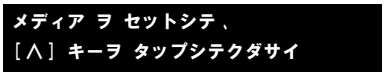
手順

1. インク充てんを開始します。



> **Important!**
>
> インク充てん中に、以下の操作をしないでください。充てん動作が中断すると、再充てんによるインク損失が発生します。
>
> - プリンターの電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりする
> - フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける

2. インク充てんが完了すると、以下が表示されます。



手順を終了します。

> **Important!**
>
> 初期充てん終了直後にノズルチェックを実施すると、次のような現象が発生することがあります。
>
> - 印刷した線がかすれる
> - 部分的に印刷されない
>
> このような場合には、「微量充てん」を実施してから、印刷結果を確認してください。
>
> 微量充てんを実施しても印刷結果に変化がない場合は、プリンターを 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを実施してから印刷結果を確認してください。
>
> それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5 困ったときは

メッセージとエラーメッセージ 199
トラブルシューティング 206

メッセージとエラーメッセージ

ここでは、表示されるメッセージと対処方法について説明します。

動作状態表示

プリンターが正常に動作している場合のメッセージについて説明します。

表示	内容
アクティベーション ヲ シテクダサイ	アクティベーションが未実行状態です。アクティベーションをしてください。
イニシャルチュウ	プリンターが初期動作中です。
メディア ヲ セットシテ、 [∧] キーヲ タップシテクダサイ	待機中（メディアはセットされていません）。 ➔「メディアのセット方法」P.52
インサツデキマス	待機中（メディアはセットされています）。
データジュシンチュウ	データ受信中です。
データカイセキチュウ	データ解析中です。
データインサツチュウ	印刷中です。
インサツ ノコリ：　XXX.Xm	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さをメートルで表示します。
ノコリジカン：　XXXX フン	現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を分で表示します。
インサツ イチジテイシチュウ インサツ キャンセル　-> Enter	印刷を一時停止中です。 **[Cancel]** キーをタップすると、印刷を再開します。 **[Enter]** キーをタップすると、印刷をキャンセルします。
キャンセルチュウ	印刷を中止しています。
クリーニングチュウ　**%	クリーニング中です。 しばらくお待ちください。
インクハイシュツチュウ　**%	インク排出中です。 しばらくお待ちください。
ダンプデータアリ	ヘッダーダンプ設定をオンにしているとき、ダンプデータがある場合に表示されます。
ジュミョウカクニン [ポンプ] カクニン　-> Enter	ポンプモーターの寿命が近づいています（動作は継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
ジュミョウカクニン [CR モータ] カクニン　-> Enter	CR モーターの寿命が近づいています（動作は継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
ジュミョウカクニン [PF モータ] カクニン　-> Enter	PF モーターの寿命が近づいています（動作は継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
ジュミョウカクニン [C ポンプ]	循環ポンプモーターの寿命が近づいています（動作は継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

表示	内容
ジュミョウカクニン［UV ランプ］	UV-LED ユニットの寿命が近づいています（動作は継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
デンゲンシャダンチュウ	プリンターの電源をオフしています。 しばらくお待ちください。
S/C リード チュウ	スマートチップカードの読み取り中です。
*** リモート モード *** シュウリョウ -> Enter	MSM などでリモートパネルモードを実行中です。 リモートパネルモード中は、プリンターコントロールパネルからの操作はできません。 **[Enter]** キーをタップすると、リモートパネルモードを強制終了します。
インクジュンカンチュウ	プリンター内でインクが循環中です。
デイリーメンテナンス シテクダサイ	前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過しました。 デイリーメンテナンスを実施してください。 ➔「各部の清掃」P.160
ハイエキ ヲ ステテ 、 Enter キーヲ タップシテクダサイ	初期充てん中に廃液タンクが満タンになりました。 廃液タンクの廃液を容器に移し、**[Enter]** キーをタップしてください。
センジョウカートリッジ ヲ セット	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄カートリッジを取り付けてください。
ヘッドセンジョウチュウ **%	初期洗浄で洗浄液の充てんおよび排出を実施しています。 または、ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。 しばらくお待ちください。
カートリッジヲ ヌイテクダサイ	ヘッド洗浄処理中またはインク排出処理中です。 インクカートリッジ（大容量パックアダプター）を取り外してください。
インクカートリッジ ヲ セット	インク充てん中です。 インクカートリッジ（大容量パックアダプター）を取り付けてください。
インクジュウテンチュウ **%	インク充てん中です。 しばらくお待ちください。
ゲンテンイチ ニ イドウチュウ	「原点設定」メニューで、プリントヘッドが印刷開始位置に移動中です。 しばらくお待ちください。

メッセージ型エラー表示と対処方法

メッセージ型エラーの内容とその対策について説明します。

メッセージ型エラーは、プリンターの動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。

プリンターコントロールパネルのディスプレイにエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	内容
カバーオープン	フロントカバーが開いています。 カバーを閉じてください。
メンテナンスカバー オープン	メンテナンスカバーが開いています。 カバーを閉じてください。
[******] インク ナシ	インクがなくなりました（動作を停止します）。 新しいインクカートリッジ（大容量パックアダプターの場合はスマートチップカードとインクパック）に交換してください。 ➔「インクの確認と交換」P.86
[******] カートリッジ ナシ	インクカートリッジ（大容量パックアダプター）が挿入されていません（動作を停止します）。 インクカートリッジ（大容量パックアダプター）を挿入してください。
[******] ミジュウテン	インクが充てんされていません。 初期充てんを実施してください。 ➔「インク排出後の初期充てん」P.192
ハイエキタンク マンタン	廃液タンクが満タンになりました（動作を停止します）。 ただちに廃液を容器に移してください。 ➔「廃液タンクを空にする」P.155
[******] S/C リード エラー	スマートチップカードの読み取りに失敗しました。 インクカートリッジ（大容量パックアダプター）を挿入し直してください。それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジ（大容量パックアダプターの場合はスマートチップカードとインクパック）を挿入してください。
[******] S/C カラー エラー	インクが、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。 インクを正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。
[*] S/C インク エラー	本製品で使用できない種類のインクです。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
[*] S/C コード エラー	適切でないインクカートリッジ（大容量パックアダプターの場合はスマートチップカード）が挿入されています。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
[*] インク スクナイ	インクが残り少なくなりました (動作は継続します）。 交換用インクを準備してください。
[******] インク カクニン	インクカートリッジ（大容量パックアダプター）が正しく認識できません。 インクカートリッジが斜めにならないように挿し直してください。
[*] インク サイソウニュウ	スマートチップカードの接触不良のため、インクカートリッジ（大容量パックアダプター）の再挿入が必要です。 すべてのインクカートリッジ（大容量パックアダプター）を挿し直してください。

表示	内容
[*] ハソンシタ チップ	スマートチップカードが破損しています。 新しいインクカートリッジ（大容量パックアダプターの場合はスマートチップカードとインクパック）に交換してください。 ➔「インクの確認と交換」P.86
デイリーメンテナンス エラー [V] キーヲ タップシテクダサイ	障害物が検出されました。**[Enter]** キーをタップしてください。 メディアや治具を取り外してから、デイリーメンテナンスをしてください。
ショウガイブツ ケンシュツ [V] キーヲ タップシテクダサイ	障害物が検出されました。 **[V]** キーをタップして、メディアのセットをやり直してください。 ➔「メディアのセット方法」P.52
テーブルタカサ エラー [V] キーヲ タップシテクダサイ	印刷開始時に RIP ソフトなどから指定されたテーブル高さに移動ができません。印刷をキャンセルします。
ショウガイブツ ケンシュツシマシタ キャンセル	障害物が検出されました。 **[Enter]** キーで印刷をキャンセルします。
ショウガイブツ ケンシュツシマシタ インサツサイカイ	障害物が検出されました。 **[Enter]** キーで印刷を再開します。
アクティベーション シッパイ！ プリンタ ヲ サイキドウ	アクティベーションに失敗しました。 本製品を再起動し、再度アクティベーションを行ってください。
スリープモード ヲ カイシデキマセン	スリープモード（デイリーメンテナンス）の準備動作中にエラーが発生しました。 **[Enter]** キータップ後に表示される表示内容に従って操作してください。
[123456] プラグ コウカン	大容量パックアダプターを一定回数使用しました。 プラグを交換してください。
インクハ ユウコウキゲンナイデスカ？	インクカートリッジ（インクパック）のラベルに記載されているインクの有効期限（Use Before）を確認してください。 有効期限の確認またはインクカートリッジ（インクパック）の交換が終わったら、**[Enter]** キーをタップしてください。
[******] インク キゲンギレ	インクカートリッジ（インクパック）の使用期限が過ぎている場合に表示されます。期限が有効なインクに交換してください。
インサツデータ エラー [V] キーヲ タップシテクダサイ	RIP ソフトなどから指定された印刷モードが非対応のため、印刷できません。印刷データをキャンセルします。
W インク カクハン スル	ホワイト（WH）のインクをかくはんしてください。
KMCY インク カクハン スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のインクをかくはんしてください。
KMCYW インク カクハン スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）、ホワイト（WH）のインクをかくはんしてください。
テイオン ケイコク	プリンターが低温状態です。 室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。 ➔「本製品の仕様」P.217
コウオン ケイコク	プリンターが高温状態です。 室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。 ➔「本製品の仕様」P.217

Note

- エラー表示の [＊＊＊＊] は警告対象のインクパックを示します。
- **[インク　ナシ]** または、**[S/C カード　ナシ]** と **[パック　ナシ]** が同時に発生したときは **[パック　ナシ]** 表示を優先します。

スマートチップリカバリー

プリンターコントロールパネルのディスプレイに以下のメッセージが表示された場合、スマートチップカードのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のエラーメッセージが表示された場合、正しいスマートチップカードが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を実施してください。

表示	内容
[*] S/C ニンシキエラー	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。 対象のインクカートリッジ（大容量パックアダプター）を挿し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジ（大容量パックアダプターの場合はスマートチップカードとインクパック）を挿入してください。 • インクカートリッジ（大容量パックアダプター）を挿し直して、**[[＊] カラーカクニン　カクニン ー> Enter]** が表示された場合は、下記内容に従って操作してください。
[*] **カラー カクニン** **カクニン** -> Enter	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。 正しいスマートチップカードが挿入されているか、ご確認ください。 • 間違ったインクカートリッジ（大容量パックアダプター）が挿入されている場合、正しいインクカートリッジ（大容量パックアダプター）を挿入し直してください。 • 正しいインクカートリッジ（大容量パックアダプター）が挿入されている場合、**[Enter]** キーをタップしてください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続されます。

Note

- エラー表示の [＊] は警告対象のスロット番号を示します。
- スマートチップリカバリー実行中はインクステータスメニューにおいて、対象のインクが点滅表示します。

➔「コントロールパネルのインジケーター表示」P.32 、「インクステータス」P.126

再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 電気回路（基板、モーター、センサー等）が故障した場合
- 制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. プリンターコントロールパネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. プリンターコントロールパネルにエラーメッセージが表示される。

プリンターコントロールパネルのいずれかのキーをタップすると、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取り除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。連絡の際には、必ずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

表示	内容
Emergency Mode:EXXX	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 1. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 2. 電源をオフにします。しばらく待ってから電源をオンにして、本製品を再起動してください。
Emergency Mode: AC	本製品を起動中に、電源が瞬間的に遮断されました。 • 電源をオフにします。しばらく待ってから電源をオンにして、本製品を再起動してください。
Emergency Mode: CPU	CPU エラーが発生しました。 • 電源をオフにします。しばらく待ってから電源をオンにして、本製品を再起動してください。

Important!

再起動が必要なエラー発生時は、パネル設定メニューから電源をオフにできません。電源ボタンを 2 秒以上押すと電源をオフにできます。

Note

- エラーメッセージの **[XXX]** はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

トラブルシューティング

ここでは、エラーを表示しない場合の考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- プリンターの状態やエラー情報は MSM のステータス情報から確認できます。
  プリンターが正常に動かない場合は、MSM をご確認ください。
- MSM は最新のバージョンをお使いください。
  MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの MSM より新しいバージョンがあるかを確認できます。最新バージョンがある場合は、MUTOH Club からダウンロードしてください。
  ➔ **MUTOH Status Monitor 取扱説明書**

設置・導入時のトラブル

電源投入後まったく動かない

- **電源コードが接続されているかどうかを確認してください。**
- **AC 電源は規定の電圧になっているかどうかを確認してください。**
  他のコンセントに接続してください。
- **フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている場合は閉じてください。**
- **インクカートリッジ（大容量パックアダプター）が、奥まで確実に差し込まれているかどうかを確認してください。**

初期充てんしてもインクが出ない

- **インクが冷えていないかどうか確認してください。**
  常温で 3 時間以上放置後、ヘッドクリーニングを数回実施してください。
  ➔ 「ヘッドクリーニングをする」P.61
- **初期充てん中に電源をオフしませんでしたか？**
  電源をオンにして、初期充てんをやり直してください。

初期充てん後にノズルの目詰まりが発生する

- **ヘッドクリーニングを実施してください。**
  ➔ 「ヘッドクリーニングをする」P.61
  ヘッドクリーニングを実施しても印刷結果に変化がない場合は、プリンターを 1 時間以上放置してください。放置後、クリーニングまたは微量充てんを実施してノズルチェックを実施してください。
  それでも印刷結果に変化がない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

MSM や RIP からプリンターに接続できない

- イーサネットケーブルが奥まで確実に差し込まれているかどうかを確認してください。
- ネットワーク設定が正しく設定されているかどうかを確認してください。
- プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせているかどうかを確認してください。
  ➔ 「接続するコンピューターについて」 P.33
  ➔ 「ショキセッテイ」 P.123

メディアに関するトラブル

メディアをセットしても動かない

- **フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている場合は閉じてください。**
- **プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？**
  プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。
  ➔ 「本製品の仕様」P.217
- **MSM にエラーが表示されていませんか？**
  MSM のステータス情報を確認してください。
- **インクカートリッジ（大容量パックアダプター）が、奥まで確実に差し込まれているかどうかを確認してください。**

メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない

- **プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？**
  プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。
  ➔ 「本製品の仕様」P.217
- **テーブルのテーブル高さ検出領域にメディアや治具を置いていませんか？**
  テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。
- **光を透過する透明なメディアを使用していませんか？**
  - センサーでメディアを検出できない可能性があるため、ご確認のうえ、ご使用ください。
  - メディアの高さを **[マニュアル]** で設定してください。
    ➔「タカサ」P.99
- **表面に細かい突起や凹凸のあるメディアを使用していませんか？**
  メディアの最も高い部分を検出するため、正しく印刷できない可能性があります。
  ➔ 「メディアの取り扱い上のご注意」P.38
- **底面が平らでないメディアを使用していませんか？**
  センサーが隙間を透過してしまい、テーブルの高さ調整を適切に行えない可能性があります。
- **コントロールパネルに低温または高温である旨のメッセージが表示されていませんか？**
  本製品の「環境条件」に適合しない温度環境で使用すると、高さの読み取り結果がメディアよりも「高い」または「低い」状態になることがあります。このような場合は **[∨]** キーをタップしてメディアを取り外した状態で室温を調整し、メッセージが消去されてから再度 **[∧]** キーをタップしてメディアをセットして下さい。

印刷中にプリントヘッドとメディアがこすれる

- **メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。**
  ➔ 「メディアのセット方法」P.52
- **メディア（紙など）にシワが発生していませんか？**
  シワをのばしてセットしてください。
- **メディアに浮きや折れ、反りなどがありませんか？**
  端が折れているなど、平らにならないメディアを使用する場合、薄手のテープでメディアをテーブルに固定して、浮いている部分がないようにしてください。
  ➔ 「メディアの取り扱い上のご注意」P.38
- **吸着ファンの設定は適切ですか？**
  メディアが浮く場合、吸着ファンの設定を強めることで、浮きが軽減されます。吸着ファンの設定を強めても、浮きが発生する場合、セットしたメディア周囲の吸着穴を紙などでふさぐと、さらに吸着力が強まります。
  ➔ 「キュウチャクファン」P.100
- **印刷中にメディアが反っていませんか？**
  UV-LED ユニットの熱やインクの硬化などによって、メディアが反る場合があります。熱に強いメディアを使用いただくか、反りを押さえるための治具を使って印刷を行ってください。
  ➔ 「メディアの取り扱い上のご注意」P.38

テーブルに関するトラブル

テーブルの昇降中に異音が発生する・異音が発生したまま動かない

- **テーブルのメンテナンスを適切に行っていますか?**
  潤滑グリスを塗布してください。潤滑グリスの塗布は、定期的（1 か月に 1 回）に行ってください。
- **サイズが小さく、重量があるメディアや治具をテーブルの端にセットしていませんか?**
  上記のようなメディアや治具は、できるだけテーブルの中央部にセットしてください。
  ➔ 「使用できるメディアの条件」P.37
- **メディアと治具の重さが、8.0 kg を超えていませんか?**
  本製品のテーブルにセットできる最大重量は 8.0 kg です。
  メディアや治具を取り外して、プリンターの再起動を行ってください。
  ➔ 「使用できるメディアの条件」P.37
  問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

メディアセット時にテーブルから異音が発生する

- **メディアのサイズやセット位置により異音が発生する場合があります。**
  異音が発生する場合は、メディアの周りの吸気孔をすべてふさいでください。

  Important!
  - メディアより厚みのあるもので吸気孔をふさがないでください。正しく印刷できない可能性があります。
  - 吸気孔をふさぐ際に、テーブル高さ検出領域に物を置かないでください。障害物センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。

  ➔ 「印刷エリア」P.51

印刷中にプリントヘッドとメディアや治具がぶつかる

- **テーブル手前側のガイドラインより前方の領域にメディアや治具を置いていませんか?**
  テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、障害物センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。設置したメディアより高い物を置くと、プリントヘッドとぶつかり故障の原因となります。
  ➔ 「印刷エリア」P.51

印刷に関するトラブル

データを送っても印刷されない

- **イーサネットケーブルが奥まで確実に差し込まれているかどうかを確認してください。**
- **MSM にエラーが表示されていませんか?**
  MSM のステータス情報を確認してください。

印刷中、キャリッジが右端または左端で一時的に停止する

- **お使いのコンピューターのスペックは以下の通りですか?**
  - OS: Windows 11
  - CPU: Intel (R) Core (TM) i5 以上
  - メモリ : 16GB 以上
  - ネットワーク : ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

> **Note**
> - 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
> - RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

- **ギガビット対応イーサネットケーブルで接続をしていますか?**
  プリンターとコンピューターの接続には、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルをお使いください。
- **MPS 機能の設定を確認してください。**
  ➔ 「印刷中にプリンターコントロールパネルでできること」P.184 > [MPS] P.184
  - **[オン]** の場合 : お使いのコンピューターのスペックや稼働状況（CPU 負荷）、イーサネットケーブルの規格や接続状況、ネットワーク環境を確認してください。
  - **[オフ]** の場合 : MPS 機能がオフ、または MPS 最適化が「変換しない」に設定されています。MPS 機能をオンにすることで解消する場合があります。

> **Note**
> MPS 機能の設定は、MSM から変更できます。

- **「パス間ウェイト」を設定していませんか?**
  0.0（秒）に再設定してください。
  ➔ 「パスカンウエイト」P.123

メディアや印刷に汚れが発生する

- **メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？**
  新しいメディアに交換してください。
- **プリントヘッド周りが汚れていませんか？**
  ➔ 「各部の清掃」P.160

印刷の位置がずれていたり、印刷しないところがある

- **メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。**
  ➔ 「メディアのセット方法」P.185
- **メディアのセット位置は正しいですか？**
  LED ポインターで印刷範囲を確認してください。
  ➔ 「印刷範囲を確認する」P.70
- **原点を設定していませんか？**
  - 原点の設定を解除するか、再設定してください。
    ➔「メディアの幅と長さ、原点を入力する」P.56
  - LED ポインターで原点の位置を確認してください。
    ➔「印刷範囲を確認する」P.70

> **Note**
>
> 「印刷開始動作」メニューを [**ハンイカクニン ステップ**] または [**ハンイカクニン オート**] に設定すると、印刷開始前に印刷範囲を確認できます。
> ➔ 「印刷範囲を確認する」P.70

線がつながらない・二重になる、印刷がかすれてる・にじんでいる

- **ノズルの状態は良好ですか?**
  ノズルチェックを実施してください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
  ➔ 「ノズルチェックとクリーニング」P.58
- **「調整印刷」を実施してください。**
  ➔ 「調整印刷」P.107
- **「メディア送り補正」を実施してください。**
  ➔ 「メディア送り補正」P.115
- **「レイヤー調整」を実施してください。**
  ➔ 「レイヤー調整」P.186
- **インクパックは使用期限内ですか?**
  使用期限内のインクパックを使用してください。
- **インクのかくはんを行いましたか?**
  [XX インク カクハン スル] と表示されたら、インクをかくはんしてください。
  ➔ 「インクをかくはんする」P.79
- **カラーメンテナンスが「オフ」に設定されていませんか?**
  カラーメンテナンスを「通常」または「微量」に設定してください。
  ➔ 「カラー メンテナンス」P.112
- **吸着ファンの設定は適切ですか?**
  メディアが浮く場合、吸着ファンの設定を強めることで、浮きが軽減されます。吸着ファンの設定を強めても、浮きが発生する場合、セットしたメディア周囲の吸着穴を紙などでふさぐと、さらに吸着力が強まります。
  ➔ 「キュウチャクファン」P.100

印刷の色がおかしい

- **ノズルの状態は良好ですか？**
  ノズルチェックを実施してください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
  ➔ 「ノズルチェックとクリーニング」P.187
- **インクパックは使用期限内ですか？**
  使用期限内のインクパックを使用してください。
- **インクのかくはんを行いましたか？**
  [XX インク カクハン スル] と表示されたら、インクをかくはんしてください。
  ➔ 「インクをかくはんする」P.79
- **カラーメンテナンスが「オフ」に設定されていませんか？**
  カラーメンテナンスを「通常」または「微量」に設定してください。
  ➔ 「カラー メンテナンス」P.112
- **印刷を一時停止しませんでしたか？**
  印刷を一時停止すると、再開したときにつなぎ目でスジが発生したり、色調が変わってしまうことがあります。
  以下のいずれかが発生した場合、プリンターはエラーメッセージを表示して一時停止（または停止）します。
  - 廃液タンクが満タンになったとき
  - インクが空になったとき
  - 障害物を検出したとき

  ➔ 「メッセージ型エラー表示と対処方法」P.201

クリーニングを実施しても、ノズルの目詰まりが解消しない

- **以下の消耗品の交換時期ではありませんか？**
  - クリーニングワイパー
  - フラッシングボックス用吸収材

  各消耗品の状態を確認してください。交換条件に該当している場合は、交換してください。

  ➔ 「消耗品の交換」P.166

- **クリーニングモードは適切ですか？**

  ➔ 「ヘッドクリーニングをする」P.61

> **Note**
>
> クリーニング「通常」を繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、以下の対処方法を参考にしてください。
>
> 1. クリーニング「強力」を 2 ～ 3 回実施してください。（改善しない場合は、次に進んでください）
>
>   ➔ 「ヘッドクリーニングをする」P.61
>
> 2. 各部の清掃を行ってください。（改善しない場合は、次に進んでください）
>
>   ➔ 「各部の清掃」P.160
>
> 3. 「微量充てん」を 2~3 回実施してください。（改善しない場合は、次に進んでください）
>
>   ➔ 「微量充てん」P.162
>
> 4. 「漬け置きクリーニング」を実施してください。
>
>   ➔ 「漬け置きクリーニング」P.163
>
> それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

> **Important!**
>
> UV 光を反射しやすいメディアは使用しないでください。UV 光を反射し、プリントヘッド表面のインクを硬化させるおそれがあります。

6 付録

本製品の仕様 217
改訂履歴 219
お問い合わせ先 220

本製品の仕様

機種名		XPJ-661UF-P
印刷方式		オンデマンドピエゾ方式
駆動方式		ファームウェアサーボ /DC モーター駆動
給紙方式		フロントカバーを開けて、前方よりテーブル上へセットおよび取り出し
メディア固定		吸着ファンを用いた吸着固定
インク硬化装置		UV-LED ユニット
メディアサイズ	最大幅	493 mm
	最大長さ	620 mm
	最大厚さ	153 mm
	重量	8.0 kg 以下（治具を含む）
最大印刷幅		483 mm
最大印刷長さ		610 mm
テーブル高さ調整		障害物センサーとモーターによる自動調整（プリンターコントロールパネルによるマニュアル調整も可能）
CPU		64bit RISC CPU
メモリ		384MB
インターフェース		Gb-Ethernet (1000BASE-T)
廃液タンク		着脱式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃液排出
インク	色	6 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、バーニッシュまたはクリア）
	種類	US61/UH71
	インク容量	220 ml インクカートリッジ（UH71 インクのみ）、800 ml インクパック
環境条件	本体動作環境	温度 : 20 ° C ～ 32 ° C 湿度 : 40 % ～ 60 %、結露なきこと
	本体精度保証環境	温度 : 22 ° C ～ 30 ° C 湿度 : 40 % ～ 60 %、結露なきこと
	変化率	温度 : 1 時間あたり 2 ° C 以内 湿度 : 1 時間あたり 5 % 以内
	本体保存環境	• インク未充てん保存 : 6 か月以内 - 温度 : -20 ° C ～ 60 ° C - 湿度 : 20 % ～ 80 %、結露なきこと • インク充てん保存 : 1 か月以内 *1 *2 - 温度 : 5 ° C ～ 30 ° C - 湿度 : 20 % ～ 80 %、結露なきこと *1「デイリーメンテナンス」を行うこと。 *2 スリープモードによる常時通電、7 日ごとのインク残量確認とインクのかくはんを行うこと。

	インク保存環境	• US61 インク - ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、バーニッシュ（各 800 ml） - 温度 : 5 ° C ～ 30 ° C - 湿度 : 結露なきこと • UH71 インク - ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、クリア（各 220 ml または 800 ml） - 温度 : 10 ° C ～ 35 ° C - 湿度 : 結露なきこと • 洗浄カートリッジ（220 ml）(共通) - 温度 : -20 ° C ～ 40 ° C (40 ° C 下 1 か月以内) インク・洗浄液ともに、熱源、可燃物から遠ざけ、換気良好な冷暗所に保管すること。
電源仕様	電圧	AC 100 ～ 240 V ± 10%
	周波数	50/ 60 Hz ± 1 Hz
	容量	5 A 以上
消費電流		AC 100 V ～ 240 V: 4.7 A 以下
消費電力	待機時	49 W*3 *3 吸着ファンオフ時
	スリープモード時	18 W
	オペレーション時	310 W
外形寸法	高さ	632 mm • フロントカバー全開時 : 1,406 mm（スタンド込み 1,881 mm）
	幅	1,230 mm
	奥行き	1,656 mm
質量	本体	172 kg
	スタンド（オプション）	43 kg

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	ファームウェア備考
2026.9	00	XPJ661UFPJ-A-00	V.1.00
2026.10	01	XPJ661UFPJ-A-01	V.1.01 以降

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

- TEL: 0120-174911
- FAX: 0120-184711
- E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日 : 月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
受付時間 : 午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MEMO

MUTOH